

Hokuhoku Financial Group, Inc.

統合報告書

—— ディスクロージャー誌 ——

2020

CONTENTS

P.03

- ほくほくフィナンシャルグループの歩み
- 財務ハイライト/非財務ハイライト

P.09

- 社長メッセージ

P.13

- ほくほくフィナンシャルグループの価値創造プロセス

P.15

- ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言
- CSR活動における取り組み重点テーマ

P.19

- 中期経営計画「ALL for the Region」

P.25

- 法人戦略
- 個人戦略
- デジタル化・FinTech戦略
- 地域社会活性化戦略
- 人財活用戦略
- ほくほくフィナンシャルグループグループ戦略

P.39

- ステークホルダーコミュニケーション

P.41

- 健全で強靱な経営基盤
- お客さま本位の業務運営に向けた取り組み

P.53

- 会社概要
- 店舗ネットワーク

編集方針

ほくほくフィナンシャルグループはこの度、統合報告書を発刊いたしました。編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)が提唱する「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省による「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」などを参照しています。本統合報告書は、銀行法第21条および第52条の29に基づいて作成したディスクロージャー誌です。本統合報告書に将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。なお、詳細な財務データ等につきましては、「統合報告書2020財務データ編」をご覧ください。

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄 社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造 創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目指す姿

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ



ロゴマーク

垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着きのあるブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほくほく」の頭文字である「h」を表しています。

ほくほくフィナンシャルグループの歩み

ほくほくフィナンシャルグループは、北陸・北海道に基盤を置く地域金融機関として、
長らく地域とお客さまの繁栄に貢献してきました。

今後とも地域と共に成長・発展することで、共通価値を創造してまいります。

北陸銀行
創業100周年

1977



北陸銀行設立
1943

1951

北海道銀行設立



1877

北陸銀行の前身である

金沢第十二国立銀行創業

北陸銀行の創業

北陸銀行は、加賀前田家の出資を受け、加賀藩祖「前田利家」ゆかりの銀行として創業されました。



- 1877年8月 金沢第十二国立銀行開業（創業）
- 1879年2月 富山第二百二十三国立銀行開業
- 1943年7月 十二・高岡・中越・富山の前身4行合併により「株式会社北陸銀行」設立
- 1950年1月 外国為替業務開始（地銀初）
- 1961年9月 東京証券取引所に上場

北海道銀行の設立

北海道銀行は、戦後復興期、新興産業の勃興と人口の急増に伴う旺盛な資金需要に応えるべく、道内中小企業者の強い要望により設立されました。



- 1951年3月 「株式会社北海道銀行」設立
- 1961年4月 外国為替業務開始
- 1962年5月 札幌証券取引所に上場
- 1987年9月 東京証券取引所一部に上場

北陸銀行
創業150周年
2027



ほくほくTT証券設立
2016年4月 ほくほくTT証券 営業開始

2016

2021

北海道銀行 設立70周年

2011

3行共同利用システム「MEJAR」稼働
2011年5月 北陸銀行、北海道銀行が横浜銀行との基幹系システム共同利用を開始

2004



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

誕生

地域金融として初の広域地域金融グループとなる ほくほくフィナンシャルグループが誕生

依然金融機関にとって厳しい環境が続く中、2004年9月に経営資源をより有効に活用する経営の効率化、広域ネットワークを活用した営業力の強化および経営基盤の安定化を目指し、北陸銀行・北海道銀行が経営統合し、2行を中心としたほくほくフィナンシャルグループが誕生いたしました。



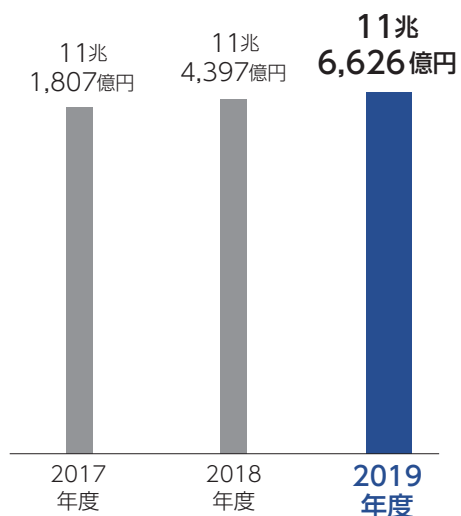
ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

2019年4月、「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

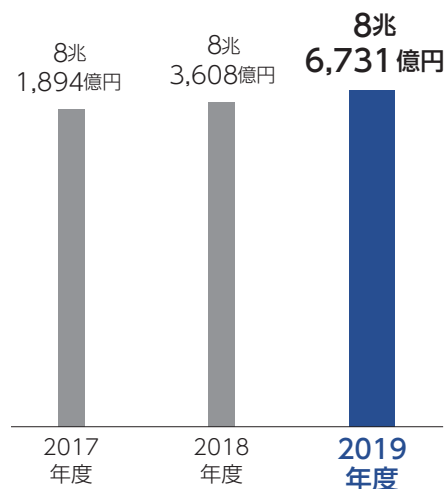
預金・譲渡性預金期末残高(2行合算)

11兆6,626億円
(前期末比2,229億円増加)



貸出金期末残高(2行合算)

8兆6,731億円
(前期末比3,122億円増加)



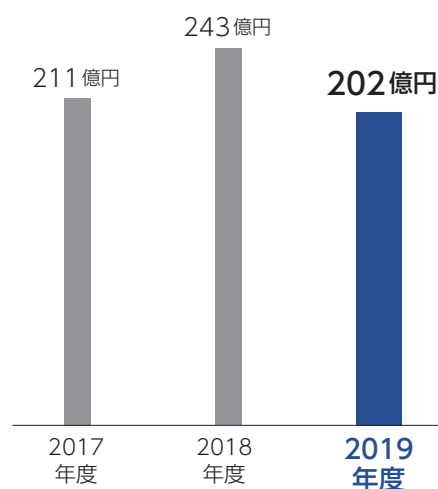
コア業務粗利益(2行合算)

1,232億円
(前期比24億円減少)



親会社株主に帰属する当期純利益(連結)

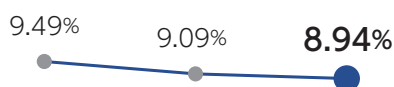
202億円
(前期比41億円減少)



自己資本比率(連結)

8.94%

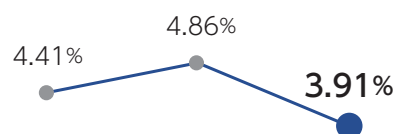
(前期末比0.15ポイント低下)



2017年度	2018年度	2019年度

自己資本利益率(ROE) (2行合算)
当期純利益ベース**3.91%**

(前期比0.95ポイント低下)

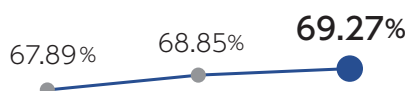


2017年度	2018年度	2019年度

OHR(2行合算)

69.27%

(前期比0.42ポイント上昇)



2017年度	2018年度	2019年度

格付の状況

格付会社	格付	取得企業

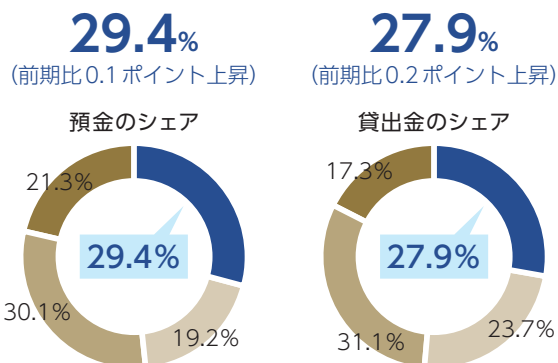
R&I (格付情報センター)	A	
-------------------	---	--

S&P	A-	北陸銀行
-----	----	------

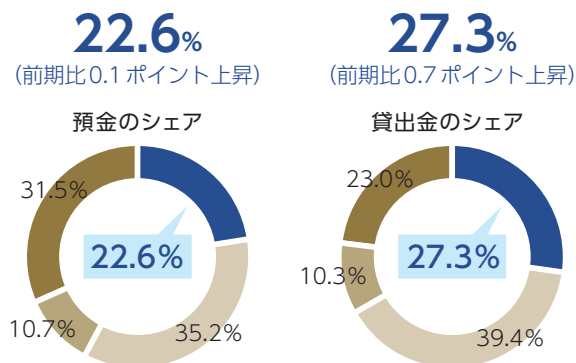
「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」の格付も取得しています。

顧客基盤

地域シェア (北陸)



地域シェア (北海道)

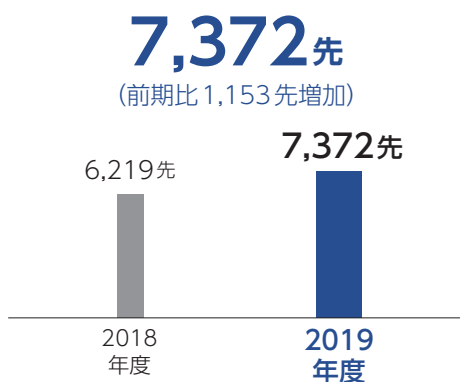


■ ほくほくFG ■ 地区トップ競合行 ■ その他の銀行 ■ 信用金庫

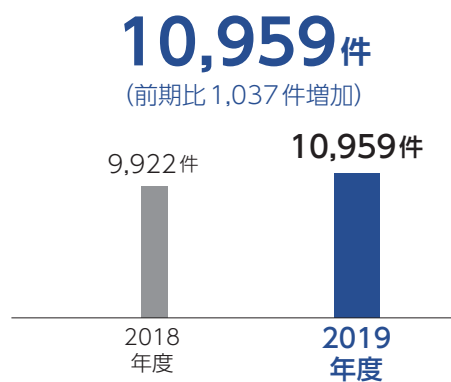
*シェアは、2019年9月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。

*「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

事業性評価に基づく融資先数



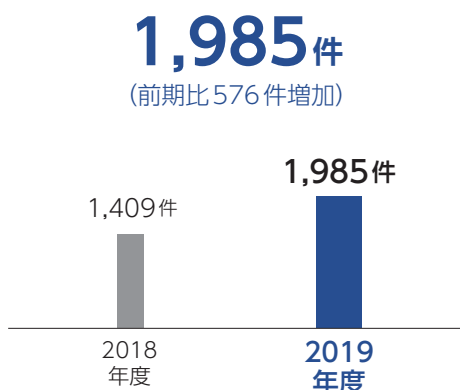
住宅ローン実行件数



持続可能な地域社会に向けたソリューション

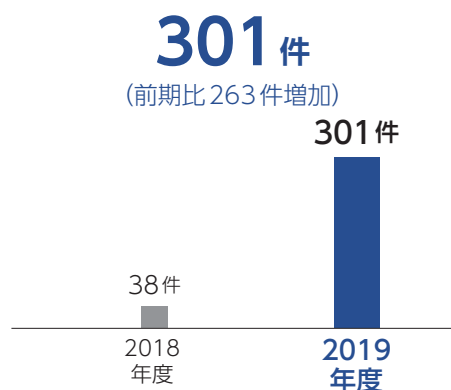
法人関連

ビジネスマッチング成約件数 (2行合算)



個人関連

信託取扱件数 (2行合算)

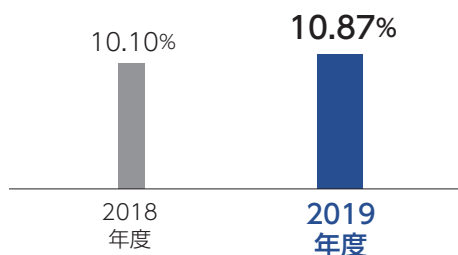


多様な人財基盤

女性経営職・管理職比率(2行合算)

10.87%

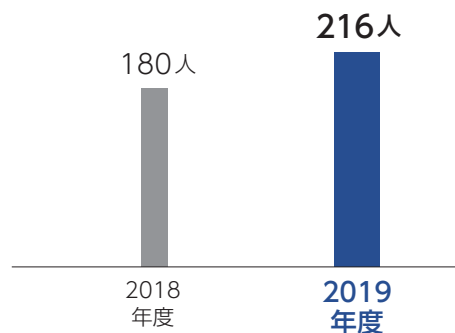
(前期比0.77ポイント増加)



CFP,1級FP技能士資格保有者(2行合算)

216人

(前期比36人増加)



社外からの評価、イニシアティブへの賛同



21世紀金融行動原則

北陸銀行
北海道銀行
北銀リース

21世紀金融行動原則

持続可能な社会の形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関の行動指針



2020
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

北陸銀行
北海道銀行

健康経営優良法人制度

地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度



北陸銀行

プラチナくるみん

「子育てサポート企業」として、厚生労働省の認定を受けた証



北陸銀行

えるぼし(2段階)

女性の活躍推進に関して優良な取り組みを行った企業が受けられる認定



北陸銀行

ふくい女性活躍推進企業

働く女性が半数を超える福井県が、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業を登録



北陸銀行

いしかわ男女共同参画推進宣言企業

石川県が、男女共同参画推進の具体的な取り組みを宣言する企業を認定



北海道銀行

札幌市ワーク・ライフ・バランスPlus企業認定
(ステップ3先進取組企業)

札幌市が、ワーク・ライフ・バランスと女性活躍に積極的に取り組む企業を認証

ほくほく フィナンシャルグループの 使命

当社グループの使命は、私どもが根ざす地域社会が、さまざまな課題や困難を乗り越えて持続的に発展していくことを金融面から支えることで、地域の未来の創造に貢献することだと考えております。この使命を果たすために私どもが大切にしている考え方と取り組みについてご説明いたします。

取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)



当社グループの2019年度の業績

まず、2019年度の業績について説明します。

当社グループ連結の親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比41億円の減益とはなったものの、年度初めに見込んだ業績予想を7億円上回る202億円となりました。

北陸銀行・北海道銀行の2行合算ベースでは、貸出金や有価証券の利息・配当金や手数料などの本業による収益から経費を差し引いたコア業務純益は、業績予想を8億円

上回る378億円、不良債権処理に係る与信費用は、予想の85億円を上回る120億円となり、経常利益は314億円、当期純利益は208億円となりました。

2020年度の業績予想については、連結経常利益は前期比▲56億円の260億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同▲37億円の165億円としております。

地域、当社グループを取り巻く環境と課題

次に、地域、そして当社グループを取り巻く環境と課題についてお話しいたします。

ここ1年の国内情勢は、人口減少や少子高齢化の持続的な進行と人手不足の深刻化という地域社会の構造的な課題に加えて、消費税増税、台風や豪雨による自然災害の頻発などの景気下押し要素を抱えながらも、2020年東京オリンピックに向けた機運が下支えし、景気は安定的に推移していました。ところが、2020年に入ってから新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2019年度のGDPの伸び率が5年ぶりのマイナスとなる実質▲0.1%に低下するなど、風向きは一変しました。今後、新型コロナウイルスの第2波、第3波に警戒しつつ、従来と一変した環境に適応していくため、全世界で知恵を絞っていくことになるかと思えます。

当社のプライムエリアである北陸・北海道においては、人口減少・少子高齢化に伴う空き家の増加や中心市街地の空洞化が都市基盤の衰退を招きつつあり、三大都市圏への若い世代の人口流出により、将来の地域経済の成長や産業を支える人材の育成・確保が難しくなる傾向にあり

ます。特に、北陸のものづくり産業、北海道の第1次産業などにおいては大きな課題となっています。

その一方で、人生100年時代が到来しようとしており、働くことのできる期間がより長くなり、転職や副業の機会も増えていくと思います。したがって、地域の中小企業においても雇用体系の転換や人材確保に向けた新たな取り組みが課題になるでしょう。また、従来以上に資産形成や資産承継の重要性が増すこととなりますが、年代や資産背景などによって運用ニーズは様々であり、運用商品も多様化、複雑化していることから、早い段階から金融リテラシーを身につけていく必要があるでしょう。

また、自然災害への備えも重要な地域の課題です。2018年9月の「北海道胆振東部地震」における大規模なブラックアウト、2019年10月の「令和元年台風第19号」における水害など、社会インフラの脆さに直面しました。特に北海道は日本の食の一大産地であり、第1次産業を守るという観点からも気候変動対策は極めて重要であると考えます。

経営理念

当社グループでは、このような課題を踏まえ、マーケットインの姿勢でお客さまに寄り添い悩みや課題を共有し、ソリューション営業に磨きをかけてまいりました。そして今後は、新型コロナウイルスがもたらした新たな課題の解決にも、積極的に取り組む考えです。

今後の取り組みにおいては、地域が抱える課題を解決することで、その経済発展を支えるとともに、地域全体の環境保全の推進、豊かな自然を活かした農業、水産業や観光業の振興、地域文化の維持・発展を通じ、将来に向け地域を守っていくことが重要であると考えております。

そのためには、当社グループの経営理念である「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」を大切にしたい取り組みが必要と考えております。

「地域共栄」の理念のもと、これまで以上にお客さまとの関係性を発展、深化させるために、専門人材を育成し、コンサルティング機能を充実させることで、地域の「イノベーション」や「地域経済圏の拡大」へつなげられるよう、踏み込んだソリューション提案を一層強化したいと考えています。

当社グループが「公正堅実」を旨とすることは、業務での取り組みはもとより、地域社会との関わりに至るまで、従業員の意識に深く刻まれております。地域の金融インフラとして安定的な金融仲介機能を発揮するために、しっかりとコンプライアンスを遵守し、コンダクトリスクも含めた様々なリスクに対処するべく強固なガバナンスと強靱な経営態勢の構築に努めてまいります。



当社グループの北陸銀行は地方銀行として初めて外国為替業務を開始するなど、私どもの根底には、常に先陣を切って新しいものに取り組んでいくという「進取創造」の精神が受け継がれております。新型コロナウイルスによって環境

は大きく変化しており、今後求められていく新しい生活様式に適う非対面型金融サービスについても、お客さまの利便性向上と当社グループの業務効率化を両立すべく拡充を進めてまいります。

当社グループの強み

次に、当社グループの強みについてご説明いたします。

まず、「取引基盤」です。当社グループは、2004年の経営統合から16年目を数えておりますが、その礎は、1877年創業の北陸銀行と1951年創立の北海道銀行が、プライムエリアである北陸・北海道を中心に数多くのお客さまにお取引いただき、長い歴史の中で共に歩み、成長してきたところにあります。歴史に裏打ちされたお客さまとの取引基盤こそが、当社グループの安定経営、成長の源であります。これまで時代や社会の要請、ニーズに柔軟に対応しながら事業基盤を拡大しており、当社グループは、現在13兆円を超える総資産を有しております。

次に、地銀グループでは類をみない「広域店舗網」です。

北陸、北海道、三大都市圏に広域店舗網を有し、海外にも9拠点を広く展開しており、広域ビジネスマッチング等に注力しております。加えて、様々な営業形態の店舗への移行や営業時間の弾力化など店舗機能の最適化と、アプリの提供やWebサービス、電子決済機能などの充実を図り、お客さまの利便性向上につながる金融インフラ構築に努めております。

「人財」も当社グループの強みであります。北陸地域の特性と言われる勤勉さ、北海道の開拓精神を背景に、実にバラエティ豊かな人財を擁しております。

このような人財を生かし、事業承継やM&A、農業関連業務、国際業務などの分野においては、地方銀行トップ

クラスのノウハウを有しております。また、人材紹介業務や信託業務など新たな分野を積極的に開拓し、業務拡大とノウハウの蓄積を図っております。

さらに、「地方自治体や大学等とのパートナーシップ、産学官金連携」によって地域の課題解決にも積極的に取り組んでおります。そして北陸・北海道の恵まれた自然を

活用した水力、太陽光など再生可能エネルギーへの支援強化や、第1次産業への積極支援、観光産業の活性化に向けた支援強化にも努めております。

これらの強みを活かし、お客さま、地域社会など、すべてのステークホルダーの持続可能性を高めていくことができると考えております。

当社グループの取り組みと地域への貢献

2019年度は、法人部門においては、事業性評価の深化による担保や保証に過度に依存しない金融仲介機能の発揮と、お客さまの経営課題の解決に向けたコンサルティングの強化に注力してまいりました。また、人材紹介業の開始や農業法人への出資・経営支援など新たな分野に積極的に取り組み、ソリューションメニューの拡充にも努めております。個人部門においては、対面営業、非対面営業の双方を強化すべく、人財育成に向けた研修制度の拡充、信託業務の取り扱いやスマホ決済サービス「ほくほくPay」等の新たなサービスの開始、アプリの機能拡充等を実施しております。

今後は、新型コロナウイルスの影響も踏まえた「新しい生活様式」への対応など新たな課題の解決に取り組む必要があります。先行きには不透明な点もありますが、当社グループのお客さまが新しい生活様式の受け入れを円滑にすすめることができるよう、デジタルバンキングの進化や非対面機能の強化による利便性向上、キャッシュレスの促進による非接触型取引の拡大を通じて、金融サービスの拡充を進めてまいります。また、金融サービスを切れ目なく提供できるよう、勤務形態の多様化を図り、従業員の安全・健康の確保にも努めてまいります。

常日頃より、私は「Face to Face」で接することは人と人とのつながりの根幹を成すコミュニケーション手段であり、デジタル化が進展しても金融機関に残り続けるお客さまとの接点の形だと思っております。お客さまと接する一つ一つの機会を貴重なものと捉え、お客さまを知る活動とコンサルティング機能を充実させてまいりたいと考えております。

このようにして、地域社会と当社グループが持続的に発展していく未来の実現に向け、当社グループの全役職員が

一丸となり果敢に取り組んでまいります。

私どもは、取締役会や経営会議をはじめとするあらゆる社内の会議において、まず「経営理念」を全員で唱和することから始めております。これは、行き詰ったとき、議論が分かれたときに、経営理念に立ち返ることで正しい答えが導き出されると信じているからです。

今後も「経営理念」のもと、各種施策を柔軟かつ積極的に推進し、北陸、北海道の未来の創造に貢献してまいります。ぜひとも皆さまには、引き続きご支援ならびにご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ほくほくフィナンシャルグループの価値創造プロセス

お客さまと地域社会の課題に応えるサービス提供により、共通価値を創造する

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.



経営

地域共栄

公正

活用する資本

財務資本

地銀No.5の資産規模

製造資本

海外を含む広域店舗網と
デジタル機能を活用した
金融インフラ

人的資本

強固で多彩な人財

知的資本

地銀トップクラスのノウハウ

社会・関係資本

厚い地域シェアと
広域ネットワーク

自然資本

北海道・北陸の豊かな自然

地域の持続可能性を 巡る課題

- 気候変動を中心とした地球環境の変化
- 水害・地震等の災害による地域インフラ破壊と老朽化
- 未知の病原体の蔓延による様々な活動の停滞
- 生態系の変化による地域産業への悪影響
- 将来の地域経済をリードする人財不足

お客さまの 課題

- 資産形成の複雑化
- 次世代への資産継承
- 成長戦略策定の高度化
- 事業承継問題
- AI・IoTへの対応人財の不足

地域社会の 課題

- 少子高齢化
- 人口減少
- 都市部一極集中
- ESG・SDGsの課題

金融機関の 課題

- 超低金利の長期化
- 異業種からの参入
- 公的金融機関等の業務拡大

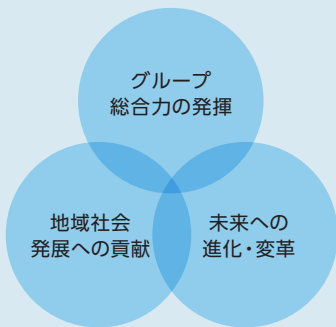
サステナビリティ・
地域に根差す安定した財務基盤の継続、

理念

堅実

進取創造

中期経営計画



SDGs宣言

- ・持続可能な地域社会の実現
- ・地域における金融リテラシーの向上
- ・健全で強靱な経営基盤の構築
- ・すべてのお客さまにとっての利便性の向上
- ・生産性向上に繋がる職場づくり

各ステークホルダーへ提供する価値

株主

- ・株主還元の充実
- ・中長期的な株主価値の創造
- ・透明性の高い情報開示

地域社会

- ・地域活性化
- ・責任ある投融資の推進
- ・金融リテラシーの向上
- ・環境負荷低減
- ・循環型社会の実現

お客さま

- ・金融資産の活性化
- ・円滑な事業、資産の承継
- ・事業成長支援
- ・地域中核産業支援
- ・利便性の高い充実したサービスの提供

従業員

- ・働きがいのある職場
- ・ダイバーシティ推進
- ・ワーク・ライフ・バランス推進

持続的に発展する地域の実現とグループの持続的成長

ガバナンス

強固なガバナンス、強靱な経営体制

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、企業の持続的成長のために必要とされるESG(環境、社会、ガバナンス)や、国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)等の視点を踏まえて、CSR方針のもとそれらの課題に対応した活動に積極的に取り組み、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

その一環として2019年4月1日「ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言」を表明し、「CSR活動における取り組み重点テーマ」を制定しました。

ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability(持続可能性)の向上を目指してまいります。

2019年4月1日



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

取締役社長 庵 栄伸



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ほくほくフィナンシャルグループのCSR方針

1 方針

当社グループは、CSRを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経営理念のもとに、法令を遵守し倫理的行動をとることを基本とし、広域地域金融グループとして本業を通じた地域貢献を主軸とした上で、環境、社会へ配慮した活動を積極的に行うことで、当社グループ、地域経済および地域社会の持続的な発展を目指します。

2 定義

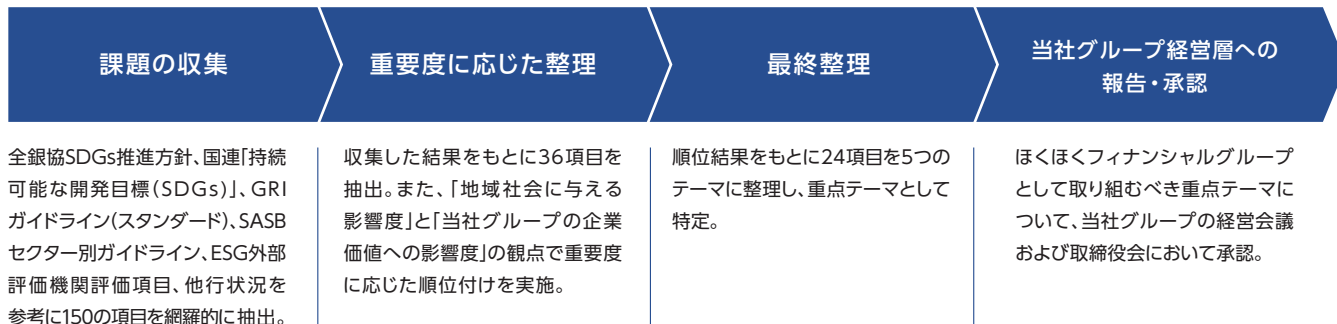
(1) CSR(Corporate Social Responsibility = 企業の社会的責任)

「当社グループ、地域経済および社会の持続的発展のために、経済的な利益を追求するだけでなく、環境、社会貢献などさまざまな社会問題に配慮する等、当社グループと利害関係を持つすべてのステークホルダーに対し果たすべき責任。」と定義しております。

(2) ステークホルダー

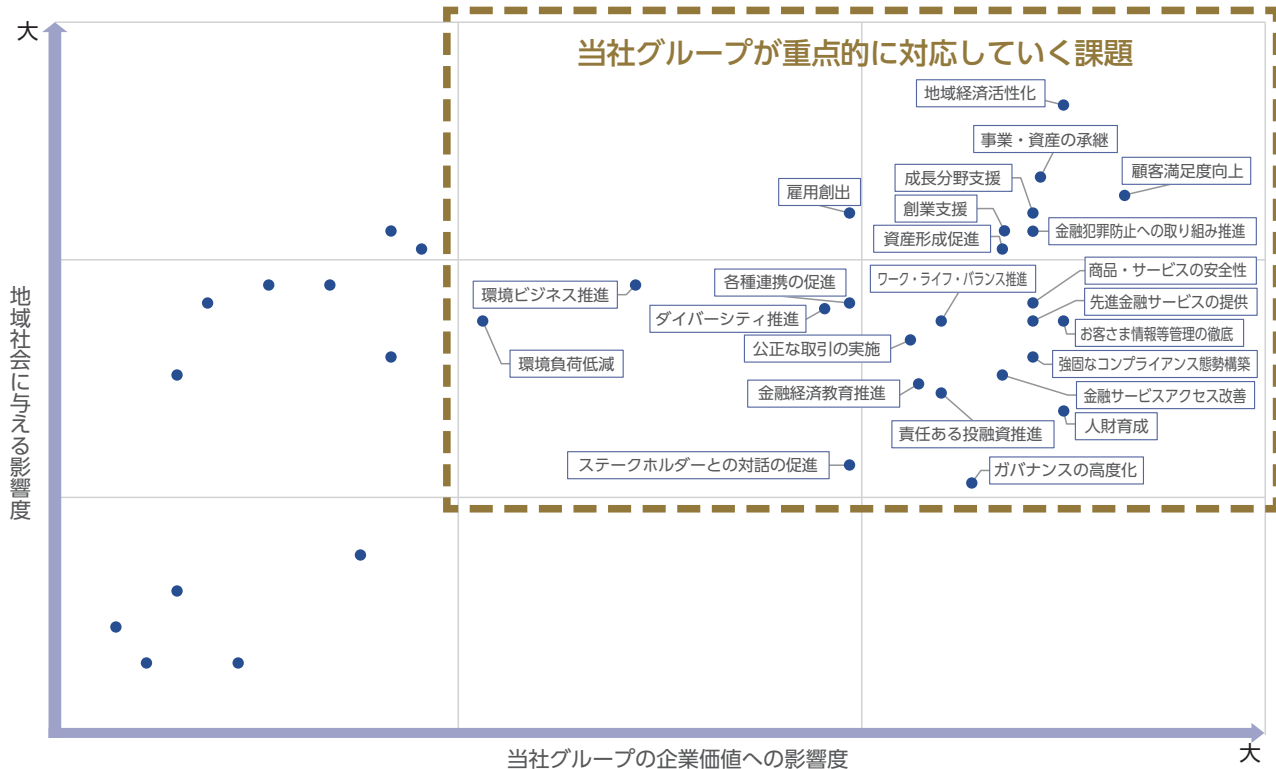
当社グループの利害関係者すべてとし、特に「お客さま、地域社会、株主、従業員」を重視して取り組みます。

重点テーマ特定プロセス



重点テーマ特定プロセス詳細

重要度に応じた順位付け



最終整理

経営理念	重点課題	重点テーマ
地域共栄	地域経済活性化 責任ある投融資推進 環境ビジネス推進 成長分野支援 創業支援 雇用創出 各種連携の促進 環境負荷低減 金融経済教育推進 資産形成促進 事業・資産の承継	持続可能な地域社会の実現 地域における金融リテラシーの向上
公正堅実	ガバナンスの高度化 強固なコンプライアンス態勢構築 金融犯罪防止への取り組み推進 公正な取引の実施 お客さま情報等管理の徹底 ステークホルダーとの対話の促進	健全で強靱な経営基盤の構築
進取創造	先進金融サービスの提供 金融サービスアクセス改善 商品・サービスの安全性 顧客満足度向上 ダイバーシティ推進 ワーク・ライフ・バランス推進 人財育成	すべてのお客さまにとっての利便性の向上 生産性向上に繋がる職場づくり

CSR活動における取り組み重点テーマ

ほくほくフィナンシャルグループでは、「ESG・SDGsを踏まえたCSR活動」にかかわる対応方針・取組状況を社内取締役により構成される経営会議にて裁可し、それを踏まえ取締役会に報告することとしております。なお、具体的には、FG企画グループおよび両行経営企画部が中心となって、グループ各社および各部と組織横断的に取り組んでおります。

経営理念	重点テーマ	
地域共栄	持続可能な地域社会の実現 ESGsやESG等の課題を踏まえた建設的対話の促進等による地域金融機関としての責任ある投融資への取り組みやスタートアップ企業や地域における成長企業への積極的な支援を通じた安定的な雇用創出への取り組み、各種自治体やお客さまとの連携の促進により持続可能な地域社会の実現に貢献する	E S G 
	再生可能エネルギーの利用促進、温室効果ガス排出量の削減等環境負荷の低減に努める	 
	地域における金融リテラシーの向上 金融経済教育や金融コンサルティングによりお客さまや子供たちの金融リテラシー向上に取り組み、将来に向けた資産形成や円滑な事業・資産承継を支援する	S 
公正堅実	健全で強靱な経営基盤の構築 ステークホルダーとの対話促進により透明性を高め、ガバナンスの高度化や各種リスク管理の徹底、更なるコンプライアンスの強化により強靱な経営基盤を構築する	
進取創造	すべてのお客さまにとっての利便性の向上 先進的ですべてのお客さまがアクセスしやすく安心して利用できる金融商品・サービスの提供を通じて、更なる利便性の向上に努める	S  
	生産性向上に繋がる職場づくり 多様な人財の活躍推進や育児・介護等の両立支援等の働き方改革推進、将来を担う人財の育成を通じ、働きがい・やりがいを持てる職場づくりに取り組む	S  

各種施策	2021年度に向けたKPI	2021年度目標に対する2019年度の進捗率
<p>持続可能な地域社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ESG・SDGs関連投融資の推進 ■ 法人向けコンサルティング業務の拡大と深度強化 ■ 創業支援、経営者支援のためのセミナー開催 ■ 地方創生ファンドの活用 ■ 広域店舗網を活用したビジネスマッチングの活性化 ■ 自治体を含む各種団体との連携強化 ■ ICT・省カインフラ活用による環境負荷低減 	<p>ESG・SDGs関連投融資件数 500件</p> <p>事業性評価に基づく融資先数 9,800件</p> <p>法人ソリューション成約件数 2,400件</p>	<p>0 50 100 150 (%)</p> <p>ESG・SDGs関連投融資件数 446件</p> <p>事業性評価に基づく融資先数 7,372件</p> <p>法人ソリューション成約件数 2,875件</p>
<p>地域における金融リテラシーの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 金融経済教育の推進 ■ 積立投信やNISA、iDeCo推進による資産形成支援 ■ 各種社内資格制度による人財の育成 ■ 経営者向けセミナーの実施 	<p>金融経済教育受講者数 8千人</p> <p>信託取扱件数 450件</p>	<p>0 50 100 150 (%)</p> <p>金融経済教育受講者数 10千人</p> <p>信託取扱件数 301件</p>
<p>健全で強靱な経営基盤の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 監査等委員会、コーポレート・ガバナンス委員会の機能発揮によるガバナンス強化 ■ コンプライアンスプログラムの策定と実践 ■ 統合報告書作成による充実した情報提供 	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>取締役会における社外役員比率 33.3% (12名中4名)</p> </div>	
<p>すべてのお客さまにとっての利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「ほくほくPay」等電子決済の推進 ■ Web完結型商品の充実化 ■ 各種アプリ機能の強化 ■ 様々な営業形態の店舗の設置 	<p>スマホアプリ契約先数 230千件</p> <p>Web口座保有先数 60千件</p> <p>キャッシュレス加盟店数 15千件</p>	<p>0 50 100 150 (%)</p> <p>スマホアプリ契約先数 200千件</p> <p>Web口座保有先数 32千件</p> <p>キャッシュレス加盟店数 11千件</p>
<p>生産性向上に繋がる職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 資格取得に向けた集合セミナーの実施 ■ 階層別、コース別研修プログラムの見直し ■ 女性のキャリアアップ支援の拡充 ■ 健康、育児への支援制度の拡充と利用促進 	<p>男性行員の育児休暇取得率 100%</p> <p>女性経営職・管理職総数 100人</p>	<p>0 50 100 150 (%)</p> <p>男性行員の育児休暇取得率 77.3%</p> <p>女性経営職・管理職総数 97人</p>

中期経営計画「ALL for the Region」

地域とともに成長・発展する 総合金融グループを目指して

2019年4月、当社グループは新たな3年間の中期経営計画「ALL for the Region」をスタートさせました。

経営理念に掲げる「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」に基づき、お客さまや株主をはじめとするステークホルダーの期待に応えるとともに地域の発展に持続的に貢献していくため、当社グループの全役職員が一丸となり、地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、お客さま・地域社会と当社グループの「共通価値」を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループを目指してまいります。

取締役副社長 笹原 晶博

(北海道銀行 頭取)



中期経営計画「ALL for the Region」の考え方について

当社グループのプライムエリアである北陸と北海道は、全国的な傾向でもある少子高齢化や都市部への人口流出の動きから、将来的な経済規模の縮小も懸念される状況にあります。また金融業界においては、金融緩和政策により超低金利環境が継続するなか、デジタル化の進展など競合環境も激変しており、伝統的な銀行のビジネスモデルでは生き残りも難しくなってきました。

中期経営計画「ALL for the Region」においては、計画期間を「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービスと利便性を追求したデジタル金融サービスの両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制の構築に取り組む期間」と位置づけ、「地域社会発展への貢献」「未来への進化・変革」「グループ総合力の発揮」を3つの基本方針とし、お客さま・

地域社会と当社グループの共通価値を創造すべく、各重点施策に取り組んでまいります。

「地域社会発展への貢献」は、少子高齢化や人口減少などの地域課題にお客さまと共に向き合い、地域とお客さまの発展に資するソリューションの提供に努めていくこと、「未来への進化・変革」は、技術革新やニーズの変化を捉えたお客さまの期待に応える金融サービスを提供すること、「グループ総合力の発揮」は、北陸銀行、北海道銀行を中心としたほくほくフィナンシャルグループ各社間の連携を強化するとともに、グループ最適の推進・管理体制を構築することであり、この基本方針に基づく各重点施策を着実に推し進めていくことで、地域と共に環境の変化に打ち勝ち、成長・発展していくことを目指しています。

2019年度の取り組みについて

中期経営計画「ALL for the Region」の2019年度の取り組みについてご説明いたします。

法人分野においては、お客さまの事業性評価を積極的

に推進することで、様々な資金ニーズに対応し、金融仲介機能を発揮いたしました。お客さまの課題に対するソリューションなどのメニュー拡充を行うとともに、外部

研修を通じた専門人材の育成、北陸銀行・北海道銀行共通のビジネスマッチングシステムの導入などインフラ整備を行い、コンサルティング機能をさらに強化いたしました。

個人分野においては、住宅ローンの商品内容見直しによりお客さまの利便性を高めるとともに、当社グループにおける銀証連携の強化、信託業務の取り扱い開始、行内資格制度を活用した渉外担当のレベルアップ等、資産形成層から資産承継層までお客さまのライフステージに合わせて幅広いニーズにお応えできる態勢整備を行いました。また、「ほくほくPay」「J-Coin Pay」導入や各種アプリ機能改善による非対面取引の充実、住宅ローンの電子契約など、IT技術の活用による更なる顧客利便性の向上に取り組みました。

地域社会活性化に向けては、地域金融機関として、ESG（環境・社会・ガバナンス）・SDGs（持続可能な開発目標）に積極的に取り組みました。自治体との連携協定締結、若年層向けの金融経済教育の推進等、地域社会の持続的な発展に向けた取り組みを行うほか、環境改善効果のある事業に対するグリーンボンドへの投資や、災害に遭われた事業者さまがスムーズに事業継続を行えるように震災時元本免除特約付き融資の取り扱いを開始しました。

経営態勢強化に向けては、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）を含むIT化や営業店事務の本部集中

部門への集約といった業務効率化に努めました。また子銀行企画部門の一体運営による意思決定の迅速化や、両行の営業基盤を跨いだビジネスマッチングなど、当社グループの経営資源を従来以上にお客さまの利益のために活用する取り組みを行いました。さらに、ガバナンス態勢においては、コーポレート・ガバナンス委員会や取締役会において社外役員の客観的な意見も積極的に取り入れ、中長期戦略等の議論を充実させました。

なお、中期経営計画において定めている各重点指標の2019年度実績については、本業利益[※]は前期比10億円減少の169億円、当期純利益は前期比41億円減少の202億円、自己資本比率は前期末比0.15ポイント低下の8.94%、OHRは前期比0.42ポイント上昇の69.27%となりました。

【重点指標】

	2018年度実績	2019年度実績
本業利益(2行合算) [※]	180億円	169億円
当期純利益(連結)	243億円	202億円
自己資本比率(連結)	9.09%	8.94%
OHR(2行合算)	68.85%	69.27%

[※]本業利益については、当社独自の基準として「コア業務利益－有価証券利息損益」にて算出しております。

2020年度に向けて

2020年度は、予期せぬ新型コロナウイルス感染症の影響が全国に拡大し、足下では景気も急減速する中、中期経営計画「ALL for the Region」を折り返すこととなりました。

この中で当社グループは、地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、お客さま、地域社会と当社グループの共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループを目指すという中期経営計画の原点にあらためて立ち返った活動を展開してまいります。

まずは、中期経営計画の中で強化したソリューションや事業性評価に基づく課題解決型の提案力といった経営資源を集中させ、全力を挙げて地域のお客さまをサポートしてまいります。また、お客さまの利便性向上と当社グループの業務効率化を両立すべくすすめてきたインターネットバンキングやキャッシュレスなど利便性を追求したデジタル

金融サービスについても、今後求められている新しい生活様式に資するものであり、引き続き強化してまいります。



中期経営計画「ALL for the Region」

中期経営計画(2019年4月～2022年3月)の概要

当社グループのプライムエリアである北陸と北海道では、全国的な傾向である少子高齢化や都市部への人口流出の動きから、将来的な経済規模の縮小も懸念される状況にあります。また、ESG、SDGsといった地域社会の持続的成長に向けた課題への対応も求められております。

金融業界においては、金融緩和政策による超低金利環境の継続、デジタル金融サービスを提供する他業態との競合の激化、政府が目標とするキャッシュレス決済比率の引き上げを見据えた電子マネー・モバイル決済サービスの急増など環境が激変する中、伝統的な銀行のビジネスモデルだけでの生き残りは難しくなっています。

これらの課題の解決を目指し、2019年4月より中期経営計画「ALL for the Region」をスタートさせております。

目指す姿

地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、
共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ



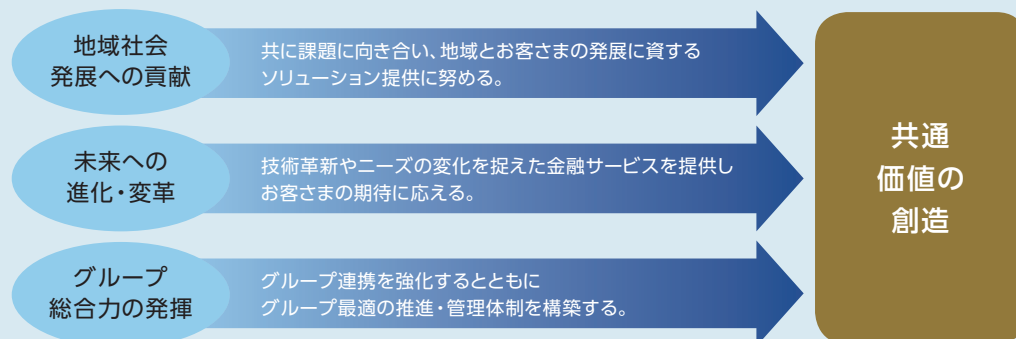
中期経営計画

ALL for the Region

位置付け

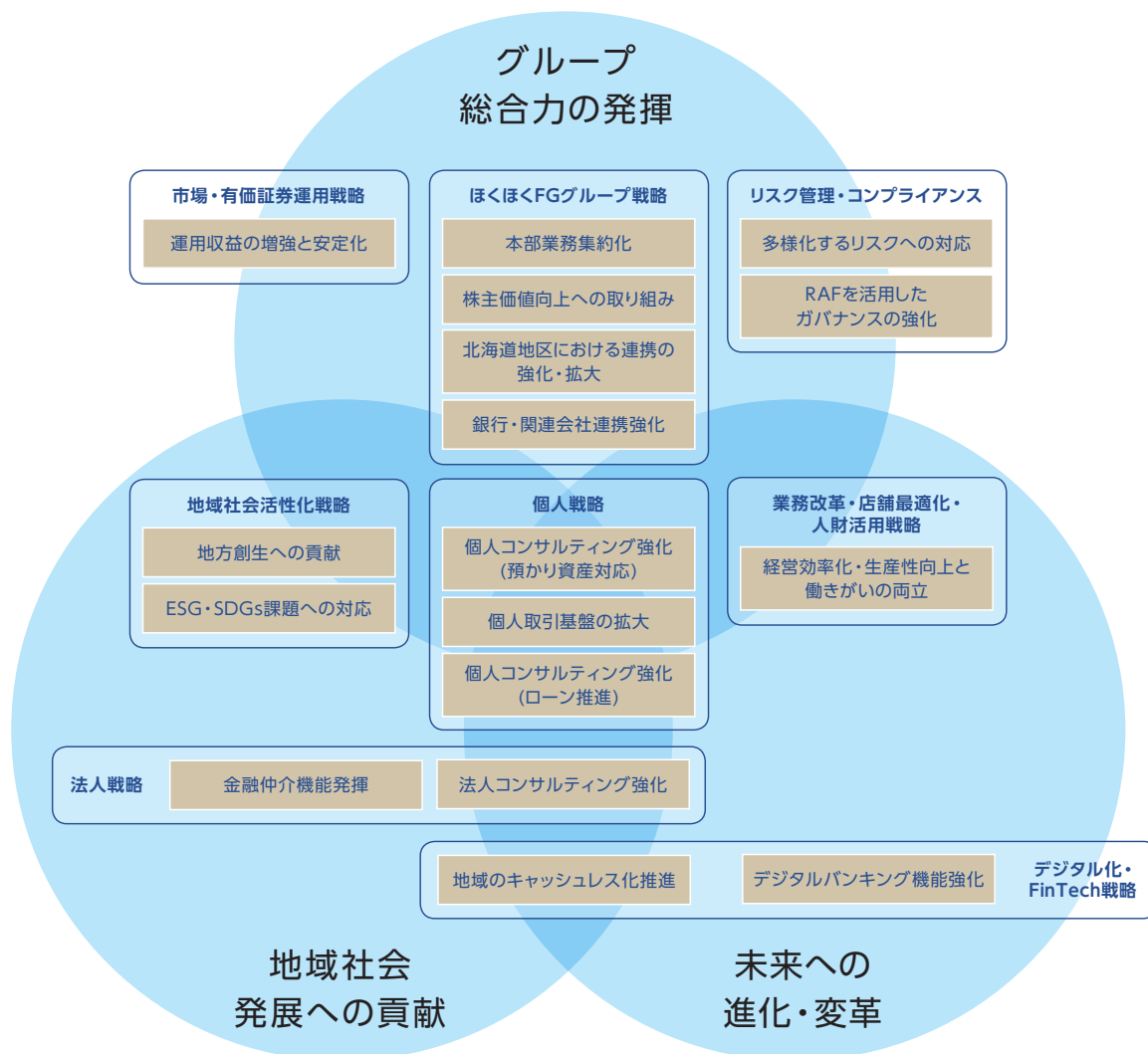
当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

基本方針



中期経営計画の基本方針と各重点戦略の位置づけ

前回の中期経営計画「Best for the Region」(2016年4月～2019年3月)では、「営業力の強化～お客さまの期待を上回る提案力・サービス力～」、「経営の効率化～競争を勝ち抜ける機能的な組織～」、「経営基盤の強靱化～地域から信頼される安定した財務基盤～」の実現に向けた重点施策に取り組み、一定の成果を上げることができました。一方で今回の中期経営計画に持ち越した課題も多くあります。残された課題を解決し、当社グループの持続的成長を達成していくために、下図の通り中期経営計画の各重点戦略を組み立てております。



中期経営計画の重点指標 2021年度(最終)

本業利益(2行合算)*

220 億円
以上

当期純利益(連結)

220 億円
以上

自己資本比率(連結)

8% 台
維持

OHR(2行合算)

60% 台
維持

*本業利益については、当社独自の基準として「コア業務純益－有価証券利息損益」にて算出しております。

中期経営計画「ALL for the Region」

基本方針に基づく各戦略区分における重点施策及び進捗状況

短期的には、利回り低下による貸出金利息の減少、円債の大量償還による有価証券収益減少といった収益の減少を補う施策が必要となっております。また、長期的には、持続可能なビジネスモデルの構築に向けた基礎を作る施策が必要となっております。これらを踏まえて当社グループは各種施策に取り組んでおります。

1. 法人戦略



■ 金融仲介機能発揮

- ・地区(プライムエリア)別・顧客セグメント(ビジネスステージ・取引内容等)別戦略に基づく推進体制を整備する
- ・事業性評価に基づく融資戦略を展開し、ミドルリスクへの対応を強化する

■ 法人コンサルティング強化

- ・ビジネスステージに応じたコンサルティング提案を推進するソリューションのメニューを拡充する
- ・外為業務におけるコンサルティング、ファイナンスの拡大により国際業務を推進する

	2018年度実績	2019年度実績
プライムエリア 貸出金残高(億円)※	51,597	52,636
事業性評価に基づく 融資先数(先)	6,219	7,372

※プライムエリア(北陸+北海道)における事業性貸出+住宅ローン

	2018年度実績	2019年度実績
法人ソリューション 収益(億円)※	27	36
外為関連収益(億円)	16	17

※法人ソリューション…ビジネスマッチング、私募債、シンジケートローン、M&A、事業承継

2. 個人戦略



■ 個人コンサルティング強化(預かり資産対応)

■ 個人取引基盤の拡大

- ・ライフステージや対面・非対面チャネルに応じた商品を拡充し、資産形成の支援と富裕者層への対応を強化する

■ 個人コンサルティング強化(ローン推進)

- ・推進拠点の最適化とライフステージや対面・非対面チャネルに応じた商品の拡充により、様々な資金ニーズに対応する

	2018年度実績	2019年度実績
積立型投資信託 保有先数(先)	31,782	38,258
信託取り扱い 件数(件)	38	301

	2018年度実績	2019年度実績
住宅ローン 期末残高(億円)	20,824	22,105

3. デジタル化・FinTech戦略



■ デジタルバンキング機能強化

- ・スマホアプリ等非対面チャネルの機能を強化し、デジタルバンキング化を推進する
- ・お客さまにとっての利便性向上(印鑑レス・ペーパーレス・キャッシュカードレス)を推進する

■ 地域のキャッシュレス化推進

- ・地域のキャッシュレス化を推進するためインフラ(プリペイ・リアルペイ・ポストペイ基盤)の構築に取り組む

	2018年度実績	2019年度実績
個人IB契約先数(先)	367,402	410,436

	2018年度実績	2019年度実績
キャッシュレス 加盟店数(先)※	—	11,592

※ほくほくPay、J-Coin Payの加盟店舗数

4. 地域社会活性化戦略



■ 地方創生への貢献

■ ESG・SDGs課題への対応

- ・地方公共団体・地域企業・教育機関との連携により、地域経済の活性化を図る
- ・ESG・SDGsを踏まえたCSR活動により、地域経済・地域社会の持続的な発展を目指す

	2018年度実績	2019年度実績
ESG・SDGs関連 投融資件数(件)	406	446

5. 市場・有価証券運用戦略

■ 運用収益の増強と安定化

- ・運用対象の多様化による分散投資をベースとした運用によりベース収益の引き上げを図る
- ・戦略的・機動的な運用実践によりフローの収益を確保する
- ・総合損益を重視した管理体制の確立と相場急変時の対応力強化によりリスクコントロール体制を整備する

6. リスク管理・コンプライアンス



■ RAFを活用したガバナンスの強化

- ・RAFを活用した経営戦略の策定とリスク管理体制の強化

■ 多様化するリスクへの対応

- ・職員教育を通して適切なリスクテイク姿勢・法令違反等根絶に向けたリスクカルチャーを醸成する
- ・各種シミュレーション・ストレステストの充実により環境変化に即応するリスク管理体制を強化する

7. 業務改革・店舗最適化・人財活用戦略



■ 経営効率化・生産性向上と働きがいの両立

- ・限られた経営資源の中でベストパフォーマンスを上げるため、業務スリム化、本部集中化・アウトソース促進、遠隔対応による合理化を推進する
- ・ICT活用(デジタル化、RPA、ペーパーレス)による業務の効率化を推進する
- ・適正人員に基づく人財配置の最適化と機動的な採用・出向施策による人件費の適正化を図る
- ・地域金融インフラを維持するため、各拠点の役割・機能の明確化による店舗体制の整備とATM運営の見直しを図る
- ・顧客対応力、専門性、マネジメント能力の向上に向けた人財育成を行う
- ・多様な人財が活躍できる職場環境を整備する

	2018年度実績	2019年度実績
RPAによる事務削減量(時間)	39,366	77,743
経費(億円)	865	853
うち物件費	384	385
うち人件費	419	405

8. ほくほくフィナンシャルグループ戦略

■ 北海道地区における連携の強化・拡大

- ・コンサルティング・金融サービスの共同活用、両行共通のビジネスマッチングシステムの導入等により営業推進力を強化する
- ・両行道内店舗の共同化(今後リニューアルする店舗の共同化)を進める
- ・本部機能・バックオフィスを含めた道内拠点の共同化を拡大する

■ 銀行・関連会社連携強化

- ・銀行・関連会社同士の連携により総合力で金融サービスを提供する

■ 本部業務集約化

- ・FGへの機能集約により更なるシナジー効果を追求する

■ 株主価値向上への取組(自己資本の充実・安定的な株主還元)

- ・安定的配当を維持しつつ利益の積み上げによりリスクテイクに必要な資本の充実を図る

	2018年度実績	2019年度実績
北海道内貸出金残高(億円)※	29,582	29,938
※事業性貸出+個人ローン		
関連会社経常利益(億円)	19.1	32.1
うち与信費用	15.9	3.5
(参考)経常利益(除く与信費用)(億円)	35.0	35.6

- 事業性評価に基づく融資戦略の展開、目利き力向上に向けた知識拡充、担保や経営者保証に過度に依存しない融資の促進を通じ、地域やお客さまの特性に応じた最適な金融仲介機能を発揮してまいります。
- 創業支援、販路開拓支援、経営改善支援、事業承継支援など各種支援を通じてお取引先のライフステージに応じた総合的なコンサルティング機能を発揮してまいります。

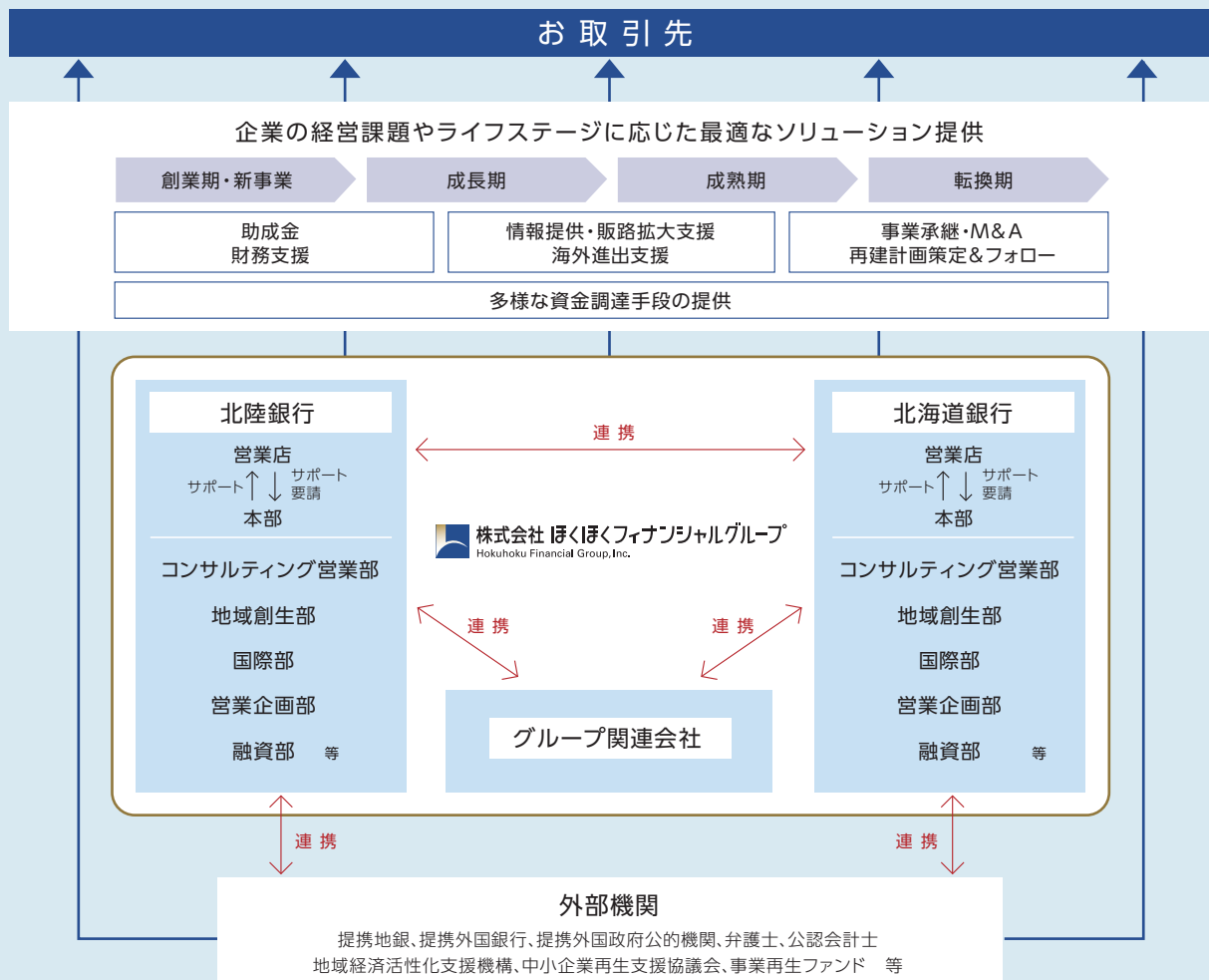
法人のお客さまの経営支援に関する取組方針

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」の精神のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまとともに歩み、成長・発展することを経営理念としております。

お客さまの経営課題に共に取り組むため、知識・ノウハウを蓄積し、的確なアドバイスやソリューション提案に努めてまいります。また、グループのネットワークを活かし、質の高いサービスを提供するとともに、地域金融の担い手として円滑な金融支援に努めてまいります。

お客さまの経営支援を通じて地域活性化に貢献し、地域から親しまれ頼りにされる金融グループを目指してまいります。

＜取組体制＞



事業性評価への取り組み

接点強化により対話の「量」を増やすことに加え、営業店内における「個別検討会」の実施、営業部門、融資部門等本部と連携した「合同カンファレンス」の実施など事業性評価の「質」の向上により、お客さまへ最適なソリューションを提供しています。また、階層別研修、行内事業性評価コンテストの実施、資格取得支援など人材育成メニューの充実により従業員の目利き力の向上に努めております。



担保や経営者保証に過度に依存しない融資促進への取り組み

既存の保証契約見直し、保証債務の整理などにあたっては「経営者保証に関するガイドライン」に基づいた適切な対応に努めています。また、商流把握、技術力評価などを踏まえて事業そのものへの着目を重視し、動産・売掛金担保融資を代替的融資手法として効果的に活用するなど、担保・保証に過度に依存しない融資案件の取り組みを行っております。

経営者保証に関するガイドラインへの取組実績(2019年度)	北陸銀行	北海道銀行
新規融資件数	29,963件	14,092件
新規に無保証で融資した件数(比率)	7,257件 (24.2%)	3,642件 (25.8%)
保証契約を変更した件数	260件	262件
保証契約を解除した件数	462件	1,127件
代表者交代時における保証契約の締結状況	517件	401件
a:旧経営者との保証契約を解除し、かつ、新経営者との保証契約を締結しなかった件数(比率)	118件 (22.8%)	92件 (22.9%)
b:旧経営者との保証契約を解除する一方、新経営者との保証契約を締結した件数(比率)	289件 (55.9%)	130件 (32.4%)
c:旧経営者との保証契約を解除しなかったが、新経営者との保証契約は締結しなかった件数(比率)	97件 (18.8%)	147件 (36.7%)
d:旧経営者との保証契約を解除せず、かつ、新経営者との保証契約を締結した件数(比率)	13件 (2.5%)	32件 (8.0%)
ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	7件	9件

TOPICS

新型コロナウイルス感染症への取り組み

北陸銀行・北海道銀行では、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う融資相談窓口」および「休日電話窓口」を設置し、専用商品等の導入により取引先からの融資条件変更申出や資金ニーズ等の資金繰り支援について、柔軟に対応しております。影響を受けられたお客さまをはじめとして、これまで以上に寄りそった対応に努めてまいります。

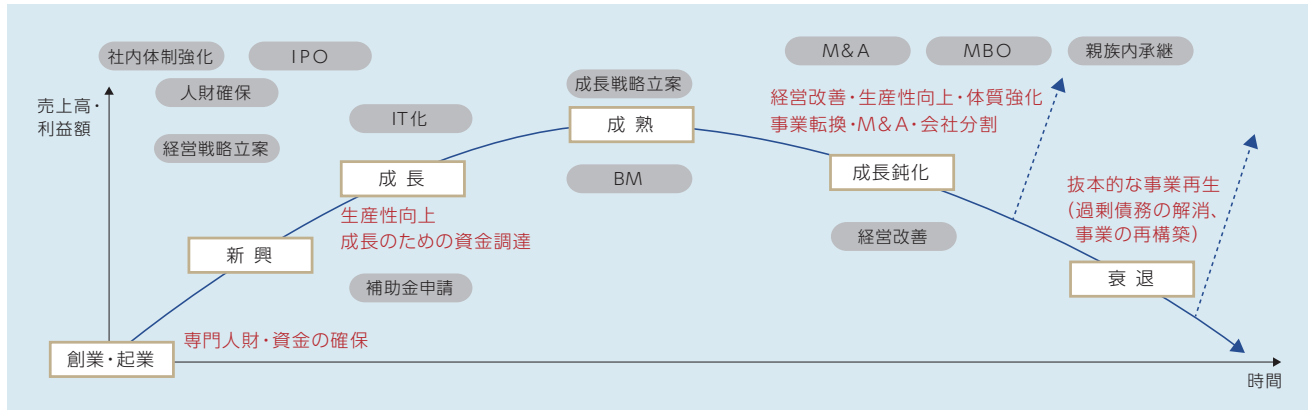
(2020年7月3日現在)

新規融資申出*		条件変更申出*
件数	金額	件数
14,913件	5,443億円	419件

※お客さまからの申出取下げ等を除く

ライフステージに応じたソリューションの提供

ほくほくフィナンシャルグループは、お取引先のライフステージにおけるあらゆる課題に対し、ソリューション提案を通じた総合的なコンサルティング機能を発揮してまいります。



ソリューションの拡大(2019年度)	コンサルティング人員増強
どさんこ地域活性化ファンド設立(北海道銀行) 人材紹介業務開始(北陸銀行)	コンサルティング営業部渉外人員 2019年度末84名(2017年度末比 +25名)

創業・新規事業開拓の支援

創業や新規事業を考えるお取引先に対し、制度資金やベンチャー向け投資ファンドなど資金調達面からの支援や産学官金連携を通じたニーズの発掘、成長分野への情報提供を行っております。

■ 公的助成申請サポートによる創業等の支援

公的助成制度の紹介や申請書策定支援により、お取引先の新規事業意欲を後押しし、事業多角化をサポートしております。

■ 公的助成申請サポート実績(2019年度)

	北陸銀行	北海道銀行
ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金採択件数	40件	29件
ものづくり・商業・サービス高度連携促進補助金採択件数	—	2件

成長段階における支援

当社グループの広域店舗網や提携外部機関とのネットワークを活用した商談会・セミナーの開催を通じてお取引先の販路開拓や工場進出といった事業の拡大を支援しています。商談会では、事前相談やテーマの絞り込みにより、お取引先にとって有益なビジネスマッチングの機会となるよう工夫した取り組みを行っております。

■ 販路拡大・海外進出サポート支援実績(2019年度)

北陸銀行	北海道銀行
9月:地方銀行フードセレクション2019 9月:遼寧省中日商談会	
10月:第1回FBCホーチミン 2019 ものづくり商談会の開催等	7月:第2回FOOD EXPO北海道 10月:インパウンドプロダクツ2019

経営改善・事業再生・業種転換等の支援

専担部署や中小企業再生支援協議会などの外部機関を活用したコンサルティングによる経営改善の計画策定やその後の各種モニタリングまでフォローを行っております。

■ 経営改善支援の取組実績(2019年度)

	北陸銀行	北海道銀行
重点的な経営改善支援を必要とするお取引先	405先	413先
うち再生計画を作成した先	364先	255先
うち事業の改善が確認できたお取引先	37先	83先

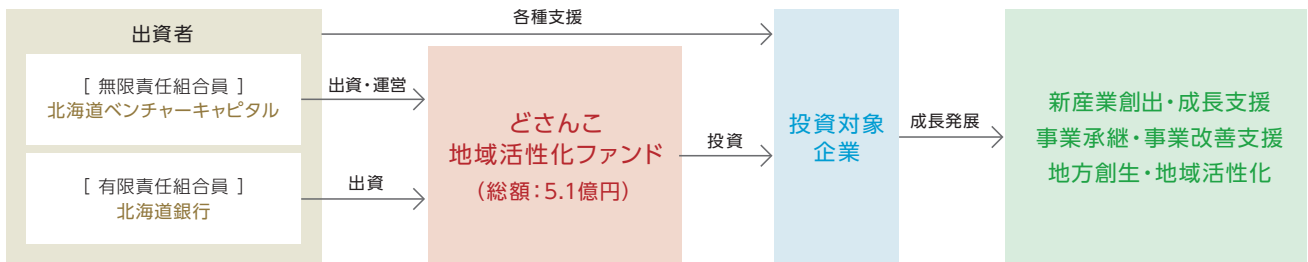
どさんこ地域活性化ファンド設立

北海道銀行は、2019年4月、地元の北海道ベンチャーキャピタル株式会社と共同で、「どさんこ地域活性化投資事業有限責任組合(どさんこ地域活性化ファンド)」を設立いたしました。

本ファンド設立は、従来から「ほっかいどう地方創生ファンド」で行ってきた「地域資源を活用し成長を狙うベンチャー企業」への投資に加え、「事業拡大や事業承継・事業改善に取り組む企業」に対し、ファンドを通じた成長支援や後継体制の構築支援等を行うことにより、地域活性化を促し、継続的な産業の維持・発展に寄与することを目的としております。

本ファンドでの資金供給と金融仲介機能を提供することにより、北海道経済を担う中小企業等の成長を支援してまいります。

■ スキーム図(成長支援に向けた取り組み)



株式会社マクアケの「Makuake Bank Partner賞」を受賞

北海道銀行は、2020年2月、クラウドファンディング「Makuake」を運営している業務提携先の株式会社マクアケより「Makuake Bank Partner賞」を受賞しました。「Makuake Bank Partner賞」は、同社と連携する金融機関の中でも積極的に全国各地の事業者を紹介して新しい挑戦を推進している金融機関に授与されるものです。北海道銀行は、道内事業者を多数紹介したほか、道内のベンチャー企業がBtoC商品として展開する際の資金調達やテストマーケティング、商品PRといった課題に対しても、「Makuake」を活用した課題解決に取り組みました。このような地域活性化の新たな取り組みをサポートしている点も評価され受賞しました。引き続き、様々なパートナーとの連携を通じて地域の発展に貢献してまいります。

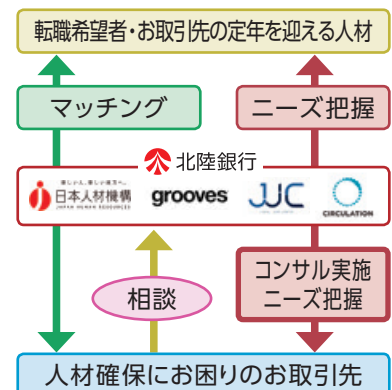


人材紹介業を開始

北陸銀行は、2019年7月、人材紹介業者4社と提携し、人材ニーズを有する企業の窓口となり、経営層や管理者層、専門的な知識を持つ人材などを紹介し、お取引先の経営戦略の策定・実行支援から経営人材等の採用に至るまでのコンサルティングサービスをワンストップで提供できる体制を整えました。銀行本体が人材紹介業務の免許(有料職業紹介事業の許可)を取得するのは、北陸三県に本店を置く金融機関で初めてです。

人材紹介業務を通じ、都市部人材の地元地域への還流を促し、お取引先の経営課題解決、持続的成長の実現に向けた支援をすることで、地域経済の活性化に貢献してまいります。

■ スキーム図



■ お客さまのライフステージ、ライフイベント、価値観の多様化による様々なニーズにお応えするため、人財・商品・チャンネル・銀証連携をブラッシュアップしトータルソリューションを提供してまいります。

ほくほくフィナンシャルグループは、総合金融グループとして人生100年時代を見据えたお客さまのライフイベントをサポートしてまいります。お客さまお一人おひとりに適したソリューションを提供するため、変化を捉えた商品開発、人財育成やグループ連携によるコンサルティング力強化、利便性向上に繋がるチャンネル拡充を実施してまいります。

	若年層 ～20代	資産形成層 30代～50代	退職前後層 50代～60代	高齢者層 70代～
ライフ ステージ				
ライフ イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・就職 ・マイカー購入 ・結婚・出産 ・海外旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の 小・中・高・大学等入学 ・マイホーム購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の結婚 ・孫の誕生 ・退職 ・マイホーム増改築 	<ul style="list-style-type: none"> ・セカンドライフ
資産	備える『平準払保険、医療・がん保険、積立投資信託、ジュニアNISA、つみたてNISA、各種預金』			
人財の育成 商品の拡充 銀証連携の 強化	育てる『積立投資信託、投資信託、公共債、外貨預金』			遺す『保険・信託』
ローン	<ul style="list-style-type: none"> ・カードローン ・マイカーローン ・ブライダルローン ・フリーローン 	<ul style="list-style-type: none"> ・学資ローン ・住宅ローン 	<ul style="list-style-type: none"> ・リフォームローン 	
サービス	給与振込		年金受取	
人財の育成 商品の拡充 チャンネルの 多様化	相続・遺産整理遺言信託・ 遺言代用信託・暦年贈与型信託			
	口座開設・各種アプリ・WEB完結型非対面取引・QR決済			

暦年贈与型信託の取り扱い開始

北陸銀行は、2019年4月、お客さまの資産承継ニーズにお応えするため、信託業務の取り扱いを開始しております。

また、お客さまのニーズを受け、新たに「暦年贈与型信託」の取り扱いを2020年4月より開始いたしました。

暦年贈与型信託とは、お客さまから信託されたご資金について、北陸銀行が毎年、贈与する方と贈与を受ける方の意思確認を行うことで、贈与契約書の作成や振込手続き等の面倒な手続きもなく、生前贈与を行うことができる商品です。

これにより、相続発生後だけでなく、ご自身がお元気なうちから大切なご家族に贈与していきたいとされるお客さまへのサポートに努めております。



八大疾病保障付き夫婦連生団体信用生命保険の取り扱い開始

北陸銀行は、2020年1月、住宅ローンご利用の際にご加入いただく団体信用生命保険商品に、北陸三県の金融機関では初となる「八大疾病保障付き夫婦連生団体信用生命保険」の取り扱いを開始しました。

「八大疾病保障付き夫婦連生団体信用生命保険」は、ご夫婦で連帯債務方式住宅ローンをご利用いただく際、ご夫婦の「どちらか」に「死亡・高度障害」など万一のことがあった場合に、住宅ローンの残高が0円になる保険です。さらに、より充実した保障の提供として「死亡・高度障害」に加え、ガンなど八大疾病に対応した保険をご夫婦ともに保障する商品も取り扱っております。



お客さまの利便性向上に向けた拠点開設

■「口座開設プラザ」を新規開店

北海道銀行は、2019年3月、お客さまの利便性向上を目的として平日15時以降や土日祝日に窓口での口座開設が可能となる「口座開設プラザ(地下鉄大通駅出張所)」を開店しました。

本プラザでは、これまで新規口座開設時に郵送でお渡ししていたキャッシュカードを、お申込みいただいたその場でお渡することが可能となる「キャッシュカード即時交付サービス」の取り扱いを行い、利便性の向上に努めております。



■「ほくぎんファボーレプラザ」を新規開店

北陸銀行は、2019年10月、富山市にある大型ショッピングセンター「フューチャーシティファボーレ」の増床リニューアルオープンに伴い、「ほくぎんファボーレプラザ」(速星支店ファボーレプラザ出張所)を開店しました。

ファボーレプラザは、休日を含め毎日20時まで営業。相談ブースや商談室、キッズスペースも充実し、資産運用や相続のお悩みなど、お客さまのご相談にゆっくりとお応えできる店舗です。また、住所変更や名義変更といった諸届の受付・インターネットバンキングやアプリの使い方のご相談も承っております。平日や日中のご来店が難しいお客さまにも便利にご利用いただいております。



- デジタルトランスフォーメーションを通じてお客さまの利便性の向上と当社グループ内の生産性の向上に努めてまいります。

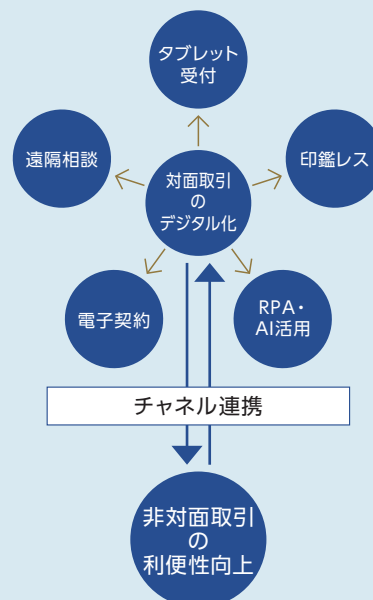
ホームページやアプリ等において来店せずにお客さまの課題解決や各種お手続きが完結できる機能を強化するとともに、店頭においても印鑑や書面での手続きを不要とし双方にとって事務負担を軽減するプロセスを構築してまいります。

《ほくほくフィナンシャルグループのデジタルトランスフォーメーション》

サービスの向上と業務プロセスの改革

ロケーションフリー	・来店の有無に関わらずいつでもどこでも各種お手続きを可能とします
コンサルティング強化	・お客さまとのタッチポイントの拡大により、対話重視のご提案を可能とします
事務の効率化	・事務フローの見直しにより、お客さまの事務手続きの負担を軽減します
セルフバンキング	・営業店窓口を通さず店頭タブレット等によりお客さま自身によるスピーディーな事務手続きを可能とします
ダイレクト化・バックレス	・生産性を向上させるため営業店事務の見直しと集中化により当社グループ内の事務量を削減します

対面取引のデジタル化と非対面取引の利便性向上



〈非対面取引の利便性向上への取り組み〉

非対面取引の利便性向上に向け個人インターネットバンキングおよびアプリの機能強化に努めてまいりました。ウィズコロナの環境下となり、更なる強化に取り組んでまいります。

個人向けインターネットバンキングサービス

2019年度は非対面、ペーパーレスによる本人確認を可能とする「届出電話番号認証機能」を導入しました。2020年度はインターネット完結で申込後即時利用を可能とする機能を導入いたします。

法人向けインターネットバンキングサービス

2019年度は安心してお使いいただくため、セキュリティ強化に向けトラザクシオン認証を導入しました。2020年度は北陸銀行において「ほくぎんビジネスポータル」を導入し、従来の資金決済を中心とした業務の枠を超えたサービスを提供することで、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

- プライムエリアである北陸・北海道におけるキャッシュレス化を推進することで、地域社会全体の生産性向上と利便性向上により活性化を促進してまいります。

キャッシュレス決済の取り扱い可能店舗を増やしていくとともに、「安心・安全」な銀行が運用するスマホ決済サービス「ほくほくPay」[J-Coin Pay]の利用者を増やしてまいります。

金融機関連携プラットフォーム「Hokuriku Big Advance」運用開始

北陸銀行は、2019年11月、法人および個人事業主のお客さまご自身がインターネット上のサイトにアクセスしてご利用いただく経営支援プラットフォーム「Hokuriku Big Advance」の運用を開始しました。

400社を超える大手企業やプラットフォーム参加金融機関会員同士のビジネスマッチングにより販路拡大・人材確保・業務効率化・事業承継など地域企業が抱える様々な経営課題にワンストップで応えるとともに、大手企業とのオープンイノベーションにより、地域から生まれる新たな技術やサービス、未来の新規事業創出の実現を支援してまいります。



住宅ローン「電子契約サービス」の取り扱い開始

北海道銀行では2019年12月、北陸銀行では2020年1月に、住宅ローンにおける「電子契約サービス」の取り扱いを開始しました。

窓口でのタブレット端末へのご入力により紙の契約書における署名・押印と同等の法的効力のある電子署名が契約書に付与され、住宅ローンお借入時の契約締結の電子化が可能となりました。引き続きお客さまの利便性向上に向けたサービスの提供に努めてまいります。



「ほくほくPay」のサービス開始

北陸銀行および北海道銀行は、2019年11月、「スマホ決済サービス『ほくほくPay』」の取り扱いを開始しました。個人のお客さまが契約加盟店でお買い物の代金を支払う際、スマホアプリを操作しQRコードを読み取ることで、あらかじめ登録した銀行口座から代金が即時に引き落とされ支払いが完了するサービスです。売上代金は、後日加盟店の銀行口座に入金されます。事前のチャージやクレジットカードの登録が不要で、財布やクレジットカードを持ち歩かなくてもスマートにお買い物ができます。「ほくほくPay」は、GMOペイメントゲートウェイ株式会社が提供する「銀行Pay」の基盤システムを利用しており、「銀行Pay」を導入する銀行との「マルチバンク決済」機能が順次利用可能となります。

引き続き地域のキャッシュレス化・デジタルバンキングの推進を通じて、お客さまの利便性向上に取り組んでまいります。



「ほくほくPay」のご利用方法

まずは、お店にスマホ決済サービスで支払うことを伝えてください



お支払いをタップ

お店のQRコードを読み込む場合



お店の人がQRコードを提示



お店のQRコードを読み取る

お店へQRコードを提示する場合



「コード払い」をタップ



QRコードをお店の人に提示



お支払い完了
ご利用控えを確認

詳しくは、北陸銀行ホームページ <https://www.hokugin.co.jp/> 北海道銀行 <https://www.hokkaidobank.co.jp/> をご覧くださいか、最寄りの本支店へお問い合わせください。

■ 北陸・北海道に根ざす金融機関として、地域経済・社会の持続的な発展を目指してまいります。

ほくほくフィナンシャルグループでは、行政機関や地方公共団体、大学等の研究機関、経済団体等との連携を強化し、農業や観光等の成長分野や地域産業の育成支援に取り組み、地域活性化を目指してまいります。

また、金融機関としてのノウハウを生かした学生のための金融教育や、地域行事への参加はもとより、芸術文化や福祉分野への支援を行い、地域に根ざす企業市民として積極的な社会貢献活動に取り組んでまいります。

TOPICS

持続可能な地域社会の実現

地域社会活性化支援

農業法人「合同会社OMEGAファーマーズ」への出資および経営支援

北海道銀行は、2019年7月、マネジメントおよび経営資源の集中による「農業経営の企業化」という手法で、北海道農業の発展に貢献することを目的とし、農業法人「合同会社OMEGAファーマーズ」へ直接出資のうえ、職員を代表社員として派遣しました。

今後、同社における植物油の原料生産・搾油加工・販売までの6次産業化へのアドバイス等を実施してまいります。



富山市とのSDGsの推進に関する包括連携協定締結および「本庁舎北側公有地活用事業」に対するプロジェクトファイナンスの組成

北陸銀行は、2019年8月、SDGs未来都市に選定されている富山市と、SDGs達成に向けて「SDGsの推進に関する包括連携協定」を締結しました。

また、北陸銀行および日本政策投資銀行は、富山市のコンパクトなまちづくりを地域企業の資金・ノウハウを活用して実現するため、富山市のPPP事業である「本庁舎北側公有地活用事業」を受託するために設立された株式会社PPP新桜に対するプロジェクトファイナンスを組成しました。



空き家対策に向けた官民連携をコーディネート

2019年9月、鷹栖町と株式会社三友システムアプライザルが、北海道銀行のコーディネートにより、『空き家対策に関する連携協定』を締結しました。

両者は、空き家の有効活用や解消等を図ることを目指して協働し、鷹栖町をフィールドとした「空き家調査員養成事業」(国土交通省より受託)を実施します。当該事業により、空き家に関する相談にワンストップで対応できる空き家調査員を養成し、地域の空き家・空き地を発生させない取り組みを目指します。空き家調査員は、地方における法務・不動産・建築・金融等の専門家との産学官金連携により、空き家に対する経済合理性を加味した「空き家トリアージ」を行います。



X-Tech Innovation2019の開催

北海道銀行は、2019年12月、急速に発展する様々なテクノロジーに着目し、業界・業種を横断する新しいサービス・ビジネスアイデアを広く募集するビジネスコンテスト選考会を開催しました。

本コンテストは、昨年度共同開催したふくおかフィナンシャルグループ・沖縄銀行・七十七銀行とともに、4行・4地域で開催したものです。本コンテストを通じてスタートアップ企業のビジネスアイデアの事業化に向けたサポートや既存ビジネスへの活用の可能性を模索し、地域経済の活性化に貢献してまいります。なお、今回は、特別プレゼンの時間を設け発表した学生チームに対し「地方創生特別賞」「SDGs特別賞」を贈呈しました。



PR TIMES「北海道銀行特別プラン」提供開始

北海道銀行は、2020年3月、道内企業や自治体の広報・PR支援を目的として、プレスリリース配信サービス「PR TIMES」において「北海道銀行特別プラン」の提供を開始しました。北陸銀行では、2017年11月より「北陸銀行特別プラン」を開始しております。「PR TIMES」は月間閲覧数2,700万PVのプレスリリース配信サイトであり、同プランを活用することにより、地域企業の有益なニュースや自治体の地方創生の取り組みを効果的に全国発信することができます。同プランの活用により、地域企業の有益なニュースや、自治体の地方創生の取り組みを全国向けに発信しやすくする環境づくりを進め、地域経済の活性化と地方創生の推進に寄与してまいります。



責任ある投資

ESGに配慮した環境改善に資する「グリーンボンド」を購入

北陸銀行は、2019年9月、三井不動産株式会社が発行するESGに配慮したグリーンプロジェクトに資する債券「グリーンボンド」を購入しました。本債券は、省エネルギー事業に取り組む高層ビルとして2019年3月に完成し、北陸銀行および北海道銀行の東京支店が入居する日本橋室町三井タワーの保留床取得資金のリファイナンスに充当されます。

日本橋室町三井タワーは、「日本橋スマートエネルギープロジェクト」による電力・熱供給を受けることにより、エネルギーの有効利用で省エネ・省CO₂を実現するだけでなく、高い防災力を備えています。本債券の購入を通じて、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)のうち、目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」の達成等に貢献してまいります。



地域における金融リテラシーの向上

金融経済教育

「エコノミクス甲子園」を開催

北陸銀行および北海道銀行は、2019年11月～12月、高校生がクイズを楽しみながら金融・経済に関する知識を習得し、お金との関わり方やライフプランを考えるきっかけにしておらうと、「エコノミクス甲子園」の地方大会を開催しました。北陸銀行では富山大会・福井大会の運営を、北海道銀行では、北海道大会の運営を行いました。高校生からは、「大会をきっかけに、授業では得られないような情報や、今後の人生に役立つ知識を得られた」といった感想が寄せられました。



- 顧客対応力、専門性、マネジメント能力の向上に向けた人財育成を行い、多様な人財が活躍できる職場環境を整備してまいります。

人財育成

ほくほくフィナンシャルグループは、グループ全社で働く従業員一人ひとりが財産であると考えております。お客さま、地域の幸せな未来を創造していくためには、人財の育成が最も重要であり、その積み重ねが未来のほくほくフィナンシャルグループを築き上げていくという強い信念をもって積極的にキャリア支援・育成に取り組んでおります。

	階層別研修	業種別研修	行外・海外研修
経営職 管理職	マネジメント研修 新任経営職・管理職研修	コンサルティング力強化に向けた 各種ソリューション研修 ・法人、個人コンサルティング営業 ・融資業務 ・国際業務 ・市場業務 等	海外研修 地銀協研修 民間企業研修出向
中堅行員	中堅行員向け研修 新任役席者研修		
若手行員	キャリアアップ研修		
新入行員		基礎・フォロー研修 新入行員研修	

幅広いキャリアアップ支援

北海道銀行では、「複線型人事制度」や「コース選択・転換制度」のもと、環境の変化に伴い、銀行に求められる専門性やキャリア設計が多様化する中で、時代の変化に柔軟に適合するために2014年から特定職エリアコースを新設しております。多くの行員が専門スキルを活かして活躍しております。



チャレンジジョブ制度

北陸銀行では、行員各自の能力・知識を得意分野で発揮する機会を提供し、自発的・意欲的なキャリア形成をサポートするチャレンジジョブ制度を導入しております。この制度を利用し、自身のキャリアを形成しながら働く行員が増えております。



募集業務例

経営企画・推進企画・デジタル戦略・業務改革・地域創生・人財戦略・コンサルティング・グループ金融 等

行外・海外研修

ほくほくフィナンシャルグループでは、高度な専門知識と実務能力の養成や、経営感覚の醸成、人脈の形成などを目的として行外・海外の研修に積極的に派遣しております。金融のプロとして、お客さまや地域のニーズ・課題を解決するソリューションスキルの習得を目指してまいります。



2019年度派遣実績	北陸銀行	北海道銀行
行外研修	57名	54名
海外研修	46名	19名

ダイバーシティの推進

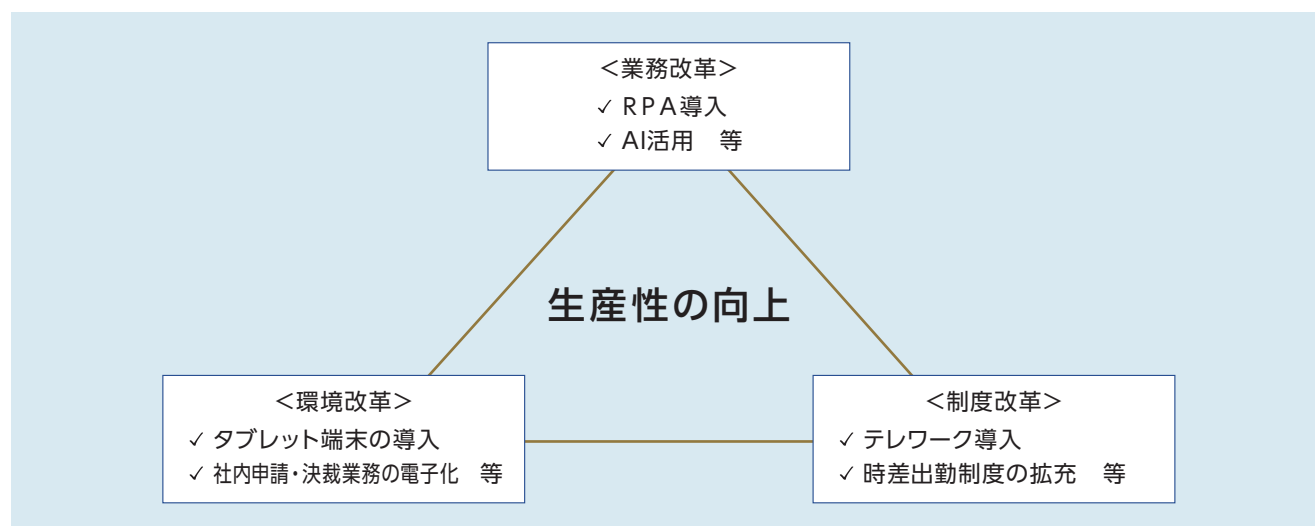
ダイバーシティの推進を主要な経営課題と捉え、多様な人財が活躍できる職場を目指し、「キャリア形成への意識醸成」と「組織全体の風土改革」に取り組んでおります。

北陸銀行および北海道銀行では、ダイバーシティ推進室を設置し、女性活躍の推進やワーク・ライフ・バランス支援制度の充実、多様な働き方の実現等を通じて、意欲・能力のあるすべての職員が活躍できる環境の整備に注力しております。

ダイバーシティに関する認定取得、各種取り組み	
北陸銀行	
2016年	富山県内初となる厚生労働省「プラチナくるみん認定」取得
2016年	「北陸銀行イクボス宣言」実施
2017年	女性活躍に関する厚生労働省「えるぼし認定(2段階)」取得
2018年-2020年	経済産業省「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定取得
北海道銀行	
2012年	行内託児施設「どさんこKid's Room」開設
2018年	「札幌市ワーク・ライフ・バランスplus企業認証」取得 ※ワーク・ライフ・バランスおよび女性活躍に積極的な企業認証
2018年-2020年	経済産業省「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定取得

働き方改革の推進

グループ全体で業務の合理化・効率化を徹底することで、生産性向上を通じた人的資源の効率的な配置、時間外労働の削減、ワーク・ライフ・バランスの充実等に取り組んでおります。



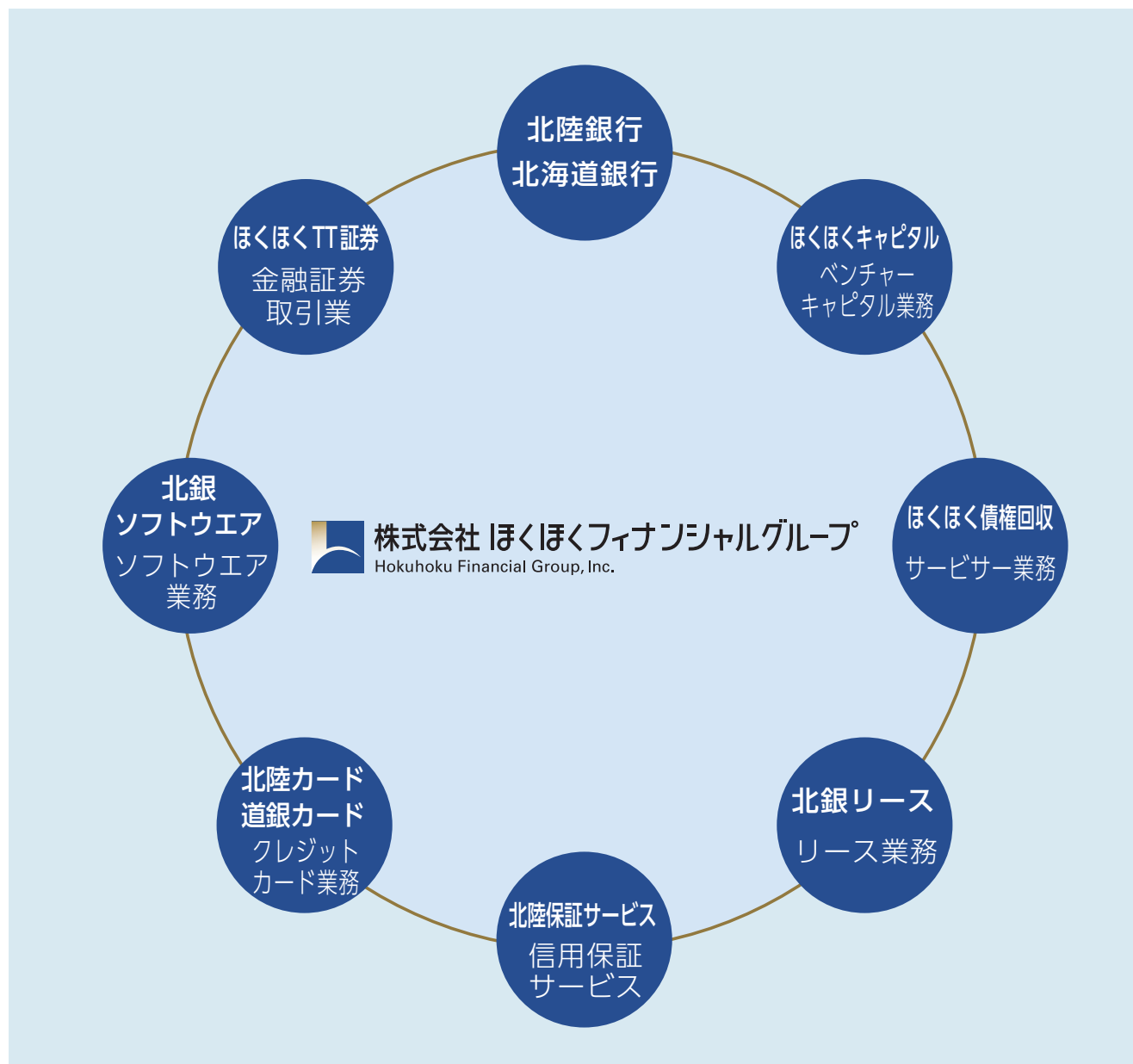
各種数値指標・実績(2019年度)	
1. 法人・個人の渉外担当者率	
32.1% (前年比+2.5%)	
2. 有給休暇取得実績(年間平均)	
北陸銀行:14.0日	北海道銀行:12.4日

- 総合金融サービスの提供による収益力の強化と、シナジー効果の追求による経営効率化を図り、当社グループの企業価値を高めてまいります。

ほくほくフィナンシャルグループは、その中核となる北陸銀行・北海道銀行を中心に子会社間の連携を図ることで、総合金融グループとして金融サービスを提供しています。また、両行におけるシナジー効果の追求による収益力の強化とコストの削減に取り組んでおります。

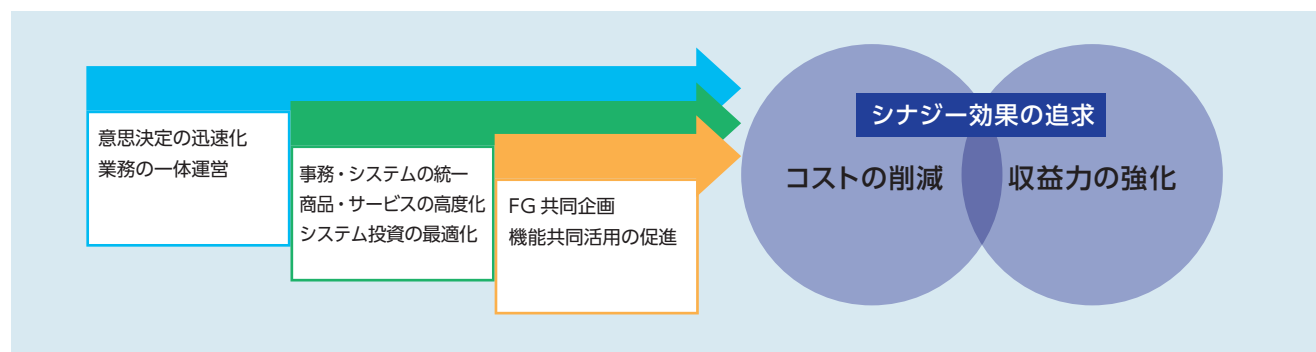
総合金融グループとしての金融サービスを提供

幅広い資産運用ニーズへの対応、地域のキャッシュレス化推進、将来性のある地元ベンチャー企業への投融資支援、デジタル活用支援、調達手段の多様化への対応など、グループ各社が連携を図ることで、様々なお客さまの課題解決に取り組んでまいります。



機能的な組織体制の構築

ほくほくフィナンシャルグループの中核を担う北陸銀行・北海道銀行は、本部組織の改編、両行共通の営業エリアである北海道地区における本部、営業店の連携強化により、更なるシナジー効果の追求に向け取り組んでおります。



本部組織改編

2019年度については下記の改編を実施いたしました。

- FG企画グループと両行経営企画部、FGリスク管理グループと両行統合リスク管理部、コンプライアンス統括部を一体で運営する新体制に移行
- 全部署・委員会の名称・役割を統一

北海道地区における連携強化

2019年度の取り組み

- 【本部】
 - 道内バックオフィス業務の集約
 - 道内営業・店舗戦略のシナジー効果の追求
 - 北陸銀行・北海道銀行合同研修の実施
- 【営業店】
 - 道内連携強化を目的とした「ほくほく連携会議」の開催

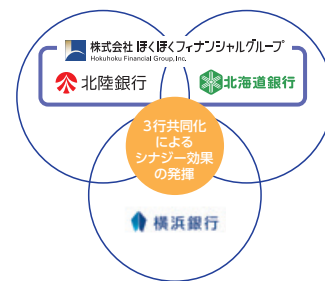


TOPICS

外為事務3行共同化

コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行と3行で、海外向けの送金や貿易取引など外国為替に関する事務を共同化することを決定いたしました。

北海道銀行は2019年11月から実施しており、北陸銀行も2020年10月からの実施となります。これまで基幹系システム「MEJAR」の共同運営を行い、ITコストの低減などを図ってきましたが、外国為替に関する事務を共同化することにより、3行のノウハウを共有しながら、リスク管理の向上とコストの削減を両立した持続可能な外国為替事務業務のモデル構築に繋がってまいります。



ビジネスマッチングシステムの統一化

北海道銀行は、2020年4月、リンカーズ株式会社と北陸銀行が共同開発したビジネスマッチングシステムを導入しました。

本システム導入により、お客さまが抱える様々なビジネスマッチングニーズに対して、解決に向けたご提案をスピーディーに行うことが可能となります。また、先行導入している北陸銀行との連携を一層強めてまいります。



ステークホルダーとのかかわり

ほくほくフィナンシャルグループでは「お客さま」「地域社会・環境」「株主・投資家」「従業員」「行政・教育機関・業界団体」といった様々なステークホルダーの皆様とのかかわりを通じて、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。



ほくほくフィナンシャルグループ ディスクロージャー・ポリシー

基本方針

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ(以下、「当社」とする)および当社子会社、関連会社は、「広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客様の繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます」という経営理念のもと、株主・投資家、お客様、地域社会、従業員等あらゆるステークホルダーに対し、積極的な情報開示を行います。

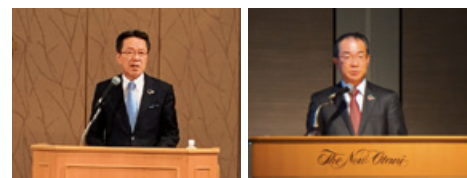
また、様々なコミュニケーション活動を通じてステークホルダーとの建設的な対話を行い、企業の透明性を一層高め、ステークホルダーとの信頼関係を維持・発展させていきます。

株主・投資家

ほくほくフィナンシャルグループでは、株主・投資家の皆様との対話の場を重視しております。

2019年度は、東京にて機関投資家向け会社説明会を、富山・金沢・札幌・旭川にて個人投資家向け会社説明会を開催し、当社グループの概要、業績および戦略等についてご説明をさせていただきました。

※2020年においては、コロナウイルス感染症拡大防止の観点より開催を見送りさせていただきました。



地域社会・環境

なんとの森づくり事業の協力参加

北陸銀行では、世界遺産「五箇山合掌造り」の屋根に使用する素材の茅不足改善を目的に2015年11月から開始されている本事業の趣旨に賛同するとともにSDGsの趣旨に沿った持続可能な社会の実現に向けて開始当初より参加協力しております。



どうぎんカーリングクラシックの開催

北海道銀行では、2015年より「どうぎんカーリングクラシック」をどうぎんカーリングスタジアムで開催しております。毎回、国内外から男女各チームが競い合い、熱戦が繰り広げられております。2019年からは、ワールドカーリングツアーに登録され、国際試合として定着してきております。



行政・教育機関・業界団体

北陸銀行・北海道銀行は、行政や教育機関、各種団体との連携を通じてコミュニケーションの強化を図り、地域のニーズと研究シーズとのマッチングや地域の金融リテラシーやSDGsリテラシーの向上に向けた教育を積極的に推進しております。

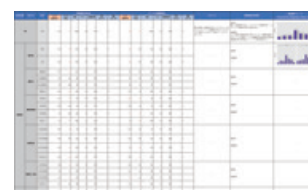
2019年度末においては、46の自治体、22の大学と連携を締結しております。



お客さま

北陸銀行、北海道銀行は、お客さまの声に真摯に耳を傾け、より良いサービスのご提供・商品のご案内に役立てるため、資産運用のお取引をいただいているお客さまへのアンケート調査を実施しております。アンケートについては、お客さまが企業のブランドや商品・担当者に高い関心を持ち、「知人やご家族にどの位勧めたいと思うか」を数字に表したNPS®(Net Promoter Score®)を活用しております。

2019年度は、2行ともに本アンケートに参加した地方銀行50行の平均を上回る評価をいただきました。



従業員

ほくほくヤングフォーラムの開催

北陸銀行および北海道銀行の連携強化および若手行員と経営陣との対話促進に向け、2014年より「ほくほくヤングフォーラム」を開催しております。第7回となる2019年度は、両行の若手行員21人が参加し、中期経営計画の柱の一つでもあるグループ総合力の発揮に向けて「ほくほく連携」、「グループ総合力の発揮」について議論し、理解を深めました。



株式会社ほくほくフィナンシャルグループ



代表取締役社長
庵 栄伸

1979年4月 株式会社北陸銀行入行
2004年6月 同 総合企画担当部長(当社出向)
当社企画グループ長兼総務グループ長
2009年6月 株式会社北陸銀行取締役執行役員
当社取締役(企画・総務グループ担当)
2010年6月 株式会社北陸銀行常務執行役員
2013年6月 同 代表取締役頭取(現任)
当社代表取締役社長(現任)



代表取締役副社長
笹原 晶博

1979年4月 株式会社北海道銀行入行
2001年6月 同 月寒支店長
2002年7月 同 営業企画グループ調査役
グループリーダー
2003年5月 同 執行役員
2003年6月 同 取締役執行役員
2005年6月 同 取締役執行役員常務 営業部門長
2005年10月 同 取締役執行役員常務
営業部門長兼法人営業部長
2006年6月 同 取締役常務執行役員営業部門長
2010年6月 同 代表取締役副頭取
当社取締役
2015年6月 株式会社北海道銀行代表取締役頭取(現任)
当社代表取締役副社長(現任)



取締役
中澤 宏

1986年4月 株式会社北陸銀行入行
2005年4月 同 二の宮支店長
2007年6月 同 琴似支店長
2009年4月 同 浅草支店長
2011年6月 同 福井支店長
2014年6月 同 総合企画部長
2016年6月 同 執行役員本店営業部長
2017年6月 同 取締役執行役員本店営業部長
2018年6月 同 取締役常務執行役員
富山地区事業部本部長
2019年6月 当社取締役(現任)
2020年6月 株式会社北陸銀行取締役常務執行役員
営業推進本部副本部長(現任)



取締役
小林 正彦

1987年4月 株式会社北陸銀行入行
2006年1月 同 旭川支店統括副支店長
2007年6月 同 帯広支店長
2010年6月 同 金沢南中央支店長
2012年6月 同 新宿支店長
2014年6月 同 札幌支店長
2016年6月 同 総合企画部長
2017年6月 同 執行役員総合企画部長
2019年6月 同 取締役常務執行役員(現任)
当社取締役(企画・総務グループ担当)
(現任)
株式会社北海道銀行執行役員(現任)



取締役監査等委員
(社外取締役)
川田 達男

1962年3月 セーレン株式会社
(旧福井精練加工株式会社)入社
1979年10月 同 製品営業部長
1981年8月 同 取締役
1985年8月 同 常務取締役
1987年8月 同 代表取締役社長
2009年6月 株式会社北陸銀行社外監査役
2011年6月 セーレン株式会社代表取締役会長
兼社長兼最高経営責任者
兼最高執行責任者
2013年6月 株式会社北陸銀行社外監査役退任
当社社外監査役
2014年6月 セーレン株式会社代表取締役会長
兼最高経営責任者(現任)
2017年6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)



取締役監査等委員
(社外取締役)
中川 了滋

1964年4月 弁護士登録(第一東京弁護士会)
1986年4月 第一東京弁護士会副会長
1997年4月 第一東京弁護士会会長
兼日本弁護士連合会副会長
2005年1月 最高裁判所判事
2009年12月 弁護士再登録
2010年6月 日本電気株式会社社外監査役
2015年6月 当社社外取締役
2017年6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)

執行役員
小嶋 達也

執行役員
西野 太郎

株式会社北陸銀行

取締役・
監査役

取締役会長 麦野 英順
取締役頭取 庵 栄伸
取締役 石田 弘明
取締役 中澤 宏

取締役 上願 宏幸
取締役 小林 正彦
取締役 加地 賢幸
取締役(社外) 舟本 馨

常勤監査役 沼田 雅博
監査役(社外) 中村 健一
監査役(社外) 永原 功
監査役(社外) 綿貫 勝介

執行役員

会長執行役員 麦野 英順
頭取執行役員 庵 栄伸
専務執行役員 石田 弘明
常務執行役員 中澤 宏
常務執行役員 上願 宏幸
常務執行役員 南 直樹
常務執行役員 小林 正彦

常務執行役員 岩井 典宏
常務執行役員 上田 祐正
常務執行役員 小嶋 達也
執行役員 坂本 嘉和
執行役員 辰島 剛
執行役員 畑山 拓也
執行役員 吉井 治

執行役員 森田 勝也
執行役員 毛呂 聡史
執行役員 浦崎 滋
執行役員 兼間 祐二
執行役員 西野 太郎
執行役員 加地 賢幸



1979年4月 株式会社北陸銀行入行
 2005年6月 同 経営管理部長
 2007年6月 同 本店営業部長
 2009年6月 同 取締役執行役員本店営業部長
 2010年6月 同 取締役常務執行役員
 富山地区事業部本部長
 2013年6月 同 代表取締役会長(現任)
 当社取締役(現任)

取締役
麦野 英順



1987年4月 株式会社北海道銀行入行
 2002年1月 同 花川支店長
 2003年7月 同 経営企画グループ調査役
 グループリーダー
 2005年10月 同 経営企画部長
 2011年7月 同 鳥居前エリア統括兼鳥居前支店長
 2013年4月 同 執行役員オホーツク地区営業担当
 兼北見支店長
 2015年6月 同 執行役員札幌・石狩、空知地区
 営業担当
 2016年6月 同 取締役常務執行役員企画管理部門長(現任)
 2017年6月 当社取締役
 2019年6月 株式会社北陸銀行執行役員(現任)
 当社取締役(企画・総務グループ担当)(現任)

取締役
兼間 祐二



1982年4月 株式会社北海道銀行入行
 2004年4月 同 南一条支店次長
 2005年12月 同 芽室支店長
 2009年4月 同 麻生エリア統括兼麻生支店長
 2011年4月 同 国際部長兼国際部中国室長兼
 国際部ロシア室長
 2012年4月 同 国際部長兼国際部ロシア室長
 2013年10月 同 監査部長
 2017年6月 同 常勤監査役
 2018年6月 株式会社北陸銀行取締役(非常勤)
 当社取締役(リスク管理グループ担当)(現任)
 2019年6月 株式会社北陸銀行取締役執行役員(現任)
 株式会社北海道銀行執行役員(現任)

取締役
加地 賢幸



1987年4月 株式会社北陸銀行入行
 2006年1月 同 総合企画部副部長
 2007年6月 同 金沢支店統括副支店長
 2009年1月 同 富山丸の内支店長
 2010年6月 同 融資第一部副部長
 2012年1月 同 総合企画部副部長(当社出向)
 当社企画グループ長兼総務グループ長
 株式会社北陸銀行総合企画部担当部長
 2013年6月 同 総合企画部部長
 2016年6月 同 総合企画部部長
 2019年6月 当社取締役(監査等委員)(現任)

取締役監査等委員
北川 博邦



1965年4月 株式会社一の眞鍋五郎薬局
 (現株式会社ほくやく)入社
 1991年4月 株式会社/レオ(現株式会社ほくやく)
 代表取締役社長
 1999年4月 株式会社ほくやく代表取締役社長
 2003年6月 同 代表取締役社長執行役員
 株式会社ほくやく・竹山ホールディングス
 代表取締役社長
 2007年6月 同 代表取締役社長執行役員
 2012年6月 株式会社ほくやく代表取締役会長(現任)
 2015年6月 株式会社ほくやく・竹山ホールディングス
 代表取締役社長
 2017年6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)
 2018年6月 株式会社ほくやく・竹山ホールディングス
 代表取締役会長(現任)

取締役監査等委員
 (社外取締役)
眞鍋 雅昭



1979年4月 安田生命保険相互会社入社
 1999年4月 同 山形支社長
 2001年4月 同 経営調査室長
 2004年1月 明治安田生命保険相互会社に改称
 同 リスク管理統括部長
 2006年7月 同 商品部長
 2008年7月 同 執行役 商品部長
 2010年4月 同 常務執行役
 2013年7月 同 取締役会長代表執行役(現任)
 2017年6月 当社社外取締役(監査等委員)(現任)

取締役監査等委員
 (社外取締役)
鈴木 伸弥

■ 会計監査人の名称

有限責任監査法人トーマツ

株式会社ほくやくフィナンシャルグループ、株式会社北陸銀行、株式会社北海道銀行の3社と監査契約を締結しています。

株式会社北海道銀行

取締役・ 監査役	取締役会長	堰八 義博	取締役	小倉 隆巳	監査役(社外)	海老名 健
	取締役頭取	笹原 晶博	取締役	高田 芳政	監査役(社外)	岩村 修二
	取締役副頭取	大木 孝志	取締役	南 直樹	監査役(社外)	千葉 智
	取締役	兼間 祐二	常勤監査役	坂井 章		
執行役員	頭取執行役員	笹原 晶博	常務執行役員	高田 芳政	執行役員	鏡水 悦郎
	副頭取執行役員	大木 孝志	執行役員	森山 正徳	執行役員	西野 太郎
	専務執行役員	清河 智英	執行役員	鈴木 誠	執行役員	平川 昌之
	常務執行役員	兼間 祐二	執行役員	広部 公聡	執行役員	小林 正彦
	常務執行役員	小倉 隆巳	執行役員	疋田 一晶	執行役員	小嶋 達也
	常務執行役員	齊藤 勝	執行役員	大西 幸哉	執行役員	加地 賢幸
常務執行役員	佐々木 剛	執行役員	会田 朋生			

基本的考え方

当社およびグループ各社ではコーポレート・ガバナンスの強化、充実を経営の重要課題の一つと位置づけております。経営戦略の策定や経営の意思決定をはじめ、あらゆる活動の基本方針として「経営理念」を定めるとともに、「ほくほくフィナンシャルグループの行動規範」により、基本的な価値観や倫理観を共有し、企業価値の向上、北海道・北陸地域の発展等に向けて健全経営の実現に努めております。

■ コーポレート・ガバナンスの状況

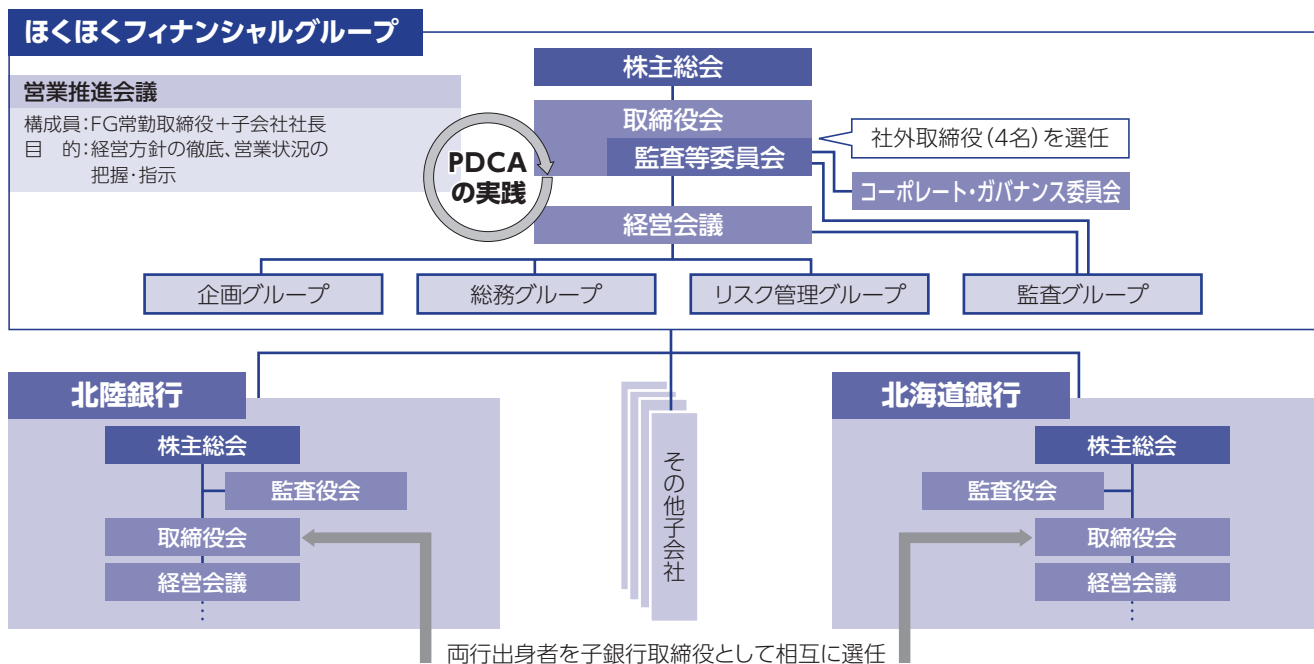
当社では、意思決定機関である株主総会・取締役会を頂点として、社内規定により運用権限の委譲を行うことで迅速に意思決定する体制を構築しております。取締役会が決定した基本方針に基づく細目ないし専門的事項にかかる案件は、経営会議をはじめとする機関において迅速に対応しております。また、経営会議とは別にグループ会社間で営業方針の徹底を図る「営業推進会議」を設置しております。

当社は、監査等委員会設置会社の形態をとるとともに、社外取締役を選任いたしております。また、グループのガバナンス体制を強化し持株会社としての経営管理を適切に行うために、当社の主要な子会社である北陸銀行と北海道銀行の間では両行の出身者を相互に取締役に選任し、相互理解と相互牽制を図っております。

以上により、意思決定、業務執行、評価・修正を循環的に行う体制を構築しているほか、取締役会にて内部統制の基本方針を決定し、内部統制体制の整備を図っております。

■ 主要な機関等の概要

- ① **取締役会**：グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。
4名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。
- ② **監査等委員会**：監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等についての意見の決定等を行います。
- ③ **コーポレート・ガバナンス委員会**：社外取締役および常勤監査等委員で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外取締役間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。
- ④ **経営会議**：当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。
- ⑤ **営業推進会議**：当社常勤取締役と子会社社長を構成員として、グループ全体で重要事項・経営方針の浸透を図るほか、各社の営業状況を確認することで適切な業務執行に反映させる機能を担っております。



■ 社外役員の選任理由

社外取締役候補者の選定にあたっては、職務の執行に必要な知見、経験や能力等を有し、かつ、会社法に定める社外取締役の要件を満たしていることに加え、経営の監督機能を発揮するため、当社からの独立性の確保を重視しております。

氏名	役職	選任の理由
川田 達男	セーレン株式会社 代表取締役会長 兼最高経営責任者	企業経営者として経営、地域経済に精通し、当社の経営全般に対する監督機能の強化が期待できることから社外取締役に選任しております。 また、有価証券上場規程等が定める独立性基準に抵触せず、当社で定める「独立性判断基準」を満たしており、一般株主と利益相反が生じるおそれがなく、中立性は十分確保されるものと判断し、独立役員に指定しました。
中川 了滋	弁護士	弁護士や最高裁判所判事としての豊富な経験と法律に関する高い見識により、当社の経営全般に対する監督機能の強化が期待できることから社外取締役に選任しております。 また、有価証券上場規程等が定める独立性基準に抵触せず、当社で定める「独立性判断基準」を満たしており、一般株主と利益相反が生じるおそれがなく、中立性は十分確保されるものと判断し、独立役員に指定しました。
眞鍋 雅昭	株式会社ほくやく・ 竹山ホールディングス 代表取締役会長	企業経営者として経営、地域経済に精通し、当社の経営全般に対する監督機能の強化が期待できることから社外取締役に選任しております。 また、有価証券上場規程等が定める独立性基準に抵触せず、当社で定める「独立性判断基準」を満たしており、一般株主と利益相反が生じるおそれがなく、中立性は十分確保されるものと判断し、独立役員に指定しました。
鈴木 伸弥	明治安田生命保険相互会社 取締役会長代表執行役	金融機関(生保)経営の豊富な経験を有しており、当社の経営全般に対する監督機能の強化が期待できることから社外取締役に選任しております。 また、有価証券上場規程等が定める独立性基準に抵触せず、当社で定める「独立性判断基準」を満たしており、一般株主と利益相反が生じるおそれがなく、中立性は十分確保されるものと判断し、独立役員に指定しました。

■ 取締役会実効性評価

当社取締役会は、取締役会全体の実効性をはじめとするコーポレートガバナンス態勢全体について、コーポレートガバナンス・ガイドラインの趣旨に照らして分析・評価を毎年行い、結果の概要を開示するとともに、必要な改善を図ることとしております。

2018年度 取締役会の実効性に関する分析・評価結果の概要

取締役会ならびに取締役会の下に設置された社外取締役を主要メンバーとするコーポレート・ガバナンス委員会の構成・運営は適切であり、取締役会の実効性は確保できていると評価しております。なお、評価の議論の中で、重要度のある議題については社外取締役により充実した情報提供を行うべきとの意見や、中期経営計画のモニタリングを充実すべきとの意見が共有され、今後、必要な対応を図っていくこととしております。

2019年度の取り組み

中期経営計画のモニタリング資料を含め社外取締役に対し提供する情報の改善を図り、より充実した議論ができる態勢を整備したほか、重要な経営課題や外部環境変化を取締役会において共有するための報告等を実施いたしました。

2019年度 取締役会の実効性に関する分析・評価プロセスの概要

すべての取締役に対して記名方式の自己評価アンケートを実施し、アンケート結果に基づくコーポレート・ガバナンス委員会からの助言を得たうえで、5月の取締役会にて実効性に関する評価を行いました。

【自己評価アンケート項目(大項目)】

- ①取締役会の構成 ②取締役会の運営 ③コーポレート・ガバナンス委員会の運営
④取締役の役割・責務、社外取締役の支援態勢等 ⑤株主・投資家との関係
⑥コーポレート・ガバナンスの態勢、取締役会の実効性全般 ⑦前年度からの改善状況

2019年度 取締役会の実効性に関する分析・評価結果の概要

取締役会ならびに取締役会の下に設置された社外取締役を主要メンバーとするコーポレート・ガバナンス委員会の構成・運営は適切であり、取締役会の実効性は確保できていると評価しております。なお、評価の議論の中で、企業価値向上に資するように議論を更に活発化させるため、資料のさらなる改善、社外取締役へ提供する情報のさらなる充実に努めるべきとの意見が共有され、今後、必要な対応を図っていくこととしております。

■ 役員トレーニング

当社取締役会は、取締役が重要な統治機関の一翼を担う者として期待される役割・責務を適切に果たすため、その役割・責務に係る理解を深め、必要な知識の習得や適切な更新等の研鑽に努めることを奨励・監督しております。

(2019年度主な取り組み)

社外取締役に対してCG委員会にて金融庁金融行政方針にかかる情報共有を実施

■ 役員報酬

当社は、取締役会でコーポレートガバナンス・ガイドラインを定めており、その中で、役員の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針、当該方針の決定方法、手続等について、次のように定めております。

- i 当社は、役員の報酬が、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けたインセンティブとして機能するように、その水準・構成を設定する。
- ii 監査等委員であるものを除く取締役の報酬等は、以下の内容の基本報酬と株式報酬で構成し、それぞれ株主総会において決議された年間報酬限度額の範囲内において、別途定める役員報酬規定及び株式報酬型ストックオプション規定にもとづき算定された額の適切性、妥当性に関し、コーポレート・ガバナンス委員会からの助言を受け、客観性と透明性を確保のうえ、取締役会で決定する。
 - (a) 基本報酬
基本報酬は、役位別に定める固定額の報酬とする。
 - (b) 株式報酬
株式報酬は、役位別に定める額に相当する、株式報酬型ストックオプションとする。
- iii 監査等委員の報酬等は、中立・独立した立場から業務執行の監督・監査を行う役割を踏まえ、基本報酬のみで構成し、株主総会において決議された年間報酬限度額の範囲内において、別途定める役員報酬規定にもとづき、監査等委員の協議により決定する。

株主総会における取締役の報酬等に関する決議内容は、次のとおりであります。

- i 決議は、2017年6月27日開催の定時株主総会で行われております。
- ii 取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬額は、賞与を含めた報酬として年額250百万円以内とする（使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない）。
- iii 監査等委員である取締役の報酬額は、年額80百万円以内とする。
- iv 取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬限度額とは別枠で、取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く）に対する株式報酬型ストック・オプションとして、新株予約権を年額45百万円を上限とする（使用人兼務取締役の使用人分の報酬を含まない）。

■ 当社の「内部統制の基本方針」は以下のとおりです。

(1) 当社及びグループ会社の役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- ・取締役会は、法令または定款に定める事項のほか、経営の基本方針並びに業務執行に関する重要事項を決定し、組織・体制を整備するとともに、取締役の職務の執行を監督する。
- ・取締役会は、取締役候補の選定にあたっては、当社グループから独立した立場にある社外取締役を複数選定し、相互牽制機能の向上を図る。
- ・取締役会は、コーポレート・ガバナンス委員会を設置し、社外取締役が連携して当社の重要事項への適切な助言・関与等が行える体制を整備する。
- ・取締役会は、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、「コンプライアンスの基本方針」及び「コンプライアンス規定」を策定する。また、統括部署を設置し、当社及びグループ会社のコンプライアンス体制の維持・強化を図る。
- ・取締役会は、年度毎に実践計画として「コンプライアンスプログラム」を策定し、誠実かつ公正な企業活動、反社会的勢力との関係遮断、マネー・ロンダリング防止等を徹底する。
- ・取締役会は、当社及びグループ会社の役職員が法令違反行為、不正行為等を発見した場合は、予め設置された通報・相談窓口へ報告する体制を整備する。
- ・取締役会は、年度毎に「監査の基本方針」を策定し、これに基づき内部監査部門に、当社及びグループ会社の法令等遵守態勢の監査を行わせ、その結果を、取締役会及び監査等委員会等に報告させる。

(2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

- ・取締役会は、取締役会規定及び文書管理規定等により、取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理を行う体制を整備する。取締役は、これらの文書等を常時閲覧することができるものとする。

(3) 当社及びグループ会社の損失の危険の管理に関する規定その他の体制

- ・取締役会は、当社及びグループ各社を取り巻く様々なリスクの存在とそのコントロールの重要性を認識し、「リスク管理の基本方針」及び「リスク管理基本規定」を策定する。また、統括部署を設置し、グループ会社経営に付随する各種リスクを正しく認識・把握し、かつ適切な管理・運用を行うことによってグループ経営の健全性を確保する体制を整備する。
- ・取締役会は、災害等の不測の事態や危機に備えて、「コンティンジェンシープラン」等を策定し、危機管理体制を確立する。
- ・グループ各社は、当該基本方針に則り、各社のリスク管理部署の緊密な連携により、適切なリスク管理を実施する。
- ・取締役会は、年度毎に「監査の基本方針」を策定し、これに基づき内部監査部門に、当社及びグループ会社のリスク管理態勢の監査を行わせ、その結果を、取締役会及び監査等委員会等に報告させる。

(4) 当社及びグループ会社の取締役等の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- ・取締役会は、当社グループの目指す姿と業績目標を明確にするため、経営計画を策定する。
- ・取締役会は、基本職務及び業務機構・分掌事項の大綱などの組織に関する基準を定め、当社及びグループ各社の業務執行が組織的かつ効率的に行われる体制を整備する。
- ・経営会議は、取締役会から業務の執行について委任を受け、定められた職務分掌に基づき、迅速かつ効率的に業務を執行する。

(5) 財務報告の適正性を確保するための体制

- ・取締役会は、財務報告に係る内部統制評価に関する基本方針を定め、財務報告の適正性を確保し、財務状態および経営成績について真実かつ明瞭な報告を行うための体制を整備する。

(6) 当社及びグループ会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

- ・取締役会は、グループ経営管理規定を定め、グループ各社が重要事項について当社へ付議・報告する体制を整備し、内部監査部門から法令等遵守・リスク管理の状況及び業務の適切性・有効性についての監査結果の報告を受け、グループ全体の経営管理を行う。
- ・取締役会は、グループ内取引等に関する管理体制の明確化及びグループ全体としての健全経営の堅持を目的に「グループ内取引に関する規定」を定め、同規則に基づいた運営及び管理を行う。

(7) 監査等委員会の職務を補助すべき使用人に関する事項

- ・取締役会は、監査等委員会の監査業務の遂行を補助するために、独立性や実効性等に配慮し監査等委員が直接指揮命令できる専任の使用人を配置する。
- ・取締役会は、当該使用人の人事異動・懲戒等については、予め監査等委員会の同意を得ることとする。

(8) 当社及びグループ会社の役職員が監査等委員会に報告するための体制その他監査等委員会への報告に関する体制

- ・当社及びグループ会社の役職員は、当社及びグループ会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実を発見した場合は、当該事実を直接あるいは間接的に監査等委員会に報告する。
- ・取締役会は、規定に基づく当社内の報告又はグループ会社から当社に対する報告について、選定監査等委員へ報告される体制を整備する。
- ・監査等委員会または選定監査等委員は、必要に応じて当社及びグループ会社の役職員に対し報告を求めることができる。
- ・取締役会は、当社及びグループ会社の役職員が監査等委員会に報告・相談又は調査に協力したことを理由として、不利益な取扱いを受けることがないように体制を整備する。

(9) その他監査等委員会の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- ・取締役会は、監査等委員会による監査の重要性及び有用性を十分認識し、監査等委員会が実効性ある監査職務を円滑に遂行するための体制整備を求めた場合は十分に協議し対応する。
- ・選定監査等委員は、経営会議等の重要な会議へ出席することができる。また、監査等委員会または選定監査等委員は代表取締役及び外部監査人と定期的に会合を行うほか、内部監査部門、その他内部統制機能を所管する部署と緊密な協力・連携関係を保ち、定期的かつ随時に報告を受け、必要に応じて説明を求めることができる。
- ・監査等委員は、監査等委員会の職務の執行上必要と認める費用については、会社に請求することができる。

■ 内部監査態勢

基本的考え方

当社グループは、業務の規模・特性、業務に適用される法令等の内容およびリスクの種類に応じた実効性のある内部監査態勢を整備することが、当社グループの適切な法令等遵守、顧客保護等およびリスク管理に必要な不可欠であるとの認識に基づき、当社および北陸銀行・北海道銀行に内部監査部門を設置しております。

各社内部監査部門は、他の部門からの独立性を確保し、牽制機能が働く態勢を整備しております。

■ 当社グループにおける取り組み

当社には、グループ内会社の内部管理態勢の適切性・有効性を検証し、グループ内会社の内部監査機能を統括する監査グループを設置しています。監査グループは、取締役会で定める内部監査の基本方針および監査規定に基づき当社および子会社（銀行以外）・関連会社の内部監査を実施するとともに、北陸銀行・北海道銀行からの内部監査の結果や問題点の改善状況等の報告を受け、また、必要に応じて銀行に対する実地での検証、指示ならびに報告を求めることで、グループ内会社における内部監査の実施状況を一元的に把握・管理しております。

グループ内会社の内部監査の結果については、定期的にかつ必要に応じて速やかに、取締役会へ報告しております。特に、グループの経営に重大な影響を与える事案については、取締役会へ速やかに報告する態勢を整備しております。

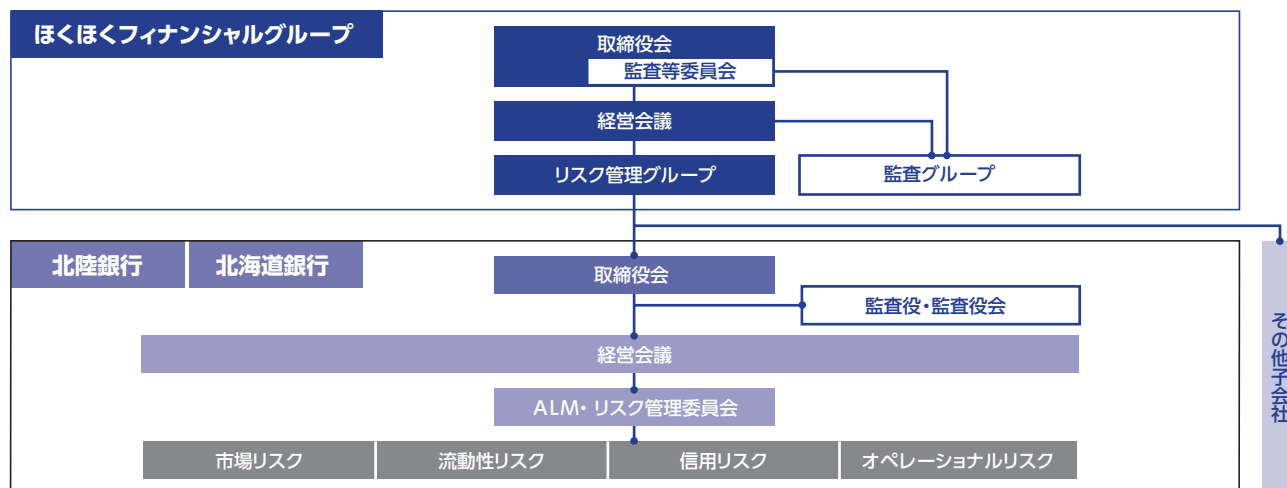
北陸銀行・北海道銀行においても、各行の監査部が内部監査方針・内部監査規定に基づき、本部・営業店・子会社等の業務監査および資産監査を実施しております。監査の実施にあたっては、監査対象部門の法令等遵守、顧客保護等およびリスク管理の状況を把握したうえ、頻度および深度等に配慮した効率的かつ実効性のある内部監査計画を策定しております。

また、必要に応じ、両行監査部および当社監査グループが合同で監査を行い、監査におけるグループ全体の機能強化ならびに効率化を図っております。

■ 統合的リスク管理体制

当社グループでは、お客さまの預金保護や株主・債権者の信頼を確保するため、リスクの総量を経営体力の範囲内に制御しながら、収益目標とバランスの取れたリスクテイク・経営資源配賦を図るため、各種リスク管理の基本方針を定め、統合リスク管理体制の整備に努めております。

また、各種リスク管理の統括および管理を行う統合リスク管理部門を設置するとともに、独立した監査部門が内部監査を実施し、リスク管理体制の適切性・有効性を検証する体制としております。



■ リスク資本配賦

当社グループは、業務に対して発生するさまざまなリスクを可能な限り統一的に計量化し、総リスク量が経営体力の範囲内に収まるよう管理しております。

子銀行では、信用リスク、市場リスク、オペレーショナルリスクについて、リスクの計量化等により想定される最大損失額を見積ったうえで、資本を有効に活用するため、コア資本を配賦原資としたリスク資本配賦を行い、経営として許容できる範囲内にリスクを制御・管理しております。

当社では、子銀行の配賦案とともに、配賦しない余裕額が、子銀行以外の子会社で想定されるリスクや想定外のリスク等に対する備えとなっているかを検証し、リスク量実績のモニタリングと合わせ、グループ全体で自己資本と比較して過大なリスクをとらないよう管理しております。

また通常では考えられない景気悪化や相場変動等、一定のシナリオのもとで損失がどの程度想定されるか、ストレステストを実施することで、捉えきれないリスクに対する自己資本の充実度を定期的に検証しております。

■ 信用リスク管理

基本的考え方

信用リスクとは、お取引先の経営状態の悪化などにより貸出金等の元本・利息が回収できなくなるリスクを指します。これは、金融の仲介を使命とする銀行にとって、避けて通ることのできないリスクですが、当社グループでは資産の健全性の維持・向上を図るため、信用リスク管理体制の整備・強化に努めております。

信用リスク管理体制

資産の健全性を維持向上させるため、当社グループでは行内格付制度、自己査定制度により、信用リスクの適時かつ適切な把握に努め、適正な償却・引当を実施しております。

個別の与信判断にあたっては、規範・方針等を明示した「貸出金取扱規定(クレジットポリシー)」に従い、厳正な審査を行っております。

行内格付制度

貸出金等の信用リスクを客観的に把握するため、子銀行では行内格付制度を導入し、お取引先の信用力を財務データや定性情報等に基づき15段階に細分化し、継続的に格付の推移を把握しております。

また、「グループ与信限度ライン管理規定」に基づき、大口与信先への与信集中状況のモニタリングを行い、過度な与信集中リスクが発生しないよう管理しております。

自己査定基準

自己査定は、自己査定基準に基づき子銀行において資産査定部門が厳格に実施するとともに、その妥当性についてはリスク管理部門および独立的な立場から内部管理部門において検証を行っております。

企業再生

融資実行後は、お取引先の業況把握、事業計画のフォローを通じて不良債権の発生防止に努めるとともに、不良債権を専門的に管理する体制の構築と、企業再生支援機能の強化を通じた資産の健全化に努めております。

■ 市場リスク管理

基本的考え方

市場リスクとは、金利、株価および為替等のさまざまな市場のリスク要因の変動により、保有する資産・負債の価値や生み出される収益が変動し、損失を被るリスクを指します。

当社グループでは、市場リスクを伴う取引を主に扱う子銀行において、「市場リスク管理規定」等を定め、資産および負債の総合的管理(ALM)を行い、市場リスクを適切にコントロールして、安定的な収益を確保できる運営に努めております。

■ 流動性リスク管理

流動性リスクには、信用の低下等により、資金繰りがつかなくなったり、通常より著しく高い金利での資金調達を余儀なくされて損失を被る資金繰りリスクと、市場の混乱等により取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされて損失を被る市場流動性リスクがあります。

流動性リスクの大宗を占める子銀行では、「流動性リスク管理規定」を制定し、国債など資金化の容易な支払準備資産を十分確保するとともに、管理指標を各種設定し日々モニタリングしております。また万一危機が発生した場合は、危機の段階に応じた対応が取れるよう、流動性リスクの状況をALM・リスク管理委員会等で定期的に報告・協議しております。

当社では子銀行の運用・調達状況を的確に把握し、円滑な資金繰りに万全を期しております。

■ オペレーショナルリスク管理

基本的考え方

オペレーショナルリスクとは、業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的な事象によって損失を被るリスクを指します。

当社グループでは、「オペレーショナルリスク管理規定」を定め、オペレーショナルリスクを、①事務リスク、②システムリスク、③法務リスク、④人的リスク、⑤有形資産リスク、⑥風評リスク、⑦その他のリスクの7区分に細分化し、これら各種のリスクの状況を、子銀行では毎月開催する「オペレーショナルリスク専門委員会」でモニタリングするとともに、リスクアセスメント等による潜在リスクの把握、未然防止策の評価を通じた、PDCA体制の確立に努めております。

主なカテゴリーごとのリスク管理体制

事務リスク管理

当社グループでは、事務ミス等の発生原因の分析を通じ、再発防止策を検討するとともに、事務の堅確化と相互牽制の観点から、事務処理の本部集中化・効率化を進め、事務リスク削減へ向けた取り組みに努めております。

システムリスク管理

当社グループでは、「システムリスク管理規定」「情報資産の安全性確保に関する基本指針(セキュリティ・ポリシー)」を制定し、厳正な管理・運営体制を敷くとともに、バックアップ体制等各種安全措置の実施や、近年増加傾向にあるサイバー攻撃への迅速な対応を目的としたセキュリティ管理体制の強化に取り組んでおります。

■ 危機管理

当社グループでは、大規模災害等の緊急事態が発生した場合でも、その影響を最小限に抑えるため、「危機管理マニュアル」(コンティンジェンシープラン等)を策定し、情報収集や指揮・命令の一元化等、体制を整備しております。

特に子銀行では、地震や新型インフルエンザ等が発生しても、金融機関に求められる決済機能等の業務が継続できるように、「業務継続計画(BCP)」等を定め、万全の対応ができる体制を整備しております。

基本方針

ほくほくフィナンシャルグループは、コンプライアンスを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、コンプライアンスの不徹底が経営基盤を揺るがすことを強く認識し、取締役会で基本方針を定め、誠実かつ公正な企業活動を遂行するように努めております。

■ コンプライアンスの基本方針

1. 基本的使命・社会的責任の認識

地域金融機関としての公共的使命と社会的責任を認識し、健全な業務運営により内外の信頼確立に努めます。

2. 質の高い金融サービスの提供

質の高い総合金融サービスの提供により、地域経済・社会の安定的発展やお客さまの生活の充実・向上に貢献します。

3. 法令やルールへの厳格な遵守

法令やルールを厳格に遵守し、企業倫理・社会通念に逸脱することのないよう公正かつ堅実に行動します。

4. 反社会的勢力の排除

社会の秩序や安全を脅かす反社会的勢力を許さず、毅然とした対応で臨むことで健全な地域社会づくりに寄与します。

5. 経営の透明性確保

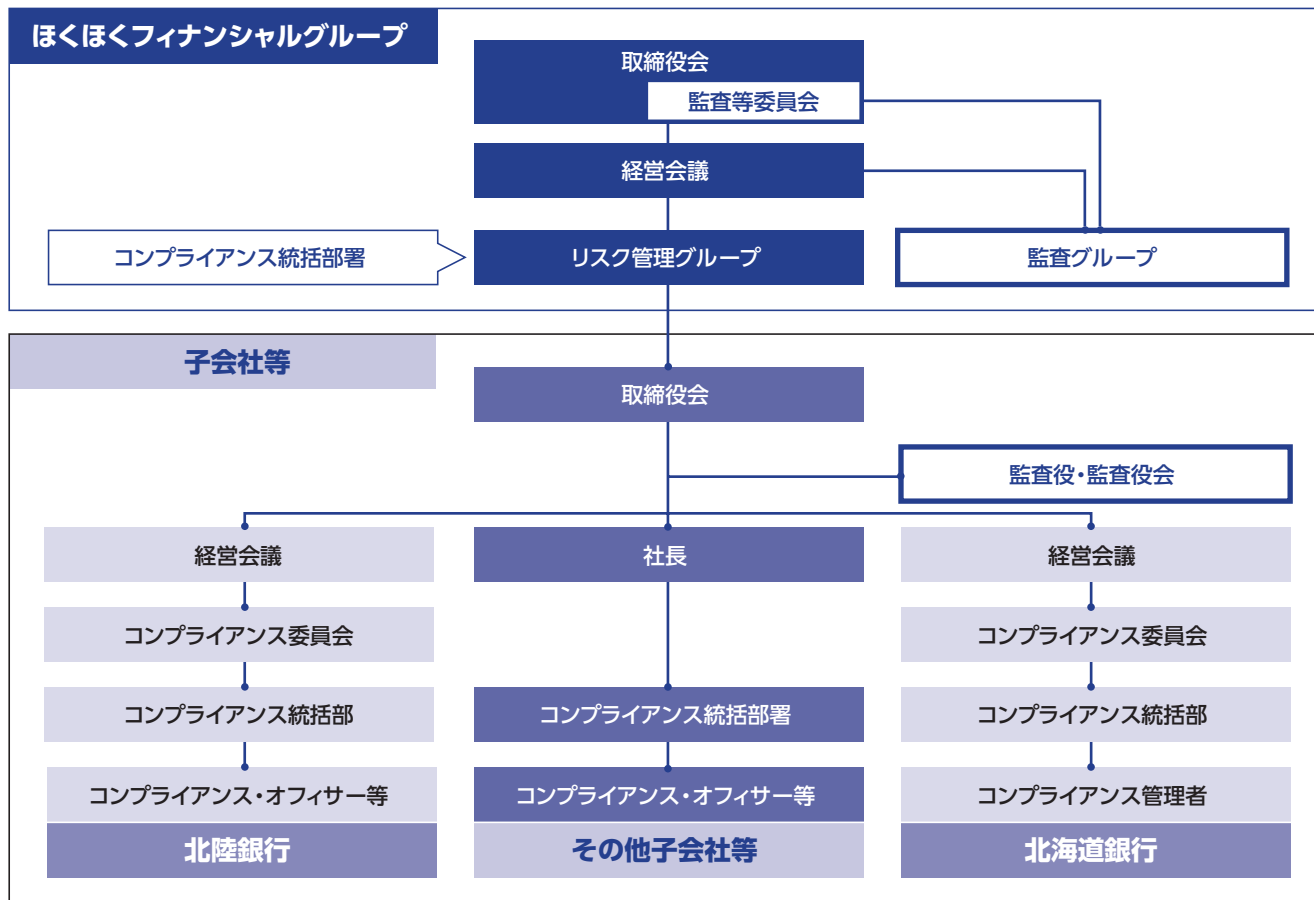
的確で円滑な情報開示と意思決定に努め、透明性の高い経営・組織風土を目指します。

■ 体制

当社グループでは、コンプライアンス体制を確立するため、「コンプライアンス規定」を定め組織体制を整備するとともに、当社とグループ各社が連携して対応しております。

当社においては、リスク管理グループをグループ内のコンプライアンス統括部署とし、リスク管理グループ長をコンプライアンス統括管理者としております。

子銀行の各店およびグループ各社には、コンプライアンス・オフィサー等を配置し、コンプライアンスに関する職場内の教育・啓蒙等の諸施策を積極的に実施しております。また子銀行では、コンプライアンス統括部署およびコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンス態勢の状況把握・改善を図っております。



■ コンプライアンス・マニュアルおよびコンプライアンス・プログラム

コンプライアンスを徹底するため、役職員が遵守すべき基本的な事項をまとめた「コンプライアンス・マニュアル(行動規範)」を制定のうえ、全役職員に配付し、研修や店内勉強会等で内容の周知徹底を図っております。

また取締役会では、体制整備のための具体的な実践計画である「コンプライアンス・プログラム」を毎年決定し、定期的にプログラム実施状況の報告を受け、コンプライアンスの確実な実践に努めております。

■ 顧客保護および顧客の利便性向上への取り組み

当社グループは、お客さまの資産、情報およびその他の利益を保護するため、「顧客保護等管理基本規程」の中で「顧客保護等管理方針」を定めております。

さらに、お客さまに対して金融商品取引法等を遵守した適切な説明等を実施し、お客さま相談室等を窓口としてお客さまからの相談や苦情等に適切に対応するために、5つの観点からそれぞれ規定等を制定し、適切に対応する体制を整備しております。

またグループ各社のコンプライアンス統括部署が、顧客保護等管理の統括部署となり、それぞれの管理主担部署と連携して、管理体制が十分機能するよう継続的に見直しを図り、問題の解決やデータの分析を通して、各種改善策を策定・実施できる体制としております。

■ 個人情報保護への取り組み

金融業務にとって情報資産の安全性確保は、お客さまの信頼を得るためには欠かせない重要な事項であり、お客さまからお預かりした情報につきましては、厳格な保護・利用を行い、情報の漏洩等を防いでおります。

特に個人情報については、個人情報保護法等を遵守するため、「個人情報保護宣言」等を定め、当社ホームページに掲載・公表しており、地域社会へ貢献できる金融機関として、お客さまから最大限の信頼を得ることができるよう努力してまいります。

顧客保護等管理基本規程

顧客説明
顧客サポート等
顧客情報保護
外部委託
利益相反

顧客保護等管理方針

お客さまとの取引に際しましては、法令等に従って金融商品の説明および情報提供を適切かつ十分に行います。
お客さまからの相談または苦情等につきましては、適切かつ十分に取り扱いいます。
お客さまに関する情報につきましては、法令等に従って適切に取得し、安全に管理いたします。
お客さまとの取引に関連して、私たちの業務を外部委託することにつきましては、お客さまの情報その他お客さまの利益を守るため、適切に外部委託先を管理いたします。
お客さまとの取引に関連して、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反のおそれのある取引を適切に管理いたします。

■ 反社会的勢力への対応

当社グループでは、市民社会からの信頼性、金融機関の業務の適切性および健全性を維持するため、「反社会的勢力への対応に係る基本方針」を定めております。

またグループ各社には、マルボー対応統括管理者等を配置しており、警察等と連携を図りながら毅然とした対応をとり、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係を遮断いたします。

■ 内部通報制度

当社グループで不正行為等の早期発見・是正を図るため、内部通報を受け付ける窓口を設置し、牽制も含めてコンプライアンス体制強化が図れる体制を整備しております。

■ マネー・ローダリング等防止・金融犯罪への対応

近年はキャッシュカードの盗難・搾取や振り込み詐欺等が増加しており、子銀行では、被害の未然防止、セキュリティ強化等を実施するとともに、振り込み詐欺被害者救済法に基づく払い戻しを進める等、被害者の方へも適切に対応しております。

当社グループでは、マネー・ローダリング等の犯罪防止対策を重要な経営課題と位置づけており、マネー・ローダリング等防止ポリシーにもとづき、社内の役割分担を明確にし、取引時確認、疑わしい取引の届出、コルレス先の管理等について、適切な措置を適時に実施できる管理態勢を構築しております。また、役職員には研修等による啓蒙を図るとともに、マネー・ローダリング等防止策の遵守状況については監査を実施する等の態勢改善に努めております。

■ 金融ADR制度への取り組み

お客さまからのご意見・苦情等につきまして、迅速かつ適切な対応を行うべく、指定紛争解決機関と契約を締結しております。指定紛争解決機関は、中立・公正な立場で、解決のための取り組みを行います。

指定紛争解決機関：一般社団法人全国銀行協会(銀行) 全国銀行協会相談室 電話番号：0570-017-109 または 03-5252-3772	指定紛争解決機関：特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター(証券) 電話番号：0120-64-5005
--	--

お客さま本位の業務運営に向けた取り組み

『フィデューシャリー・デューティー』への取り組み

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行、北海道銀行、ほくほくTT証券は、「地域共栄」という経営理念のもと、地域社会・お客さまとともに発展していくために、お客さまの資産運用・資産形成にかかわる業務について、『フィデューシャリー・デューティー』への取り組みに関する基本方針のもと、「お客さま本位」の業務運営を行っております。

■ 『フィデューシャリー・デューティー』への取り組みに関する基本方針

1. お客さま本位の徹底

・「地域共栄」という経営理念のもと、お客さま本位の業務運営に努め、金融サービスの提供を通じて、地域経済の安定的発展やお客さまの生活向上に貢献してまいります。

2. お客さまの幅広いニーズにお応えできる商品ラインナップの充実

・お客さまの様々な投資におけるリスクの許容度や、投資の目的・ニーズにお応えできるよう、投資信託や保険商品を含めた商品ラインナップの充実に努めるとともに、お客さまの状況に応じた運用の提案により、資産形成をサポートしてまいります。
・商品選定時には、グループ会社の商品に捉われることなく商品を選定してまいります。

3. お客さまへの情報提供の充実

・お客さまの投資目的・ニーズに沿った商品を提示し、商品の特性、リスク、手数料などについて、お客さまのご理解の状況を確認しながら、分かり易い説明を行ってまいります。
・手数料等に関して、お客さまにとって分かり易く説明してまいります。
・お客さまの運用状況や市場動向など、お客さまの投資判断のお役に立つ情報の提供に努めます。
・お客さまの資産運用・資産形成に関わる業務を行っている、「北陸銀行」、「北海道銀行」に加え、証券会社である「ほくほくTT証券」の商品・サービスを活用することなどで、お客さまのニーズにお応えできるよう、利益相反にも留意しつつグループ全体で取り組みます。

4. お客さま本位の提案・販売を行うための組織体制の維持・向上

・商品・サービスについて、お客さま本位の業務運営の実現に向け、職員に対する教育・研修を充実させ、人材を育成してまいります。
・インターネットなど、店頭以外のチャネルからお客さまが便利にサービスを利用できるよう、改善・投資を行ってまいります。
・お客さまのリスク許容度やニーズを踏まえた提案につながるように、業績評価のあり方の見直しと改善を行ってまいります。
・本基本方針が遵守されているか確認するガバナンス体制を構築してまいります。

■ 2019年度取り組み方針

1. お客さま本位の徹底

北陸銀行 北海道銀行 ほくほくTT証券	・役職員は『フィデューシャリー・デューティー』への取り組みに関する基本方針に基づく考動を行ってまいります。
2. お客さまの幅広いニーズにお応えできる商品ラインナップの充実	
北陸銀行 北海道銀行 ほくほくTT証券	・お客さまの資金性格、投資目的、資力やリスク許容度等に応じ、お客さまに商品選択をしていただけるよう、商品ラインナップを見直してまいります。
北陸銀行 北海道銀行	・中長期的な資産形成・運用に資する商品のラインナップを充実させてまいります。 ・リスクを抑えた運用を希望されるお客さまのニーズに対応するため、低リスク商品のラインナップを整備してまいります。 ・少額から資産形成を始めるお客さまがご利用しやすいよう、積立て商品のラインナップを充実させてまいります。 ・商品選択時には、グループ会社の商品に捉われることなく商品を選定し、特にグループ会社の商品を選択する際は、「グループ内取引に関する規定」の手続きに従い利益相反に留意しつつ選定してまいります。
ほくほくTT証券	・商品ラインナップには、株式等の市場環境に大きく影響を受けるリスク・リターンの高い商品だけでなく、投資経験の少ないお客さま、高齢のお客さまなどの幅広いニーズにお応えできるようラインナップを整備してまいります。 ・商品選定時には、外部評価機関の評価も参考にしながら、お客さまにご満足いただける商品を選定してまいります。 ・グループ会社に当社の商品を提供する際は、「グループ内取引に関する規定」の手続きに従い利益相反に留意しつつ提供してまいります。

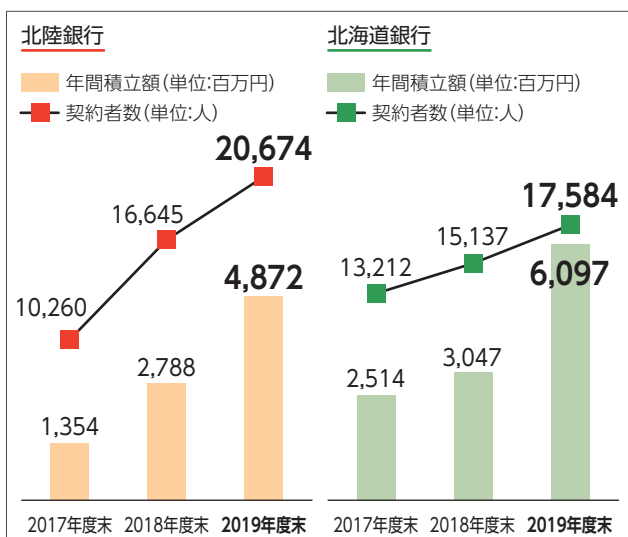
3. お客さまへの情報提供の充実	
北陸銀行 北海道銀行 ほくほくTT証券	<ul style="list-style-type: none"> 商品の説明に際しては、お客さまの理解度を確認しながら説明するよう努めてまいります。 お客さまの投資判断に資するため、商品ごとの手数料等について、お客さまにご理解いただけるように説明してまいります。 お客さまの運用状況や市場環境などを踏まえた情報提供に努めてまいります。
北陸銀行 北海道銀行	<ul style="list-style-type: none"> 商品の提案・販売に際しては、お客さまの投資に関する知識や経験、財産の状況やお客さまが受け入れ可能なリスク、投資の目的などを把握した上で、お客さまに商品およびサービスを提案してまいります。特にご高齢のお客さまや投資に関する知識や経験が十分でないお客さまに対しては、リスクを抑えた商品を案内するなど、お客さまのニーズに沿った提案を行ってまいります。 パンフレットなどを活用した情報提供や、お客さま向けセミナーの開催などにより、お客さまの投資判断に資する情報提供を行ってまいります。 お客さまのニーズにお応えるため、ほくほくTT証券などグループ会社の機能も活用し、グループ総合力を活かしたコンサルティングに取り組んでまいります。
ほくほくTT証券	<ul style="list-style-type: none"> 商品の提案・販売に際しては、お客さまの資産状況、取引経験、知識および取引目的・意向等の観点からニーズをお伺いした上で、お客さまに商品およびサービスの提案を行ってまいります。 複雑またはリスクの高い商品については、社内販売資格保有者のみが勧誘できる体制を構築し、お客さまに説明を行ってまいります。 パンフレットなどを活用したお客さまへの案内や、お客さま向けセミナーの開催などによる情報提供を行い、お客さまへ投資知識の習得機会を提供いたします。
4. お客さま本位の提案・販売を行うための組織体制の維持・向上	
北陸銀行 北海道銀行	<ul style="list-style-type: none"> 行内外の研修やFP(ファイナンシャル・プランナー)等外部資格の取得推奨や行内資格制度の拡充を通じ、商品や投資環境に関する知識・スキルの強化を図り、人材の育成に努めてまいります。 タブレット端末の活用やインターネットによる照会サービス等により、お客さまの利便性向上に努めてまいります。 お客さまに適切な提案がなされ、お客さまの利益・ニーズに資する営業活動の実践につながるよう、業績評価体系の見直しを行ってまいります。
ほくほくTT証券	<ul style="list-style-type: none"> 研修や外部専門資格の取得推奨等を通じ、商品や投資環境に関する知識やスキルの強化を図り、お客さまのニーズに応えられるプロフェッショナルな人材を育成してまいります。 当社では、インターネット取引や対面取引が利用できます。お客さまのご意向に応じた取引形態を用意しており、幅広い年齢層のお客さまにご利用いただきやすい環境を整備してまいります。 お客さまに適切な提案がなされ、お客さまの利益・ニーズに資する営業活動の実践につながるよう、顧客基盤の拡大や、預かり資産残高等の継続的な拡大を評価する業績評価体系を導入してまいります。

■ 2019年度KPI

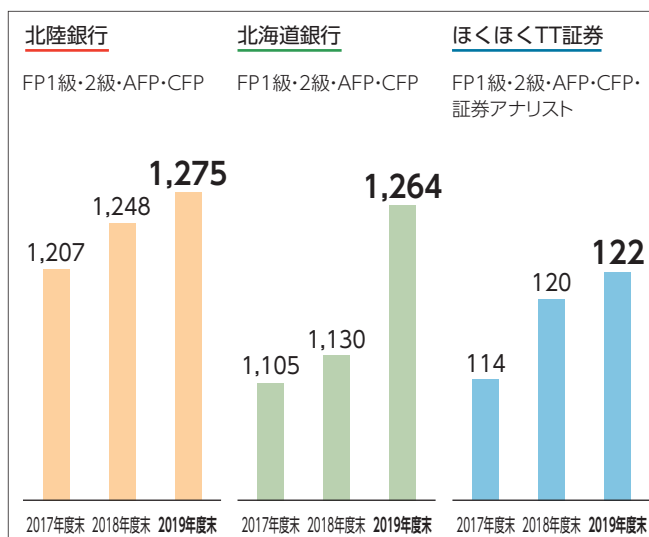
- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| ①NPSアンケート結果 | ⑥お客さまセミナー開催状況 |
| ②積立型投資信託契約者数・年間積立額 | ⑦投資信託・ファンドラップの運用損益別のお客さま割合 |
| ③NISA利用者数 | ⑧投資信託の預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン |
| ④投資信託の販売上位10銘柄の販売金額・構成比 | ⑨投資信託の預り資産残高上位20銘柄のリスク・リターン |
| ⑤人材育成・FP資格取得者数 | |

■ 2019年度主なKPI進捗状況

積立型投資信託契約者数・年間積立額



人材育成・FP資格取得者数



会社概要

プロフィール

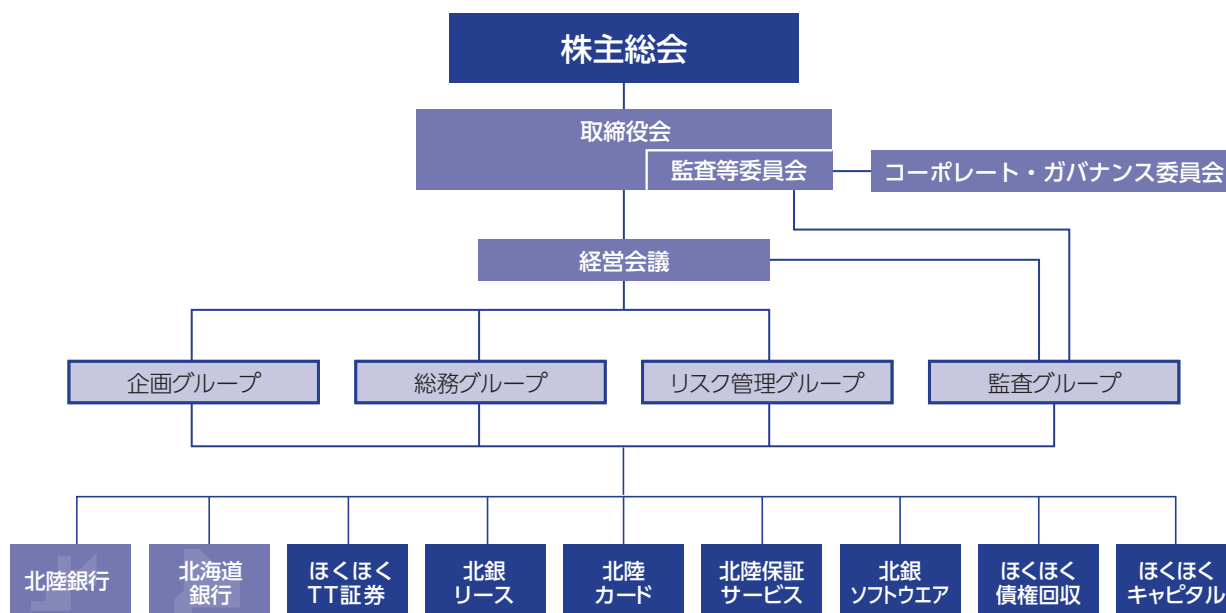


(2020年3月末現在)

設立日	2003年9月26日	従業員数	専任者5名
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号	総資産(連結)	13兆6,448億円
事業目的	傘下子会社の経営管理、および附帯業務、 その他銀行法が認める業務	預金(連結) (譲渡性預金を含む)	11兆6,386億円
資本金	708億9,500万円	貸出金(連結)	8兆6,564億円
発行済株式数	普通株式 132,163,014株 第1回第5種優先株式 96,698,000株	連結自己資本比率 (国内基準)	8.94%
上場取引所	東京証券取引所(第一部) 札幌証券取引所		

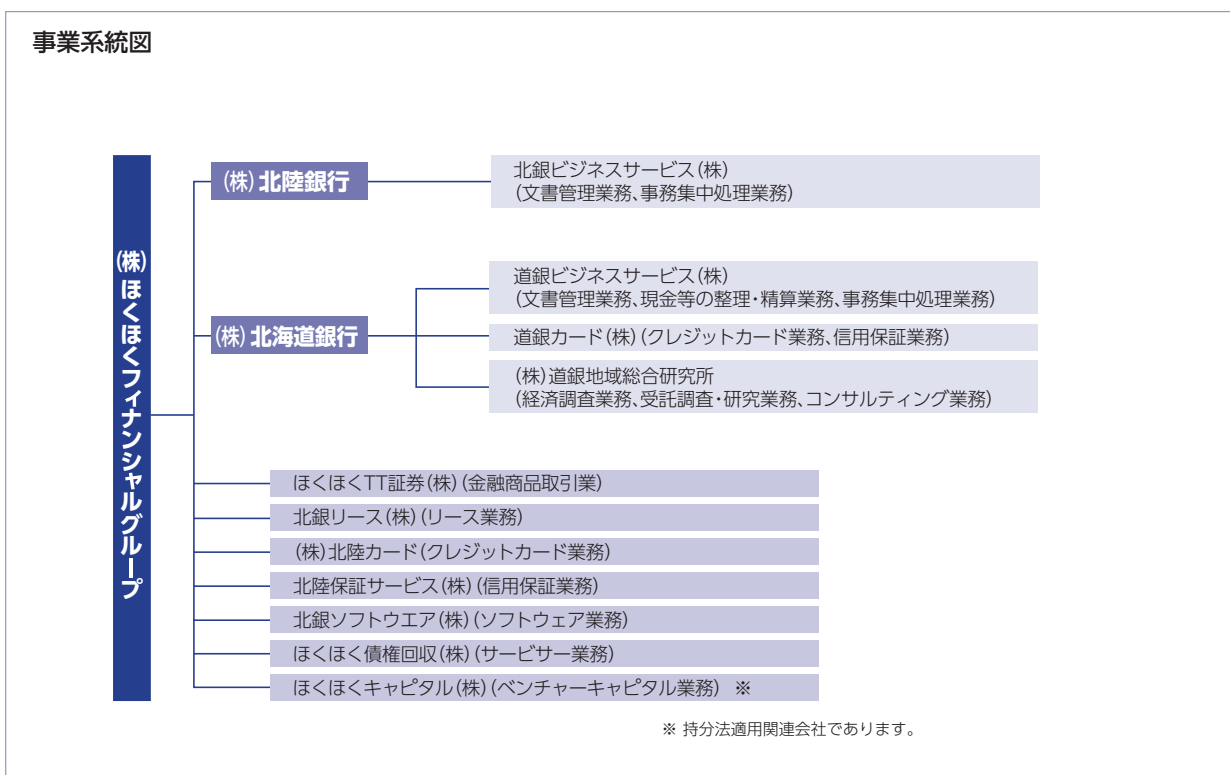
組織図

(2020年6月23日現在)



事業の内容

当社グループは、当社、連結子会社12社および関連会社1社で構成され、銀行業務を中心に金融商品取引業、リース業務、クレジットカード業務、信用保証業務、ベンチャーキャピタル業務などの幅広い各種金融サービスを提供しており、事業系統は次のとおりであります。



重要な子会社等

(単位:百万円、%)

会社名	所在地	主要な業務内容	設立年月日	資本金	当 社 議決権比率	当 社 配 当 額
株式会社北陸銀行	富山市堤町通り1丁目2番26号	銀行業務	1943年 7月 31日	140,409	100.00	806
株式会社北海道銀行	札幌市中央区大通西4丁目1番地	銀行業務	1951年 3月 5日	93,524	100.00	-
ほくほくTT証券株式会社	富山市丸の内1丁目8番10号	金融商品取引業	2016年 4月 21日	1,250	60.00	-
北銀リース株式会社	富山市荒町2番21号	リース業務	1983年 7月 21日	100	70.25	-
株式会社北陸カード	富山市新富町1丁目2番1号	クレジットカード業務	1983年 3月 2日	36	87.39	3
北陸保証サービス株式会社	富山市堤町通り1丁目2番26号	信用保証業務	1978年 12月 12日	50	100.00	-
北銀ソフトウェア株式会社	富山市東田地方町1丁目5番25号	ソフトウェア業務	1986年 5月 1日	30	100.00	-
ほくほく債権回収株式会社	富山市中央通り1丁目6番8号	サービサー業務	2003年 12月 5日	500	100.00	-
北銀ビジネスサービス株式会社	富山市鶴島1883番地	文書管理、 事務集中処理業務	1953年 3月 25日	30	(100.00)	-
道銀ビジネスサービス株式会社	札幌市白石区東札幌3条1丁目2-33 東札幌道銀ビル	文書管理、現金等の整理・ 精算、事務集中処理業務	1979年 6月 8日	50	(100.00)	-
道銀カード株式会社	札幌市中央区南2条西2丁目14番地	クレジットカード業務、 信用保証業務	1977年 6月 13日	120	(100.00)	-
株式会社道銀地域総合研究所	札幌市中央区大通西4丁目1番地 道銀別館ビル	経済調査業務、受託調査・ 研究業務、コンサルティング業務	2002年 8月 8日	100	(100.00)	-
ほくほくキャピタル株式会社	富山市中央通り1丁目6番8号	ベンチャーキャピタル業務	1985年 1月 11日	250	5.00 (38.75)	-

※ 議決権比率欄の()は、子会社における間接所有を含めた当社議決権比率であります。

北陸銀行

ロゴマーク



ホームページアドレス

<https://www.hokugin.co.jp/>

創業

北陸銀行は、加賀前田家の出資(7割)を受け、1877年8月26日に設立された金沢第十二国立銀行を起点としており、加賀藩祖「前田利家」ゆかりの銀行として創業されました。

創業以来、地域のお客さまとともに歩み続け、北陸・北海道そして三大都市にまたがる広域店舗網を有する銀行へと成長してきました。「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」という経営理念のもと、これまで築いてきた経営資源を最大限に活用し、質の高い総合金融サービスを提供し、地域に「親しまれ、頼りにされる銀行」を目指してまいります。



会社概要 (2020年3月末)

商号	株式会社北陸銀行	
事業内容	銀行業務	
設立年月日	1943年7月31日(創業1877年)	
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号	
総資産	8兆1,089億円	
預金(譲渡性預金を含む)	6兆7,354億円	
貸出金	4兆9,103億円	
発行済株式数		
普通株式	1,047,542千株	
自己資本比率(単体)	8.59%	
従業員数	2,511人	
店舗数等(国内)	188	(本支店145、出張所43)
(2020年6月末)	(海外) 6	(駐在員事務所6)

沿革

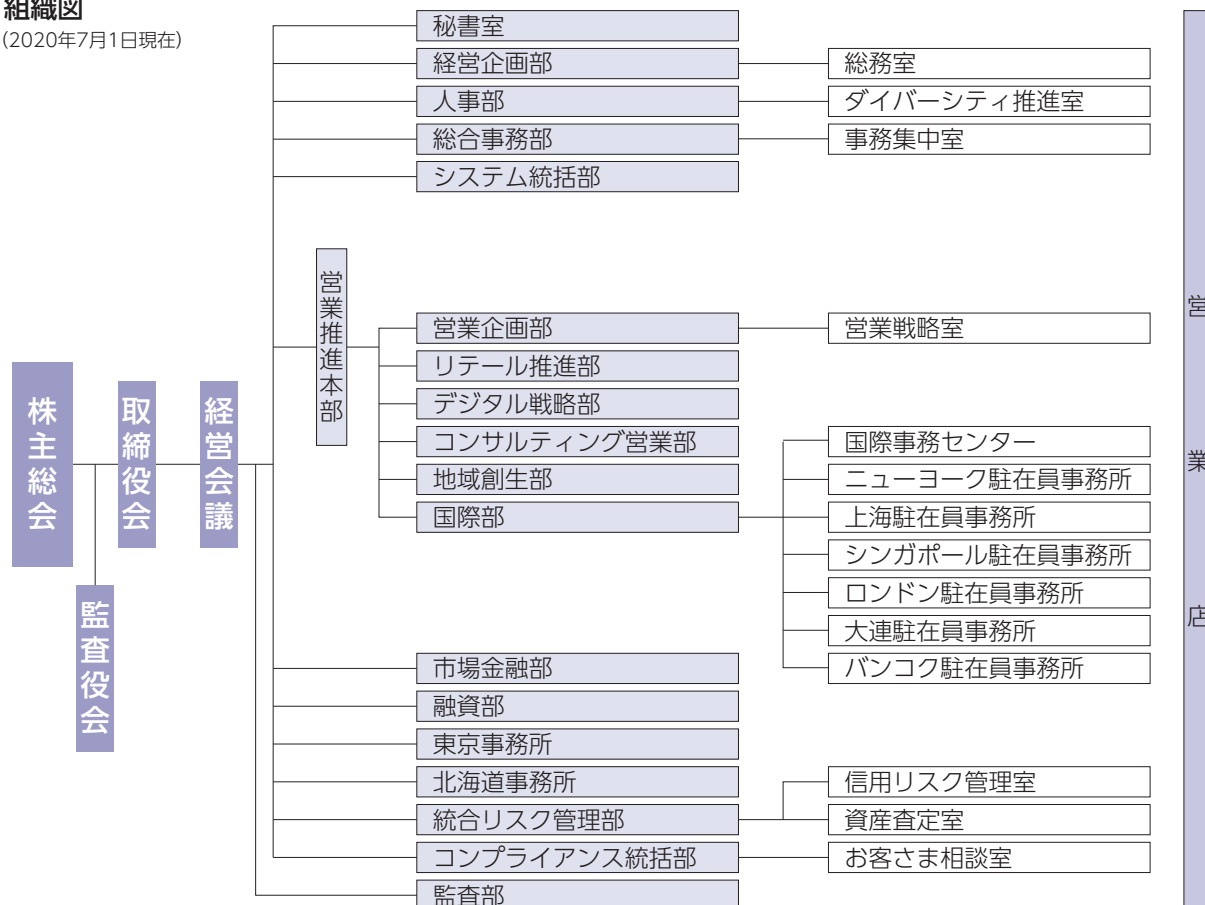
1877年	8月	金沢第十二国立銀行開業(創業)
1879年	2月	富山第二百二十三国立銀行開業
1884年	1月	富山第二百二十三国立銀行と金沢第十二国立銀行が合併し、富山第十二国立銀行を設立、本店を富山市に置く
1897年	7月	富山第十二国立銀行、株式会社十二銀行と改称
1943年	7月	十二・高岡・中越・富山の前身4行合併により「株式会社北陸銀行」設立
1950年	1月	外国為替業務開始(地銀で初めて)
1961年	9月	東京証券取引所に上場
1961年	11月	現本店竣工
1971年	1月	コルレス包括承認銀行となる
1973年	11月	第一次オンラインシステム稼働
1974年	3月	外国為替取扱店の新設包括許可
1978年	7月	円建・外貨シンジケートローン包括許可
1979年	10月	第二次オンラインシステム稼働
1981年	11月	外国為替オンラインシステム稼働
1984年	1月	ファームバンキングサービス開始
1987年	5月	VI(ビジュアル・アイデンティティ)導入
1990年	8月	第三次オンラインシステム稼働
1993年	11月	信託代理店業務取扱開始
1998年	12月	証券投資信託窓口販売業務取扱開始
2000年	6月	インターネット・モバイルバンキング開始
2000年	7月	新コンピュータセンター(アルプスビル)竣工
2001年	1月	新コンピュータシステム稼働
2001年	4月	損害保険窓口販売業務取扱開始
2002年	2月	第三者割当増資391億円により新資本金1,404億円となる
2002年	2月	コンビニATMサービス開始
2002年	10月	生命保険窓口販売業務取扱開始
2003年	3月	石川銀行の営業の一部を譲り受け
2003年	9月	株式移転により親会社である株式会社ほくぎんフィナンシャルグループを設立し、その子会社となる
2004年	9月	北海道銀行と経営統合し、親会社の名称を株式会社ほくぎんフィナンシャルグループに変更
2004年	12月	証券仲介業務取扱開始
2011年	5月	北海道銀行、横浜銀行とシステム共同利用を開始
2013年	12月	本店建物が有形文化財(建築物)に登録される
2015年	10月	個人コンサルティング拠点「ほくぎんプラザ」開設
2019年	4月	信託業務取扱開始
2019年	7月	人材紹介業務取扱開始

■ 主要な業務内容

預金業務	(1) 預 金	当座預金、普通預金、決済用預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取り扱っております。
	(2) 譲渡性預金	譲渡可能な定期預金を取り扱っております。
貸出業務	(1) 貸 付	手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っております。
	(2) 手形・電子記録債権の割引	銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形および電子記録債権の割引を取り扱っております。
商品有価証券売買業務		国債等公共債の売買業務を行っております。
有価証券投資業務		預金の支払準備および資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。
内国為替業務		送金為替、振込および代金取立等を取り扱っております。
外国為替業務		輸出、輸入および外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。
社債等受託業務		社債等の受託業務、公共債の募集受託に関する業務を行っております。
信託・相続業務		金銭信託（遺言代用信託、暦年贈与型信託）、遺言信託、遺産整理業務を行っております。
附帯業務	(1) 代理業務	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店および国債代理店業務 ● 地方公共団体の公金取扱業務 ● 勤労者退職金共済機構等の代理店業務 ● 株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務 ● 日本政策金融公庫等の代理貸付業務 ● 信託代理店業務 ● 住宅金融支援機構代理店業務
	(2) 保護預かりおよび貸金庫業務、有価証券の貸付、債務の保証（支払承諾）、公共債の引受、国債等公共債および証券投資信託の窓口販売および金融商品仲介業務、保険商品の窓口販売、コマーシャルペーパー等の取り扱い、確定拠出年金運営管理業務、有価証券の私募の取り扱い、金利・通貨等のデリバティブ取引、人材紹介業務	

■ 組織図

(2020年7月1日現在)



北海道銀行

ロゴマーク



ホームページアドレス

<https://www.hokkaidobank.co.jp/>

創業

北海道銀行は、戦後復興期の1951年3月5日、北海道における新興産業の勃興と人口の急激な増加に伴う旺盛な資金需要に応えるべく、道内中小企業者の強い要望により設立されました。

こうした設立の経緯から、北海道のお客さまに円滑な資金供給と充実した金融サービスの提供を行うことを通じ、地域経済の成長に貢献することが、「北海道に根差したごさんごバンク」としての北海道銀行の使命であると考えております。今後も、創業時の精神を忘れず、北海道の皆さまとともに歩んでまいります。



会社概要 (2020年3月末)

商号	株式会社北海道銀行
事業内容	銀行業務
設立年月日	1951年3月5日
本店所在地	札幌市中央区大通西4丁目1番地
総資産	5兆4,966億円
預金(譲渡性預金を含む)	4兆9,272億円
貸出金	3兆7,627億円
発行済株式数	
普通株式	486,634千株
第一回第二種優先株式	96,688千株
自己資本比率	8.76%
従業員数	2,172人
店舗数等 (国内)	144 (本支店136、出張所8)
(2020年6月末)	(海外) 3 (駐在員事務所3)

沿革

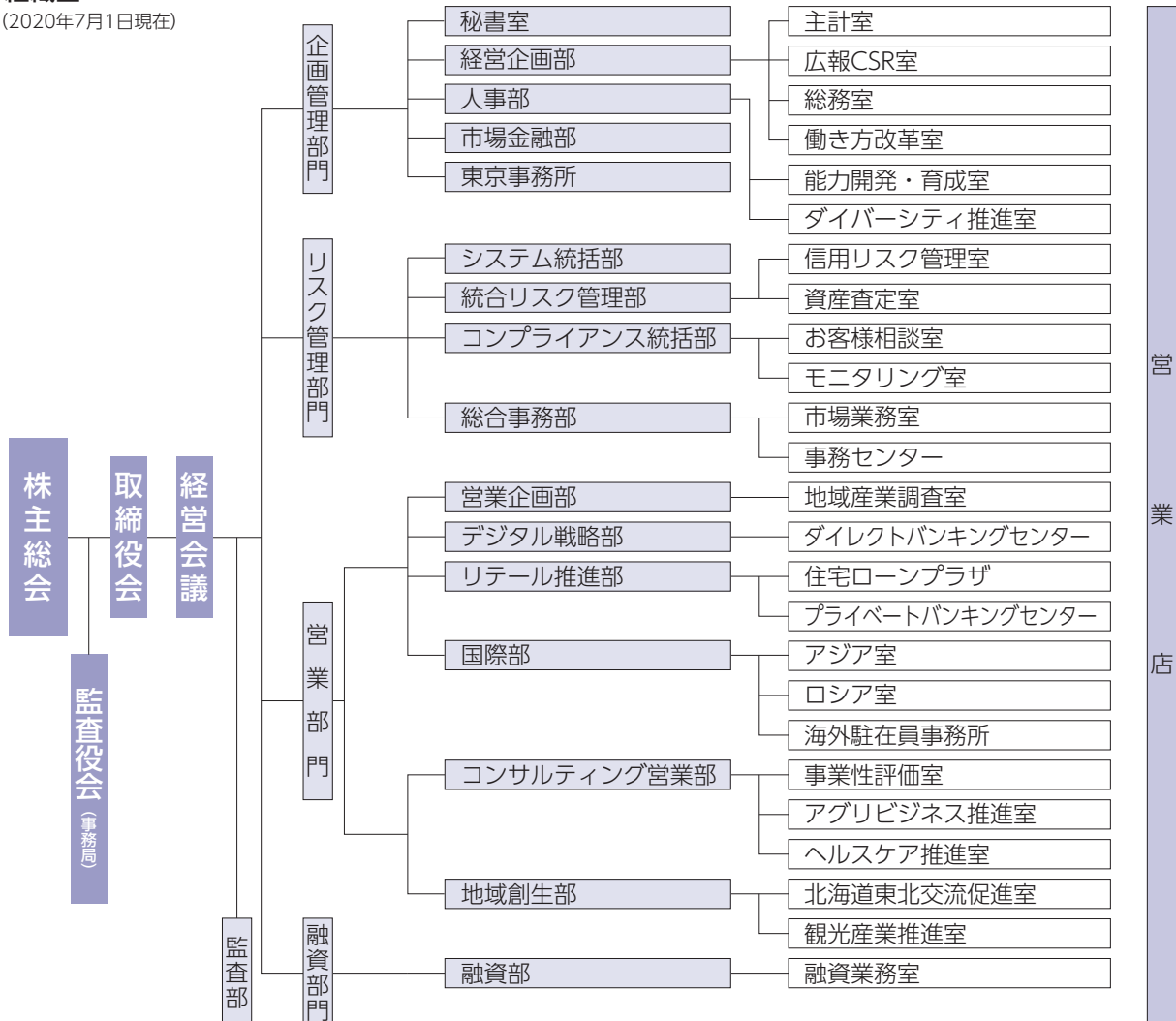
1951年	3月	「株式会社 北海道銀行」設立
1961年	4月	外国為替業務開始
1962年	5月	札幌証券取引所に株式上場
1964年	8月	現本店竣工
1971年	6月	第一次オンラインシステム稼働
1976年	7月	第二次オンラインシステム稼働
1980年	12月	コルレス包括承認銀行となる
1981年	4月	財団法人北海道銀行中小企業人材育成基金を設立
1986年	6月	外国為替オンラインシステム稼働
1987年	9月	東京証券取引所一部に上場
1990年	10月	東札幌道銀ビル竣工
1991年	3月	財団法人道銀文化財団を設立
1991年	10月	外国為替新オンラインシステム稼働
1991年	11月	道銀ビル別館竣工
1993年	1月	第三次オンラインシステム稼働
1994年	4月	信託代理店業務取扱開始
1998年	12月	証券投資信託窓口販売業務取扱開始
1999年	7月	第一回第二種優先株式発行(発行総額537億16百万円)
1999年	11月	テレホンバンキングサービス開始
2000年	6月	インターネット・モバイルバンキング開始
2001年	4月	損害保険窓口販売業務取扱開始
2002年	10月	生命保険窓口販売業務取扱開始
2003年	12月	ビジネスローンプラザ開設
2004年	4月	コンビニATMサービス開始
2004年	9月	北陸銀行を子会社に持つ株式会社ほくぞんフィナンシャルグループと経営統合し、株式会社ほくほくフィナンシャルグループを発足
2005年	4月	証券仲介業取扱開始
2006年	3月	北陸銀行、横浜銀行とシステム共同利用の契約締結
2006年	8月	瀋陽駐在員事務所開設
2009年	3月	ユジノサハリンスク駐在員事務所開設
2010年	1月	台湾ATM・台湾Smart Payデビットサービス開始
2011年	5月	北陸銀行、横浜銀行とシステム共同利用を開始
2014年	3月	ウラジオストク駐在員事務所開設
2019年	3月	口座開設プラザ(地下鉄大通駅出張所)開設
2019年	4月	NISEKO出張所開設

■ 主要な業務内容

預金業務	(1) 預 金	当座預金、普通預金、決済用預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取り扱っております。
	(2) 譲渡性預金	譲渡可能な定期預金を取り扱っております。
貸出業務	(1) 貸 付	手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っております。
	(2) 手形・電子記録債権の割引	銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形および電子記録債権の割引を取り扱っております。
商品有価証券売買業務		国債等公共債の売買業務を行っております。
有価証券投資業務		預金の支払準備および資金運用のため国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。
内国為替業務		送金為替、振込および代金取立等を取り扱っております。
外国為替業務		輸出、輸入および外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。
社債等受託業務		社債等の受託業務、公共債の募集受託に関する業務を行っております。
附帯業務	(1) 代理業務	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店および国債代理店業務 ● 地方公共団体の公金取扱業務 ● 勤労者退職金共済機構等の代理店業務 ● 株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務 ● 日本政策金融公庫等の代理貸付業務 ● 信託代理店業務 ● 住宅金融支援機構代理店業務
	(2) 保護預かりおよび貸金庫業務、有価証券の貸付、債務の保証(支払承諾)、金の売買、公共債の引受、国債等公共債および証券投資信託の窓口販売および金融商品仲介業務、保険商品の窓口販売、商業用ペーパー等の取り扱い、確定拠出年金運営管理業務、有価証券の私募の取り扱い、金利・通貨等のデリバティブ取引	

■ 組織図

(2020年7月1日現在)



店舗ネットワーク

北陸銀行

富山県			
富山市			
本店営業部	富山市堤町通り1丁目2番26号 TEL.076-423-7111	⊕ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪	
荒町支店(本店営業部内)			
電気ビル支店(本店営業部内)			
北電ビル出張所(本店営業部内)			
富山市役所出張所	富山市新桜町7番38号 TEL.076-431-2322		
富山駅前支店	富山市新富町一丁目2番1号 TEL.076-432-8551	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
橋北出張所(富山駅前支店内)			
県庁内支店	富山市新総曲輪1番7号 TEL.076-441-2038		
富山丸の内支店	富山市丸の内一丁目8番10号 TEL.076-441-3486	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
越前町支店	富山市一番町1番1号 TEL.076-421-5591	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
中野出張所(越前町支店内)			
西田地方出張所(越前町支店内)			
堀川支店	富山市小泉町179番地 TEL.076-424-3446	⊕ ㊦ ㊧	
清水町支店	富山市元町一丁目6番1号 TEL.076-421-3191	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
向川原町支店(清水町支店内)			
稲荷町出張所	富山市館出町1丁目9番17号 TEL.076-441-4408	⊕ ㊦ ㊧	㊨
中央病院出張所	富山市西長江二丁目2番78号 TEL.076-424-8233	★ ⊕ ㊦ ㊧	
新庄支店	富山市荒川二丁目25番47号 TEL.076-441-3496	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩ ㊪
富山問屋町出張所	富山市問屋町二丁目11番35号 TEL.076-451-6611	⊕ ㊦ ㊧	
金泉寺出張所	富山市五本権9番2 TEL.076-451-4600	⊕ ㊦ ㊧	㊨
岩瀬支店	富山市東岩瀬町110番地 TEL.076-437-9225	★ ⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
奥田支店	富山市永楽町40番10号 TEL.076-441-4861	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
中島出張所(奥田支店内)			
四方支店	富山市四方245番地1 TEL.076-435-1211	⊕ ㊦ ㊧	
速星支店	富山市婦中町速星588番地 TEL.076-466-2101	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
八尾支店	富山市八尾町東町2108番地 TEL.076-454-3101	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
呉羽支店	富山市呉羽町7100番地4 TEL.076-436-5111	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
大沢野支店	富山市長附234番地 TEL.076-467-2301	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
上滝支店	富山市上滝413番地 TEL.076-483-1111	★ ⊕ ㊦ ㊧	㊨
水橋支店	富山市水橋町18番地 TEL.076-478-2121	⊕ ㊦ ㊧	㊨
高原町支店	富山市高屋敷854番地 TEL.076-423-5551	⊕ ㊦ ㊧	㊨
藤の木支店	富山市藤の木台1丁目14番地 TEL.076-424-4444	⊕ ㊦ ㊧	
五福支店	富山市五福3393番地2 TEL.076-441-5722	⊕ ㊦ ㊧	㊨
豊田支店	富山市豊田本町二丁目11番25号 TEL.076-438-5555	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
東富山出張所	富山市中田1丁目6番10号 TEL.076-437-4600	⊕ ㊦ ㊧	㊨
南富山支店	富山市堀川町204番地 TEL.076-422-1166	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
熊野出張所(南富山支店内)			
月岡出張所	富山市月見町4丁目72番地 TEL.076-429-0687	★ ⊕ ㊦ ㊧	
富山南中央支店	富山市掛尾栄町4番58 TEL.076-421-1121	⊕ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪	
富山市場出張所(富山南中央支店内)			
富山市民病院出張所(富山南中央支店内)			

魚津市			
魚津支店	魚津市中央通り一丁目1番20号 TEL.0765-22-4111	⊕ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪	
魚津駅前支店	魚津市釈迦堂一丁目1110番地 TEL.0765-24-7111	⊕ ㊦ ㊧ ㊨	㊩ ㊪
滑川市			
滑川支店	滑川市下小泉町83番地9 TEL.076-475-2101	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
上市町			
上市支店	中新川郡上市町三日市47番地の16 TEL.076-472-2111	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
立山町			
立山支店	中新川郡立山町前沢1191番地 TEL.076-463-1115	⊕ ㊦ ㊧	㊨
黒部市			
黒部支店	黒部市新牧野384番地 TEL.0765-52-1212	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩ ㊪
生地出張所(黒部支店内)			
YKK支店	黒部市飯沢6120番地5 TEL.0765-57-0260	★ ⊕ ㊦ ㊧	
宇奈月支店	黒部市宇奈月温泉7番地31 TEL.0765-62-1201	★ ⊕ ㊦ ㊧	㊨
入善町			
入善支店	下新川郡入善町入善5235番地 TEL.0765-72-1151	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
朝日町			
泊支店	下新川郡朝日町泊302番地 TEL.0765-82-1122	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
高岡市			
高岡支店	高岡市片原町1番地の1 TEL.0766-23-2233	⊕ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪	
高岡駅前出張所	高岡市下関町185番地11 TEL.0766-23-0007	⊕ ㊦ ㊧	㊨
高岡市役所出張所	高岡市広小路7番50号 TEL.0766-23-8795		
昭和通支店	高岡市昭和三丁目1番5号 TEL.0766-23-0003	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
西高岡出張所(昭和三支店内)			
羽広出張所(昭和三支店内)			
高岡広小路支店	高岡市丸の内2番11号 TEL.0766-23-0005	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
能町出張所(高岡広小路支店内)			
伏木支店	高岡市伏木錦町9番20号 TEL.0766-44-1212	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
戸出支店	高岡市戸出町三丁目1番13号 TEL.0766-63-1234	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
中田支店	高岡市下麻生1328番地の1 TEL.0766-36-1122	★ ⊕ ㊦ ㊧	㊨
福岡支店	高岡市福岡町福岡1083番地 TEL.0766-64-3131	⊕ ㊦ ㊧	㊨
高岡南中央支店	高岡市赤祖父431番地 TEL.0766-24-2288	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
高岡総合市場出張所(高岡南中央支店内)			
高岡清水町支店	高岡市清水町三丁目5番55号 TEL.0766-23-3555	★ ⊕ ㊦ ㊧	㊨
野村支店	高岡市野村413番地8 TEL.0766-24-6668	⊕ ㊦ ㊧	㊨
射水市			
新湊支店	射水市立町7番8号 TEL.0766-82-3101	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩ ㊪
堀岡出張所	射水市草岡町2丁目9番地の12 TEL.0766-86-1101	⊕ ㊦ ㊧	
新湊西出張所	射水市本町2丁目12番33号 TEL.0766-84-6141	⊕ ㊦ ㊧	㊨
大門支店	射水市大門67番地 TEL.0766-52-0003	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
小杉支店	射水市三ヶ331番地の18 TEL.0766-55-2345	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
大島支店	射水市小島3747番地の1 TEL.0766-52-4656	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩
太閤山支店	射水市中太閤山1丁目1番地7 TEL.0766-56-3660	⊕ ㊦ ㊧	㊨
氷見市			
氷見支店	氷見市本町16番19号 TEL.0766-74-0800	⊕ ㊦ ㊧	㊨ ㊩

休日自動機稼働状況等 ㊦土曜稼働店 ㊧日曜稼働店 ㊨祝日稼働店 ㊩信託代理業務取扱店 ㊪外国為替取扱店 ㊫外貨両替取扱店 ㊬貸金庫取扱店 ★9:00~15:00の間に休業を設定している店舗

小矢部市
石動支店 小矢部市本町2番5号 TEL.0766-67-1001
津沢支店 小矢部市津沢420番地の2 TEL.0766-61-3456
砺波市
砺波支店 砺波市本町5番17号 TEL.0763-32-3011
庄川支店 砺波市庄川町青島538番地の4 TEL.0763-82-6677
南砺市
福野支店 南砺市福野1831番地 TEL.0763-22-2131
井波支店 南砺市山見1739番地6 TEL.0763-82-1212
福光支店 南砺市福光6788番地の1 TEL.0763-52-1234
城端支店 南砺市城端564番地の1 TEL.0763-62-1234

石川県
金沢市
金沢支店 金沢市南町5番28号 TEL.076-263-5131
犀川支店(金沢支店内)
東大通支店 金沢市元町二丁目16番2号 TEL.076-252-3222
橋場出張所 金沢市橋場町3番15号 TEL.076-261-7125
東金沢出張所 金沢市大樋町4番14号 TEL.076-251-7822
金沢駅前支店 金沢市本町二丁目15番1号 TEL.076-261-8227
英町出張所(金沢駅前支店内)
小立野支店 金沢市石引一丁目12号15号 TEL.076-221-4121
賢坂辻支店 金沢市兼六元町15番28号 TEL.076-263-5321
金沢問屋町支店 金沢市問屋町一丁目115番地4 TEL.076-237-5401
泉野支店 金沢市泉野出町3丁目1番1号 TEL.076-242-3661
金沢中央支店 金沢市駅西本町一丁目15番35号 TEL.076-223-2191
新神田支店 金沢市新神田一丁目9番22号 TEL.076-291-3451
西金沢出張所 金沢市米泉町7丁目28番地4 TEL.076-244-1711
光が丘支店 金沢市光が丘1丁目127番地 TEL.076-298-7772
大徳支店 金沢市松村町又8番1 TEL.076-268-8600
金沢南中央支店 金沢市寺地一丁目32番38号 TEL.076-243-1880
野町出張所(金沢南中央支店内)
もりの里支店 金沢市もりの里一丁目206番地 TEL.076-222-1711

野々市市
野々市支店 野々市市本町二丁目290番地 TEL.076-246-2911
金沢西インター支店 野々市市御経塚四丁目84番地 TEL.076-240-7000

白山市
美川支店 白山市美川中町30番地 TEL.076-278-2323
松任支店 白山市ハツ矢町619番 TEL.076-276-8855

能美市
能美支店 能美市五間堂町1番地1 TEL.0761-57-2000

小松市
小松支店 小松市京町97番地 TEL.0761-22-2481
小松南支店 小松市本折町62番地 TEL.0761-22-2211

加賀市
大聖寺支店 加賀市大聖寺南町ホ4番2 TEL.0761-72-1212
山代支店 加賀市山代温泉温泉通39番1 TEL.0761-77-1460
山中支店 加賀市山中温泉湯の本町ラ3番地の2 TEL.0761-78-0117

津幡町
津幡支店 河北郡津幡町字清水イ125番地 TEL.076-288-3311

かほく市
かほく支店 かほく市高松ツ57番地 TEL.076-281-1101

羽咋市
羽咋支店 羽咋市中央町ア21番地2 TEL.0767-22-1177

七尾市
七尾支店 七尾市一本杉町118番地 TEL.0767-53-2200

輪島市
輪島支店 輪島市河井町参部68番地 TEL.0768-22-1111

珠洲市
珠洲支店 珠洲市野々江町二部45番地1 TEL.0768-82-1212

福井県
福井市
福井支店 福井市中央一丁目7番15号 TEL.0776-24-5555

福井駅前出張所(福井支店内)
花堂出張所 福井市花堂南2丁目1番13号 TEL.0776-35-0455

福井松本支店 福井市松本二丁目4番15号 TEL.0776-23-2680
開発出張所(福井松本支店内)

福井西中央支店 福井市学園二丁目5番8号 TEL.0776-23-2840

木田支店 福井市毛矢1丁目10番1号 TEL.0776-35-1520

福井東支店 福井市西方一丁目1番1号 TEL.0776-21-8830
二の宮支店 福井市二の宮四丁目3番10号 TEL.0776-23-6611

米松支店 福井市松城町11番3号 TEL.0776-54-4686

あわら市
金津支店 あわら市春宮二丁目4番1号 TEL.0776-73-1122

芦原支店 あわら市温泉一丁目523番地 TEL.0776-77-2510

坂井市
三国支店 坂井市三国町南本町一丁目2番40号 TEL.0776-81-2880

勝山市
勝山支店 勝山市本町二丁目5番11号 TEL.0779-88-1313

大野市
大野支店 大野市元町7番22号 TEL.0779-66-3230

越前市
武生支店 越前市蓮葉町6番27号 TEL.0778-23-2211

武生東出張所 越前市園高2丁目第44号4番地の1 TEL.0778-22-5022
今立支店 越前市粟田部町第26番1番地 TEL.0778-42-0811

鯖江市
鯖江支店 鯖江市本町四丁目8番23号 TEL.0778-51-2240
神明支店 鯖江市三六町二丁目5番12号 TEL.0778-51-6131

店舗ネットワーク

休日自動機稼働状況等
 土曜稼働店 日曜稼働店 祝日稼働店
 信託代理業務取扱店 外国為替取扱店 外貨両替取扱店 貸金庫取扱店
 ★ 9:00～15:00の間に休業を設定している店舗

北陸銀行

敦賀市	
敦賀支店	敦賀市本町二丁目11番1号 TEL.0770-22-5333
敦賀西出張所(敦賀支店内)	

北海道	
札幌市	
札幌支店	札幌市中央区大通西二丁目5番地 TEL.011-241-7531
苗穂支店	札幌市東区北十三条東七丁目5番1号 TEL.011-731-4131
元町出張所(苗穂支店内)	
豊平支店	札幌市豊平区豊平四条二丁目6番3号 TEL.011-811-2291
琴似支店	札幌市西区山の手二条一丁目5番1号 TEL.011-611-0201
麻生支店	札幌市北区北三十九条西四丁目1番6号 TEL.011-709-1581
東篠路出張所	札幌市北区拓北6条3丁目1番15号 TEL.011-772-5211
西岡支店	札幌市豊平区西岡3条5丁目5番8号 TEL.011-853-9161
白石支店	札幌市白石区南郷通十三丁目南5番16号 TEL.011-862-1151

江別市	
江別支店	江別市七条六丁目1番地 TEL.011-382-2012

函館市	
函館支店	函館市若松町20番1号 TEL.0138-26-5001
五稜郭支店	函館市本町12番1号 TEL.0138-55-2511
函館東支店	函館市中道二丁目49番17号 TEL.0138-53-9511

小樽市	
小樽支店	小樽市福穂二丁目8番11号 TEL.0134-23-7111
奥沢出張所(小樽支店内)	

苫小牧市	
苫小牧支店	苫小牧市錦町二丁目6番22号 TEL.0144-34-8181

旭川市	
旭川支店	旭川市三条通十丁目2189番地 TEL.0166-23-4111

釧路市	
釧路支店	釧路市北大通十丁目1番地4 TEL.0154-22-5126

帯広市	
帯広支店	帯広市大通南八丁目18・20番地 TEL.0155-23-6131

東京都	
東京支店	中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー5階 TEL.03-3241-7771
浅草支店	台東区雷門二丁目12番10号 TEL.03-3843-4181
新宿支店	新宿区西新宿七丁目20番3号 TEL.03-5389-7111
渋谷支店	渋谷区宇田川町20番11号 TEL.03-3462-5121
上野支店	台東区上野五丁目1番1号 TEL.03-3834-3701
白山支店	文京区白山五丁目1番3号-101 TEL.03-3816-5751

神奈川県	
横浜支店	横浜市神奈川区冨家町1番地 TEL.045-434-4111

新潟県	
新潟支店	新潟市中央区東堀前通七番町1072番地2 TEL.025-222-0521

長野県	
長野支店	長野市上千歳町1137番地23 TEL.026-233-5800

愛知県	
名古屋支店	名古屋市中区錦三丁目5番27号 TEL.052-961-5371
金山橋支店	名古屋市中区金山一丁目13番10号 TEL.052-321-6431
中村支店	名古屋市中村区椿町17番16号 TEL.052-452-0101

岐阜県	
高山支店	高山市本町二丁目71番地 TEL.0577-32-1300

大阪府	
大阪支店	大阪市中央区平野町三丁目2番13号 TEL.06-6202-0961
今里支店	大阪市東成区大今里西二丁目18番5号 TEL.06-6972-1231
平野支店	大阪市平野区平野東三丁目1番19号 TEL.06-6792-9500

京都府	
京都支店	京都市中京区烏丸通錦小路上手洗水町659番地 TEL.075-221-7011

海外	
ニューヨーク駐在員事務所	780 Third Avenue, 28th Floor, New York, NY10017, U.S.A TEL.1-212-355-3883
ロンドン駐在員事務所	7th Floor, 52-54 Gracechurch Street, London, EC3V 0EH, UK TEL.44-20-7283-1212
シンガポール駐在員事務所	6 Battery Road #15-02 Singapore 049909, Singapore TEL.65-6534-0010
バンコク駐在員事務所	23rd Floor Unit2314, Bhiraj Tower at EmQuartier, 689 Sukhumvit Road, North Klongton, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL.66-2-261-8495
上海駐在員事務所	中国上海市長寧区延安西路2201号上海国際貿易中心6楼602号室 TEL.86-21-6270-8108
大連駐在員事務所	中国遼寧省大連市西岗区中山路147号大連森茂大廈7F TEL.86-411-3960-8018

コールセンター	
ほくぎんほっとコールセンター	富山市中央通り1丁目6番8号 TEL.076-423-7227

その他	
ほくぎんダイレクト支店	富山市中央通り1丁目6番8号 TEL.0120-338-865
国際事務センター	東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー14階 TEL.03-3231-7329

このほか、コンビニATM支店、らいちょう支店、神通支店があります。

休日自動機稼働状況等
土曜稼働店 日曜稼働店 祝日稼働店
信託代理業務取扱店 外国為替取扱店 外貨両替取扱店 貸金庫取扱店
★ 12:30～13:30に休業を設定している店舗

北海道銀行

Table listing branches in Hokkaido, starting with '北海道' and '札幌市'. Includes branches like 本店営業部, 南一条支店, 中央支店, etc.

Table listing branches in other regions: 豊平支店, 平岸支店, 月寒支店, 西岡支店, 清田支店, 美しが丘出張所, 菊水元町出張所, 東札幌支店, 白石支店, 白石区役所支店, 流通センター前支店, 北郷支店, 北都支店, 大谷地支店, 新さっぽろ支店, 平岡パーク支店, 北広島市・恵庭市・千歳市, 北広島支店, 恵庭支店, 恵み野出張所, 千歳支店, 江別市・石狩市, 大麻支店, 野幌支店, 花川支店, 函館市, 函館支店, 函館駅前支店, 亀田支店, 十字街支店, 東山支店, 美原支店, 湯川支店, 木古内町・今金町, 木古内支店, 今金支店, 小樽市・岩内町・俱知安町・寿都町, 小樽支店, 入船支店, 岩内支店, NISEKO出張所, 寿都支店, 室蘭市・伊達市・洞爺湖町, 室蘭支店, 東室蘭支店(室蘭支店内)

店舗ネットワーク

(2020年6月末現在)

休日自動機稼働状況等

+土曜稼働店 ◎日曜稼働店 祝祝日稼働店
◎信託代理業務取扱店 因外国為替取扱店 因外貨両替取扱店 貸貸金庫取扱店
 ★ 12:30~13:30に休業を設定している店舗

北海道銀行

室蘭駅前支店	室蘭市中央町4丁目1番1号 TEL.0143-22-2411	+	◎	祝	
伊達支店	伊達市鹿島町13番地3 TEL.0142-23-3188	+	◎	祝	為
洞爺支店	虻田郡洞爺湖町本町175番地 TEL.0142-76-2151	★	+	◎	祝
登別市、白老町					
登別支店	登別市中央町6丁目1番地5 TEL.0143-85-2621	+	◎	祝	為
白老支店	白老郡白老町大町3丁目2番11号 TEL.0144-82-2381	★	+	◎	祝
苫小牧市					
苫小牧支店	苫小牧市表町2丁目1番14号 TEL.0144-33-9211	+	◎	祝	為 両 貸
苫小牧東支店	苫小牧市新開町4丁目2番18号 TEL.0144-57-8130	+	◎	祝	
糸井支店	苫小牧市しらかば町6丁目16番12号 TEL.0144-74-5111	+	◎	祝	
安平町、栗山町、長沼町					
早来支店	勇払郡安平町早来大町111番地 TEL.0145-22-2531	★			為
追分支店	勇払郡安平町通分本町4丁目19番地1号 TEL.0145-25-2511	★			為
栗山支店	夕張郡栗山町中央3丁目36番1号 TEL.0123-72-1325				為
長沼支店	夕張郡長沼町中央南1丁目7番2号 TEL.0123-88-2727	★			為
岩見沢市、当別町、美唄市					
岩見沢支店	岩見沢市4条西6丁目2番地 TEL.0126-22-3131	+	◎	祝	為
当別支店	石狩郡当別町園生711番地40 TEL.0133-23-2132	+	◎	祝	為
美唄支店	美唄市大通東1条南2丁目2番15号 TEL.0126-63-2136	+	◎	祝	為
砂川市、月形町					
砂川支店	砂川市西1条北2丁目1番16号 TEL.0125-54-2111	+	◎	祝	為
月形支店	樺戸郡月形町1069番地24 TEL.0126-53-2016	★			為
滝川市、芦別市、赤平市					
滝川支店	滝川市明神町1丁目5番41号 TEL.0125-22-5111	+	◎	祝	為
芦別支店	芦別市北1条東1丁目6番地10 TEL.0124-22-3451	★			為
赤平支店	赤平市字赤平563番地4 TEL.0125-32-2111	★			
旭川市					
旭川支店	旭川市2条通9丁目228番地 TEL.0166-26-0141	+	◎	祝	為 両 貸
神楽支店	旭川市神楽4条4丁目2番14号 TEL.0166-61-4281	+	◎	祝	
豊岡支店	旭川市豊岡3条3丁目2番9号 TEL.0166-31-4181	+	◎	祝	為
銀座通支店(豊岡支店内)					
永山支店	旭川市永山3条16丁目3番1号 TEL.0166-48-3050	+	◎	祝	
大町支店	旭川市大町3条9丁目2397番地 TEL.0166-53-1411	+	◎	祝	
美瑛町、富良野市					
美瑛支店	上川郡美瑛町本町1丁目5番25号 TEL.0166-92-1141	★			為
富良野支店	富良野市日の出町5番10号 TEL.0167-23-2161	★			為
士別市、名寄市					
士別支店	士別市大通東6丁目2295番地 TEL.0165-23-2151	+	◎	祝	為
名寄支店	名寄市西4条南7丁目5番地 TEL.01654-2-2111	+	◎	祝	為
稚内市、天塩町					
稚内支店	稚内市中央3丁目11番10号 TEL.0162-23-5221	+	◎	祝	為
天塩支店	天塩郡天塩町新地通6丁目871番地6 TEL.01632-2-1011	★			為
留萌市、羽幌町					
留萌支店	留萌市錦町3丁目2番47号 TEL.0164-42-2434	+	◎	祝	為
羽幌支店	舌前郡羽幌町南大通1丁目13番地 TEL.0164-62-1241	★	+	◎	祝

紋別市、湧別町

紋別支店	紋別市本町5丁目1番5号 TEL.0158-24-2101	+	◎	祝	為
中湧別支店	紋別郡湧別町中湧別中町580番地 TEL.01586-2-2151	★			為

北見市、網走市、斜里町

北見支店	北見市北1条西1丁目1番地 TEL.0157-23-3121	+	◎	祝	為 両 貸
北見とん田支店	北見市栄町1丁目1番地の7 TEL.0157-24-6111	+	◎	祝	
網走支店	網走市南4条西2丁目3番地 TEL.0152-43-2161	+	◎	祝	為 両 貸
斜里支店	斜里郡斜里町本町38番地4 TEL.0152-23-2131	★			為

釧路市

釧路支店	釧路市北大通10丁目2番地1 TEL.0154-23-3111	+	◎	祝	為 両 貸
鳥取支店(釧路支店内)					
釧路西港支店	釧路市鳥取大通4丁目15番地 TEL.0154-51-6811	+	◎	祝	

根室市、中標津町、白糠町

根室支店	根室市花咲町2丁目31番 TEL.0153-24-4115	+	◎	祝	為
中標津支店	標津郡中標津町大通北1丁目2番地1 TEL.0153-72-8001	+	◎	祝	為 両 貸
白糠支店	白糠郡白糠町東2条南2丁目3番地3 TEL.01547-2-2161	★			為

帯広市

帯広支店	帯広市西3条南9丁目23番地 TEL.0155-23-7111	+	◎	祝	為 両 貸
西五条支店	帯広市西5条南20丁目1番地 TEL.0155-24-1988	+	◎	祝	
帯広西支店	帯広市西19条南3丁目55番15号 TEL.0155-36-7111	+	◎	祝	

芽室町、広尾町、足寄町、音更町

芽室支店	河西郡芽室町本通3丁目1番地 TEL.0155-62-2111	+	◎	祝	為
広尾支店	広尾郡広尾町本通7丁目7番地の1 TEL.01558-2-3121	★	+	◎	祝
足寄支店	足寄郡足寄町南1条3丁目1番地 TEL.0156-25-2165	★			為
音更支店	河東郡音更町木野大通東12丁目1番1号2 TEL.0155-31-1411	+	◎	祝	為

東京都

東京支店	中央区日本橋区本町3丁目2番1号 日本橋区三井タワー5階 TEL.03-3241-3276	★			為
------	---	---	--	--	---

宮城県

仙台支店	仙台市青葉区中央3丁目1番24号荘銀ビル6階 TEL.022-224-5311				為
------	--	--	--	--	---

海外

瀋陽駐在員事務所	中国遼寧省瀋陽市瀋河区青年大街1-1号市府恒隆広場併設1座1118室 TEL.86-24-3185-7008
ウジノサハリンスク駐在員事務所	18 Kommunisticheskiy Av. office 44, Uzhno-Sakhalinsk, 693000, Russia TEL.7-4242-45-7523
ウラジオストク駐在員事務所	Fresh Plaza, Room 613, 17 Okeanskiy Pr., Vladivostok, 690091, Russia TEL.7-4232-65-8851

その他

ラビッド支店	札幌市白石区東札幌3条1丁目2番33号 TEL.0120-433-919
--------	---

このほか、イーネットATM支店、ローソンATM支店、バンクタイムATM支店、振込専用支店があります。

ほくぎんローンプラザ・住宅ローンプラザ・その他

(2020年6月末現在)

休日営業状況等 **土**土曜営業店 **日**日曜営業店 **祝**祝日営業店
月月曜休業店 **水**水曜休業店 **貸**貸金庫取扱店

★ 9:00～15:00の間に休業を設定している店舗

ほくぎんプラザ(北陸銀行 コンサルティング窓口)

富山県	
一番町出張所	富山市一番町1番1号(一番町スクエアビル4階) TEL.076-423-7710 土 月

ほくぎんファボーレプラザ(北陸銀行 相続・資産形成のご相談・お届け事項の変更手続き)

富山県	
ファボーレ出張所	富山県婦中町下巻田165番地の1 TEL.076-461-3783 土 日 祝

ドリームセンター(北陸銀行)

富山県	
ドリームセンターかけお	富山市掛尾栄町4番58(富山南中央支店同一建物内) TEL.076-423-0079 土 日 祝

石川県	
ドリームセンター金沢中央	金沢市駅西本町一丁目15番35号(金沢中央支店内) TEL.076-262-6225 土 日 祝

ほくぎんローンプラザ(北陸銀行)

富山県	
-----	--

清水町	富山市元町一丁目6番1号(清水町支店内) TEL.076-421-3191
-----	---------------------------------------

新庄	富山市荒川二丁目25番47号(新庄支店内) TEL.076-441-3901 土 日 祝
----	---

魚津	魚津市釈迦堂一丁目1110番地(魚津駅前支店内) TEL.0765-22-7283 土 日 祝 水
----	---

滑川	滑川市下小泉町83番地9(滑川支店内) TEL.076-475-2132
----	--------------------------------------

くろべ	黒部市飯沢6120番地5(YKK支店内) TEL.0765-57-0265 ★
-----	---

高岡南中央	高岡市赤坂431番地(高岡南中央支店敷地内) TEL.0766-24-6882 土 日 祝
-------	--

高岡	高岡市片原町1番地の1(高岡支店内) TEL.0766-28-1731
----	-------------------------------------

となみ野	砺波市宮丸30番地の1(元 油田出張所) TEL.0763-33-5821 土 日 祝 貸
------	---

福光	南砺市福光6788番地の1(福光支店内) TEL.0763-52-1237
----	---------------------------------------

石川県	
-----	--

東大通	金沢市元町二丁目16番2号(東大通支店内) TEL.076-252-7200 ★
-----	--

金沢北	金沢市問屋町一丁目115番地4(金沢問屋町支店内) TEL.076-237-7735 ★
-----	--

金沢南	金沢市泉野出町3丁目1番1号(泉野支店内) TEL.076-242-3550 ★ 土 日 祝 水
-----	--

新神田	金沢市新神田一丁目9番22号(新神田支店内) TEL.076-291-1150 ★
-----	---

まっとう	白山市ハツ矢町619番地(松任支店内) TEL.076-276-8622 土 日 祝 水
------	--

野々市	野々市市本町二丁目290番地(野々市支店内) TEL.076-246-2177 ★
-----	---

つばた	河北郡津幡町字清水イ125番地(津幡支店内) TEL.076-288-6160 ★
-----	---

小松	小松市京町97番地(小松支店内) TEL.0761-22-2761 土 日 祝 水
----	---

大聖寺	加賀市大聖寺南町4番2(大聖寺支店内) TEL.0761-72-1214
-----	--------------------------------------

七尾	七尾市一本杉町118番地(七尾支店内) TEL.0767-53-2110
----	--------------------------------------

福井県	
-----	--

福井	福井市中央一丁目7番15号(福井支店内) TEL.0776-24-5555
----	---------------------------------------

米松	福井市松城町11番3号(米松支店内) TEL.0776-54-4686 ★ 土 日 祝
----	--

二の宮	福井市二の宮四丁目3番10号(二の宮支店内) TEL.0776-23-2167 ★
-----	---

たけふ	越前市蓬萊町6番27号(武生支店内) TEL.0778-22-0722
-----	-------------------------------------

つるが	敦賀市本町二丁目11番1号(敦賀支店内) TEL.0770-25-0105
-----	---------------------------------------

北海道	
-----	--

札幌大通	札幌市中央区大通西二丁目5番地(札幌支店内) TEL.011-241-7855
------	---

札幌西	札幌市西区山の手二条一丁目5番1号(琴似支店内) TEL.011-615-5815 ★
-----	---

麻生	札幌市北区北三十九条西四丁目1番6号(麻生支店内) TEL.011-709-1555 ★
----	--

白石	札幌市白石区南郷通十三丁目5番16号(白石支店内) TEL.011-866-3085 ★
----	--

さっぽろ	札幌市東区北24条東15丁目1番15号(元 元町出張所) TEL.011-704-1161 土 日 祝 水 貸
------	--

小樽	小樽市稲穂二丁目8番11号(小樽支店内) TEL.0134-33-0700 ★
----	---

函館東	函館市中道二丁目49番17号(函館東支店内) TEL.0138-56-7071 ★
-----	---

旭川	旭川市三条通十丁目2189番地(旭川支店内) TEL.0166-23-4126
----	---

帯広	帯広市大道南八丁目18・20番地(帯広支店内) TEL.0155-23-6136 ★
----	--

釧路	釧路市北大通十丁目1番地4(釧路支店内) TEL.0154-22-5129 ★
----	---

東京都	
-----	--

東京	中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー(東京支店内) TEL.03-3241-7777 ★
----	--

浅草	台東区雷門二丁目12番10号(浅草支店内) TEL.03-3843-4181 ★
----	--

新宿	新宿区西新宿七丁目20番3号(新宿支店内) TEL.03-5389-7283 ★
----	--

渋谷	渋谷区宇田川町20番11号(渋谷支店内) TEL.03-3462-5121 ★
----	---

白山	文京区白山五丁目1番3号-101(白山支店内) TEL.03-3816-5754 ★
----	--

神奈川県	
------	--

横浜	横浜市神奈川区富家町1番地(横浜支店内) TEL.045-434-4136 ★
----	---

愛知県	
-----	--

名古屋	名古屋市中村区椿町17番16号(中村支店内) TEL.052-452-6017 ★
-----	---

大阪府	
-----	--

大阪	大阪市中央区平野町三丁目2番13号(大阪支店内) TEL.06-6202-6204 ★
----	---

岐阜県	
-----	--

高山	高山市本町二丁目71番地(高山支店内) TEL.0577-32-2299 ★
----	--

長野県	
-----	--

長野	長野市上千歳町1137番地23(長野支店内) TEL.026-233-5825 ★
----	---

新潟県	
-----	--

新潟	新潟市中央区東堀前通七番町1072番地2(新潟支店内) TEL.025-222-0527 ★
----	--

北海道銀行	
-------	--

北海道	
-----	--

大通	札幌市中央区大通西4丁目1番地(新大通ビル2階) TEL.011-233-1122 土 日 祝
----	--

北二十四条	札幌市北区北23条西3丁目2番32号(北二十四条支店2階) TEL.011-707-5180 土 日 祝
-------	---

新さっぽろ	札幌市厚別区厚別中央2丁目9番15号(新札幌中央メディカルビル1階) TEL.011-896-2501
-------	---

旭川	旭川市豊岡3条3丁目2番9号(豊岡支店内) TEL.0166-26-0198
----	--

函館	函館市美原1丁目18番7号(美原支店内) TEL.0138-42-1700
----	---------------------------------------

帯広	帯広市西3条南9丁目23番地(帯広経済センタービル東館2階) TEL.0155-23-7173
----	---

釧路	釧路市北大通10丁目2番地1(釧路支店内) TEL.0154-23-3118
----	--

苫小牧	苫小牧市表町2丁目1番14号(王子不動産 第3ビル1階) TEL.0144-33-9920
-----	---

千歳	千歳市千代田町7丁目1789番3(千歳ステーションプラザ1F) TEL.0123-27-4500
----	--

小樽	小樽市稲穂2丁目8番9号(小樽支店内) TEL.0134-24-5900
----	--------------------------------------

室蘭	室蘭市中島町1丁目22番5号(室蘭支店内) TEL.0143-46-7700
----	--

北見	北見市栄町1丁目1番地の7(北見とん田支店内) TEL.0157-61-1200
----	--

その他(北海道銀行)	
------------	--

北海道	
-----	--

どうぎん保険プラザ大通	札幌市中央区大通西4丁目1番地(新大通ビル1階) TEL.011-233-1322 土 日 祝
-------------	--

口座開設プラザ(地下鉄大通駅出張所)	札幌市中央区南1条西4丁目 日之出ビル 地下2階 TEL.011-233-1167 土 日 祝
--------------------	--

外貨両替プラザ(地下鉄大通駅出張所)	札幌市中央区南1条西4丁目 日之出ビル 地下2階 TEL.011-233-1167 土 日 祝
--------------------	--

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7331

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行

経営企画部広報CSRグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel: 076-423-7111

<https://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行

経営企画部広報CSR室

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel: 011-233-1005

<https://www.hokkaidobank.co.jp/>